

令和 7 年 度

主要な施策の成果に関する報告書

令和 8 年 9 月

秋 田 県 北 秋 田 市

目	
一 般 会 計 歳 入 表	・ ・ ・ ・ ・ 4
一 般 会 計 歳 出 表	・ ・ ・ ・ ・ 5
市 税 徴 収 実 績 調	・ ・ ・ ・ ・ 6
普通会計地方債現在高の状況	・ ・ ・ ・ ・ 7
普通会計歳出内訳及び財源内訳	・ ・ ・ ・ ・ 8

一 般 会 計

1 款 議 会 費	・ ・ ・ ・ ・ 13
2 款 総 務 費	・ ・ ・ ・ ・ 13
3 款 民 生 費	・ ・ ・ ・ ・ 27
4 款 衛 生 費	・ ・ ・ ・ ・ 54
5 款 労 働 費	・ ・ ・ ・ ・ 64
6 款 農 林 水 産 業 費	・ ・ ・ ・ ・ 66
7 款 商 工 費	・ ・ ・ ・ ・ 80
8 款 土 木 費	・ ・ ・ ・ ・ 95
9 款 消 防 費	・ ・ ・ ・ ・ 105
10 款 教 育 費	・ ・ ・ ・ ・ 110
11 款 災 害 復 旧 費	・ ・ ・ ・ ・ 131

次	
特 別 会 計	
国民健康保険特別会計	・ ・ ・ ・ ・ 142
介護保険特別会計	・ ・ ・ ・ ・ 143
後期高齢者医療特別会計	・ ・ ・ ・ ・ 144

一 般 会 計 歳 入 表

(単位：千円、%)

区 分 款 名		予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不 納 欠 損 額 (D)	収 入 未 済 額 (B - C - D)	対 予 算 比 較 (C - A)	収 入 済 額 構 成 比
1	市 税	3,165,050	3,252,509	3,151,338	12,851	88,320	△ 13,712	10.93
2	地 方 譲 与 税	394,420	394,420	394,420	0	0	0	1.37
3	利 子 割 交 付 金	4,736	4,736	4,736	0	0	0	0.02
4	配 当 割 交 付 金	10,847	10,847	10,847	0	0	0	0.04
5	株式等譲渡所得割交付金	19,440	19,440	19,440	0	0	0	0.07
6	法 人 事 業 税 交 付 金	46,149	47,286	47,286	0	0	1,137	0.16
7	地 方 消 費 税 交 付 金	848,295	848,295	848,295	0	0	0	2.94
8	ゴルフ場利用税交付金	4,635	4,636	4,636	0	0	1	0.02
9	環 境 性 能 割 交 付 金	17,978	17,978	17,978	0	0	0	0.06
10	地 方 特 例 交 付 金	14,471	14,473	14,473	0	0	2	0.05
11	地 方 交 付 税	11,777,932	11,777,932	11,777,932	0	0	0	40.87
12	交通安全対策特別交付金	2,216	2,216	2,216	0	0	0	0.01
13	分 担 金 及 び 負 担 金	120,848	114,961	109,543	14	5,404	△ 11,305	0.38
14	使 用 料 及 び 手 数 料	213,563	224,034	206,830	0	17,204	△ 6,733	0.72
15	国 庫 支 出 金	4,348,169	4,202,744	3,545,370	0	657,374	△ 802,799	12.30
16	県 支 出 金	3,690,568	3,491,669	1,907,912	0	1,583,757	△ 1,782,656	6.62
17	財 産 収 入	115,977	117,432	116,466	0	966	489	0.40
18	寄 附 金	2,504,508	2,327,073	2,327,073	0	0	△ 177,435	8.07
19	繰 入 金	472,470	472,452	472,452	0	0	△ 18	1.64
20	繰 越 金	886,136	886,137	886,137		0	1	3.07
21	諸 収 入	1,116,005	1,143,652	849,075	29	294,548	△ 266,930	2.95
22	市 債	2,504,500	2,105,000	2,105,000	0	0	△ 399,500	7.30
合 計		32,278,913	31,479,922	28,819,455	12,894	2,647,573	△ 3,459,458	100

一 般 会 計 歳 出 表

(単位：千円、%)

区 分 款 名		予 算 現 額 (E)	支 出 済 額 (F)	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	執 行 率 (F/E)	支出済額構成比
1	議 会 費	168,636	165,056	0	3,580	97.87%	0.60
2	総 務 費	3,756,112	3,454,954	0	301,158	91.98%	12.51
3	民 生 費	6,900,809	6,519,157	50,093	331,559	94.46%	23.61
4	衛 生 費	2,672,238	2,596,349	0	75,889	97.16%	9.40
5	労 働 費	25,563	25,017	0	546	97.86%	0.09
6	農 林 水 産 業 費	1,334,656	1,137,338	153,505	43,813	85.21%	4.12
7	商 工 費	2,355,646	1,631,173	658,698	65,775	69.24%	5.91
8	土 木 費	3,455,929	3,296,937	82,764	76,228	95.39%	11.94
9	消 防 費	1,218,367	1,205,845	0	12,522	98.97%	4.37
10	教 育 費	2,560,500	2,460,965	10,450	89,085	96.11%	8.91
11	災 害 復 旧 費	4,427,894	1,732,096	2,277,671	418,127	39.11%	6.27
12	公 債 費	2,858,051	2,858,049	0	2	99.99%	10.35
13	諸 支 出 金	533,099	532,283	0	816	99.84%	1.93
14	予 備 費	11,413	0	0	11,413	0.00%	0.00
合 計		32,278,913	27,615,219	3,233,181	1,430,513	85.55%	100

令和7年度市税徴収実績調（令和8年5月末現在）

（単位：千円、％）

税目	区分	調 定 済 額				収 入 済 額				(G)/(C)×100 (I)	対前年度比較	
		現年課税分	滞納繰越分	合 計	超過調定額	現年課税分	滞納繰越分	合 計	超過収入済額		(G) 収入済額 増 減 率	(I) 増 減
		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)		(J)	(K)
市町村民税		1,228,560	16,287	1,244,847	0	1,219,689	3,179	1,222,868	0	98.2	15.8	△ 0.0
	個人均等割	40,982	1,425	42,407	0	40,878	529	41,407	0	97.6	1.2	△ 0.0
	所得割	1,054,210	13,616	1,067,826	0	1,046,190	2,500	1,048,690	0	98.2	20.7	0.1
	うち退職分	8,496	0	8,496	0	8,496	0	8,496	0	100.0	94.0	0.0
	法人均等割	65,292	1,208	66,500	0	64,515	150	64,665	0	97.2	△ 14.1	△ 0.9
	法人税割	68,076	38	68,114	0	68,106	0	68,106	0	100.0	△ 4.0	0.1
固定資産税		1,623,027	60,666	1,683,693	0	1,601,618	5,130	1,606,748	0	95.4	△ 0.1	△ 0.5
	純固定資産税	1,527,403	60,666	1,588,069	0	1,505,994	5,130	1,511,124	0	95.2	△ 0.2	△ 0.5
	土 地	321,920	12,786	334,706	0	317,408	1,081	318,489	0	95.2	△ 0.8	△ 0.5
	家 屋	709,159	28,167	737,326	0	699,219	2,382	701,601	0	95.2	0.9	△ 0.5
	償却資産	496,324	19,713	516,037	0	489,367	1,667	491,034	0	95.2	△ 1.3	△ 0.5
	交付金	95,624		95,624		95,624		95,624		100.0	1.3	0.0
軽自動車税				113,710	0			111,500	0	98.1	2.9	△ 0.3
	環境性能割			10,253				10,253		100.0	24.6	0.0
	種別割	102,018	1,439	103,457		101,024	223	101,247	0	97.9	1.1	△ 0.3
市町村たばこ税		208,344	0	208,344		208,344	0	208,344		100.0	△ 1.5	0.0
鉱産税		0	0	0		0	0	0	0			
特別土地保有税		0	0	0		0	0	0				
法定外普通税		0	0	0		0	0	0				
入湯税		1,878	37	1,915		1,878	0	1,878	0	98.1	△ 16.8	△ 0.2
事業所税		0	0	0		0	0	0				
都市計画税		0	0	0		0	0	0				
水利地益税等		0	0	0		0	0	0	0			
法定外目的税		0	0	0		0	0	0				
合 計		3,163,827	78,429	3,252,509	0	3,132,553	8,532	3,151,338	0	96.9	5.5	△ 0.2
国民健康保険税		468,509	44,915	513,424		448,645	6,880	455,525		88.7	4.8	△ 0.1
国民健康保険料		0	0	0		0	0	0				

普通会計地方債現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和6年度末 現在高	令和7年度 発行額	令和7年度元利償還額			令和7年度末 現在高
			元 金	利 子	計	
1. 公共事業等債	96,557	200	17,690	339	18,029	79,067
2. 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	84,520	19,000	7,289	704	7,993	96,231
3. 公営住宅建設事業債	1,003,952	101,900	66,408	6,649	73,057	1,039,444
4. 災害復旧事業債	629,274	395,100	72,634	4,294	76,928	951,740
5. (旧)緊急防災・減災事業債	1,447		241	1	242	1,206
6. 全国防災事業債	20,090		3,340	19	3,359	16,750
7. 教育・福祉施設等整備事業債	37,104	25,100	11,744	160	11,904	50,460
8. 一般単独事業債	8,617,776	490,100	664,584	31,182	695,766	8,443,292
9. 辺地対策事業債	243,023	11,400	37,180	1,255	38,435	217,243
10. 過疎対策事業債	6,110,147	1,062,200	789,745	21,690	811,435	6,382,602
11. 国の予算貸付・政府関係機関貸付債	729,918	0	74,898	11,072	85,970	655,020
12. 財源対策債	5,941	0	2,996	48	3,044	2,945
13. 減税補てん債	3,482		2,700	3	2,703	782
14. 臨時財政対策債	5,570,917	0	1,037,151	14,348	1,051,499	4,533,766
15. 減収補填債特例分	4,022	0	670	1	671	3,352
16. 県貸付金	8,262	0	949	0	949	7,313
17. その他	7,178	0	2,556	138	2,694	4,622
合 計	23,173,610	2,105,000	2,792,775	91,903	2,884,678	22,485,835

2. 借入先別及び年利率別現在高

(単位：千円)

区 分	令和6年度 末現在高	令和7年度 発 行 額	令和7年度 償 還 元 金 額	令和7年度 末現在高	利 率 別 内 訳												
					1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	5.5%以下	6.0%以下	6.5%以下	7.0%以下	7.0%超
1. 財 務 省	12,435,701	1,517,900	1,434,177	12,519,424	10,905,366	388,841	1,133,617	91,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 旧 郵 政 公 社	83,666	0	64,723	18,943	18,943	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 地方公共団体金融機構	7,141,319	418,600	851,422	6,708,497	6,287,537	382,255	38,705	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 政 府 関 係 機 関	729,918	0	74,898	655,020	323,748	269,340	45,525	4,072	6,562	222	1,790	1,858	728	600	575	0	0
5. 市 中 銀 行	2,332,755	168,500	317,164	2,184,091	1,847,143	195,248	141,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. そ の 他 の 金 融 機 関	441,989	0	49,442	392,547	392,547	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 秋 田 県	8,262	0	949	7,313	7,313	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	23,173,610	2,105,000	2,792,775	22,485,835	19,782,597	1,235,684	1,359,547	95,672	6,562	222	1,790	1,858	728	600	575	0	0

普通会計歳出内訳及び財源内訳

(単位：千円)

区 分	決 算 額	構成 (%)	国庫支出金	県 支 出 金	使 用 料 手 数 料	分 担 金 負 担 金 寄 附 金	財 産 収 入	繰 入 金	諸 収 入	繰 越 金	地 方 債	一 般 財 源
1. 人 件 費 (うち職員給)	4,297,458	15.47	61,191	107,981	15,019	100,770	885	0	501	0	0	4,011,111
2. 物 件 費	2,686,175	9.67	17,957	48,985	12,165	100,770	0	0	0	0	0	2,506,298
3. 維持補修費	4,759,312	17.14	202,772	94,889	74,175	46,462	41,179	0	452,370	0	83,000	3,764,465
4. 扶助費	1,144,629	4.12	117,755	23,342	28,681	35,028	1,784	0	2,951	0	19,100	915,988
5. 補助費等	3,688,676	13.28	1,713,862	647,056	1,221	32,947	0	0	6,994	0	0	1,286,596
(1) 国に対するもの	3,100,608	11.17	14,216	227,971	3,758	7,215	9,675	1,000	12,966	0	112,700	2,711,107
(2) 都道府県に対するもの	6,261	0.03	0	0	639	614	108	0	0	0	0	4,900
(3) 同級他団体に対するもの	54	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
(4) 一部事務組合に対するもの	8	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
(5) その他に対するもの	89,276	0.32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89,276
6. 普通建設事業費	3,005,009	10.82	14,216	227,971	3,119	6,601	9,567	1,000	12,966	0	112,700	2,616,869
(1) 補助事業費	2,952,440	10.63	538,383	97,319	33,325	10,377	10,988	11,197	10,212	0	1,459,171	781,468
(2) 単独事業費	1,240,530	4.47	538,383	65,033	0	3,000	10,988	0	0	0	433,592	189,534
(3) 国直轄事業負担金	1,660,655	5.98	0	32,286	33,325	7,377	0	11,197	10,212	0	975,883	590,375
(4) 県営事業負担金	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5) 同級他団体施行事業負担金	51,255	0.18	0	0	0	0	0	0	0	0	49,696	1,559
(6) 受託事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
① 補助事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 単独事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 災害復旧事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 補助事業費	1,737,436	6.26	376,765	465,836	0	12,847	0	0	0	0	430,868	451,120
(2) 単独事業費	1,313,425	4.73	376,765	430,017	0	12,847	0	0	0	0	144,700	349,096
(3) 県営事業負担金	423,080	1.53	0	35,819	0	0	0	0	0	0	286,168	101,093
(4) 同級他団体施行事業負担金	931	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	931
(5) 受託事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
① 補助事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 単独事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 失業対策事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 補助事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 単独事業費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 公 債 費	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 積 立 金	2,884,678	10.39	552	0	47,097	0	0	14,001	3,090	0	0	2,819,938
11. 投資及び出資金	515,123	1.85	0	0	0	0	29,069	0	1,266	0	0	484,788
12. 貸 付 金	876,236	3.15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	876,236
13. 繰 出 金	80,000	0.29	0	0	0	0	0	0	80,000	0	0	0
14. 前年度繰上充用金	1,737,133	6.25	54,028	215,762	0	0	1,017	0	0	0	0	1,466,326
歳 出 合 計	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳 入 振 替 項 目	27,773,729	100.00	3,079,524	1,880,156	203,276	245,646	94,597	26,198	570,350	0	2,104,839	19,569,143
歳 計 剰 余 金	471,534	0	0	28,390	3,701	2,347,487	23,189	428,205	290,980	886,136	161	△4,479,783
歳 入 合 計	1,204,237	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,204,237
	28,977,966	0	3,551,058	1,908,546	206,977	2,593,133	117,786	454,403	861,330	886,136	2,105,000	16,293,597

一 般 会 計

(表記上の補足)「繰」及び「特定財源」並びに「事業内訳」の略語について

款－項－目	事業名	繰	予算額	決算額	一般財源	特定財源	事業内訳	執行の状況	事業の成果
		○				国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	

繰越明許事業の略
該当する場合は
「○」で表示

国：国の補助金等
県：県の補助金等
債：起債
一：一般会計繰入金
基：基金繰入金
他：その他

報：報償費
旅：旅費
需：需用費
役：役務費
委：委託費
工：工事請負費
負：負担金補助及び交付金
他：その他

款-項-目	事業名	繰	予算額	決算額	一般財源	特定財源	事業内訳	執行の状況	事業の成果
1-1-1	北秋田市議会 I C T 化事業		3,817	2,599	2,599	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0 893	0 0 0 1,706 0 0 0 893	ペーパーレス化及び業務の効率化に向け、令和5年3月にタブレット端末機が納入された。その端末機は、議員及び議会事務局職員に貸与され、現在も引き続き使用している。 また、議会内における情報共有の迅速化と業務の利便性及び効率化を図るため、令和5年5月よりビジネスチャットツール「LINEWORKS」を導入した。 タブレット端末機が貸与されたことにより、いつでもどこでも迅速に情報が共有できるようになった。 また、貸与された端末に「LINEWORKS」アプリを入れたことにより、情報の共有及び連絡等が円滑となった。
2-1-7	地籍調査事業	○	31,540	27,684	8,949	国 県 債 一 基 他	0 18,735 0 0 0 0 66 3,313	0 81 2,258 186 21,780 0 66 3,313	一筆地調査、測量を実施した。前年度調査区域の地籍図、地籍簿を作成し、土地所有者の閲覧後に秋田県へ認証申請を行った。 【内訳】 測量表示杭ほか 2,258千円 調査案内通知料 186千円 測量業務等委託 21,780千円 システム使用料等 602千円 負担金等 66千円 会計年度任用職員報酬等 2,792千円 計 27,684千円 ・一筆地調査、測量業務 綴子、鷹巣の各一部、材木町 調査面積0.30km ² 調査前筆数767筆 調査後筆数661筆 ・地積測定、地籍図等の作成 松葉町、坊沢、綴子、鷹巣 元町、住吉町の各一部 調査面積0.27km ² 筆数512筆
2-1-8	R P A 導入事業		1,265	1,265	1,265	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 1,265 0 0 0	令和3年度RPA実証実験において一定の成果を得ることができた「ふるさと業務」について、令和4年度よりシステムを正式導入し、人的業務負担軽減を図っている。 人的作業に換算して、年間およそ181時間、全体作業時間の70%程度の削減が図られた。 *1日あたり所要作業時間:65分 *RPA導入により削減された作業時間:45分 *(年間作業時間削減)45分/日×年間242日=181時間/年

2-1-8	行政評価・総合戦略 評価検証事業		1,075	397	397	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	312 77 8 0 0 0 0	市が行った事務事業について市民目線による外部の評価を行うための「北秋田市行政評価委員会」と、「第2次北秋田市総合計画」及び「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各施策についての客観的な評価・検証による進行管理を行う「北秋田市総合戦略検証会議」を開催した。 ・行政評価委員会 5回開催 ・総合戦略検証会議 2回開催	市が行った事務事業について各担当が自ら内部評価した結果を基に外部評価を行うことで、客観性と透明性を高めることができたほか、各施策の目標値に対する実績値の把握や外部有識者による検証結果がフィードバックされ、目標値の見直しなど次年度以降の事業実施に活かすことができた。
2-1-8	きたあきたふるさと 寄附金返礼品事業		1,247,617	1,066,356	1,066,356	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	644,752 0 1,342 139,856 102,041 0 0 178,365	各ふるさと納税ポータルサイト等においてふるさと納税を募集し、寄附者に対し地元特産品等の返礼品を送付した。 【募集に要した経費（全体）】 1,097,234千円（経費率47.3%） 【内訳】 返礼品等の調達費用 644,752千円 返礼品等の送付費用 84,648千円 決済費用 52,131千円 事務費用（委託料等） 315,703千円	米の品薄や価格高騰により、ふるさと納税返礼品としての米の需要が高まったほか、寄附単価が上がったことで寄附額は過去最高となった。 一方で、前年度に比べ寄附件数は減少した。 【寄附実績】 2,320,269千円（27,441件）
2-1-9	行政協力委員活動事業		10,252	10,130	10,130	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	9,764 0 166 0 200 0 0 0	行政協力委員を委嘱し、市広報等の配付や周知事項等の伝達を行った。 【内訳】 行政協力委員報償費 9,764千円 自治会館指定管理料 200千円 その他事務費等 166千円 計 10,130千円	市広報等の適正な配付により、周知事項等を円滑に伝達することができた。 【行政協力委員数】 鷹巣 121人 合川 51人 森吉 66人 阿仁 38人 計 276人

2-1-9	自治会館整備事業補助金		4,595	4,117	4,117	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 4,117 0	自治会館等の整備を行った自治会等に対し、補助金を交付した。 【補助率等】 (事業費－100千円) *1/2 ※控除額は世帯数による 【交付自治会】 緑ヶ丘、下新町、品類、小倉、七日市大畑、本城、田中、福田、李岱、坊山、深沢(11自治会)	地域コミュニティ施設の整備支援により、住民自治の振興を図り、地域住民の福祉の向上に資することができた。
2-1-9	環境整備事業補助金		500	324	324	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 324 0	激甚災害で被災した墓の法面復旧工事費に対し、補助金を交付した。 【補助率等】※激甚災害の場合 (事業費－100千円) *3/4 【交付自治会】 太田 (以上1自治会)	法定外公共物等の整備に要する経費の一部を補助することにより、生活環境の向上を図ることにつながった。
2-1-9	市民提案型まちづくり事業		1,065	376	376	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	19 1 1 0 0 0 355 0	市民団体が自主的・自発的に実施するまちづくり事業費の一部に対し、補助金を交付した。 【補助率等】 事業費の90%(最大) 【交付団体】 読み聞かせ隊おはなしどころ	地域の賑わい創出や、地域コミュニティの活性化を目指す団体への支援により、地域振興に取り組む活動の一助となった。

2-1-9	コミュニティ助成事業		4,300	4,300	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 4,300	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 4,300 0	コミュニティ活動に必要な備品の整備に対し助成を行った。 【交付団体】 本城（エアコン、イス、テーブル、座卓） 東根田（エアコン、イス、テーブル、イス用台車）	備品の整備等を行うことで、地域におけるコミュニティ活動を円滑に実施することが可能となり、地域振興の一助となった。
2-1-9	防犯街灯設置補助金		3,819	3,757	3,757	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 3,757 0	防犯街灯の新規設置や更新等を行った自治会等に対し、補助金を交付した。 【補助率等】 蛍光灯 上限15千円/灯（1/2以内） LED 上限40千円/灯（2/3以内） 【交付件数】 23自治会（163灯）	防犯街灯の設置等に関する費用の一部を補助することで、LED防犯街灯の設置促進につながり、夜間における犯罪の発生防止等につなげることができた。 【LED化率】（R8.4.1現在） 市管理 46.9% 自治会管理 69.0% 全体 65.7%
2-1-9	防犯街灯電気料補助金		4,914	3,779	3,779	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 3,779 0	自治会で管理している防犯街灯の電気料の一部に対し、補助金を交付した。 【補助率】 支払電気料×1/3 【交付件数】 202自治会（4,021灯）	防犯街灯の電気料等に関する費用の一部を補助することで、防犯街灯の設置促進につながり、夜間における犯罪の発生防止等につなげることができた。

2-1-10	生活バス路線運行維持事業		113,726	113,726	104,250	国 県 債 一 基 他	0 9,476 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 113,726 0	国庫補助対象路線(幹線系統及びダー系統)については、国・県の基準に満たない相当額を市が補助した。 【内訳】 幹線系経路線 22,620千円 フィーダー系統路線 53,028千円 県単独路線 38,078千円 計 113,726千円	地域住民の日常生活に密着したバス路線への補助により、通院、通学、買い物等に必要な交通手段の確保と円滑な運行に資することができた。
2-1-10	路線バスフリー定期券助成事業		7,784	7,747	7,747	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 7,747 0	通勤・通学や買い物、通院など市民の日常生活における移動手段である公共交通の利用促進及び利用者の負担軽減を目的として、バス運行事業者が販売する路線バス定期券の購入費の一部を助成した。 【助成実績】 販売枚数 615枚 販売金額 16,147千円	販売枚数は前年度より減少したものの、内訳をみると利用期間が長い(3ヶ月・6ヶ月)定期券の枚数や学生が購入した枚数が増加しており、公共交通の利用促進と利用者の負担軽減につながった。
2-1-10	鷹巣市街地循環バス運行委託		11,729	10,974	10,974	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 10,974 0 0 0	中心市街地における公共交通の利便性向上と高齢者及び運転免許証返納者に向けた支援として、鷹巣市街地循環バスを通年運行した。 【運行便数】 平日7便、土日祝日5便 【運行時間】 9:00から15:00まで1時間ごと ※土日祝日は12:00及び15:00発便を運休	交通弱者の日常生活における移動需要に応えるため、バス停留所を2ヶ所新設した。利用者数は年々増加しており、市民の利便性向上に寄与した。 【新設停留所】 「まるや耳鼻科」前 「JA秋田たかのす」前 【1便あたり利用者数】 令和5年度 9.67人 令和6年度 9.77人 令和7年度 9.94人

2-1-10	マイタウンバス運行事業		14,887	12,634	12,634	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	公共交通空白地帯を解消するため、市と協定を締結した事業者が運行する7路線について、運行経費から運賃収入を差し引いた欠損額を補助した。 【バス路線】 米内沢・市民病院アクセス線 【デマンド型乗合タクシー路線】 増沢・市民病院線、市民病院南線、明利又線、市民病院西線、小森・湯ノ岱線、岩谷線	医療機関やスーパー等、日常生活に欠かせない場所への移動手段を確保することで、住民が安心して暮らせる環境を整えることができた。 【延べ利用者数】 3,619人
2-1-10	代替タクシー運行事業		433	326	326	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	バス路線が廃止又は運行していない地域の自治会等が、タクシー事業者と契約して乗合タクシーを運行し、運行経費から運賃収入を差し引いた欠損額を市が補助した。 【運行路線】 大沢線、田子ヶ沢線、下舟木線、緑ヶ丘線	通院や買い物等のための生活路線として欠かせない交通手段であり、事業実施により地域住民の生活に密着した交通手段を確保することができた。 【延べ利用者数】 176人
2-1-10	大館能代空港利用促進事業		64,860	62,710	62,710	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	大館能代空港の3便化継続に向けて利用促進を図るため、市民の空港利用や、市内に事業所を有し、企業ファンクラブ会員である企業のビジネス利用に対し運賃助成を行った。また、市民の利用促進を図るため、航空券予約講座等を行った。 【助成対象期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日 【助成額】 片道5千円	空港利用の周知等により、多くの市民、ビジネス利用者の確保につなげることができ、昨年度の利用者を大幅に上回る結果となった。また、大館能代空港利用者に関しても過去最高の利用者数となった。 【実績】 〈市民〉 利用者 延べ11,352人 助成額 56,760千円 〈ビジネス〉 利用者 延べ1,190名 助成額 5,950千円

2-1-11	秋田内陸線運営補助金		98,708	98,708	58	国 県 債 一 基 他	0 20,250 78,400 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 98,708 0	令和7年3月に締結した秋田内陸線の持続的運行に係る基本合意書(秋田県・北秋田市・仙北市・秋田内陸縦貫鉄道株式会社による4者合意)を元に、経常損失1億6,500万円を補助した。 【内訳】 北秋田市 98,708千円 仙北市 65,805千円 上小阿仁村 487千円 計 165,000千円	財政的支援により秋田内陸線の継続的な運行を確保した。 これにより、地域住民の通勤・通学、通院等のための生活路線としての役割を維持するとともに、観光利用者への魅力発信を通じて、沿線地域の活性化に寄与した。
2-1-11	駅愛護会交付金		1,120	1,120	1,120	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,120 0	秋田内陸線の無人駅の環境整備や除雪などの維持管理のため北秋田市市内の内陸線各駅の愛護会に活動費の一部費用を交付した。 【内訳】 交付金80千円×14駅愛護会 計 1,120千円	各駅愛護会による積極的な環境整備や除雪活動等が行われたことで、無人駅における駅利用者の安全確保と快適な利用環境の維持が図られた。 また、地域住民による主体的な駅舎維持管理体制の継続にも繋がった。
2-1-11	秋田内陸地域公共交通連携協議会負担金		12,617	12,490	12,490	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 12,490 0	秋田内陸線の沿線地域における持続可能な地域公共交通の形成及び沿線地域の活性化を図るために設置された秋田内陸地域公共交通連携協議会の事業費を負担した。 【内訳】 秋田県 1,676千円 北秋田市 12,490千円 仙北市 8,658千円 計 22,824千円	協議会が実施する独自の利用促進事業や沿線支援事業を円滑に推進し、広域的な連携による秋田内陸線利用者の確保及び沿線地域の認知度向上を図ることができた。

2-1-11	合川・米内沢駅等管理事業 (駅活性化事業)		8,646	8,572	8,121	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 451	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 8,572 0 0 0	令和7年3月5日にプロポーザル審査会を実施し、民間団体と単年度の契約を締結。2つの有人駅(合川駅・米内沢駅)の管理業務を委託した。 【内訳】 合川駅及び米内沢駅委託料 計 8,572千円 委託先 特定非営利法人 北秋田ハッピーデリバリー	民間委託により有人駅としての機能を継続し、通学者をはじめとする駅利用者の利便性と安全性を確保した。 また、受託事業者による駅舎の環境整備や駅前活性化イベント等の取組により、駅周辺の賑わい創出に寄与した。
2-1-11	秋田内陸線利用保育園補助金		150	126	126	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 126 0	秋田内陸線を利用して園外保育を行う幼稚園・保育園に対し、園児と引率の内陸線運賃を補助した。 【内訳】 利用人数 園児 155人 引率 66人 補助金額 126千円	運賃補助により、幼児期の園外保育における鉄道利用機会の増進を図った。 子供たちが幼少期から秋田内陸線やふるさとの豊かな自然・地域に慣れ親しむ機会を拡大するとともに、将来的な利用者の裾野を広げる効果を生み出した。
2-1-11	秋田内陸線利用高校生定期券補助金		6,449	6,449	49	国 県 債 一 基 他	0 0 6,400 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 6,449 0	秋田内陸線を利用して高等学校等へ通学する地元生徒に対し、JRの通学定期代金との均衡を図るため、乗車距離に応じて補助した。 【内訳】 令和7年度利用者数 98人 補助金額 6,449千円	JR線との運賃格差による家計負担を緩和するため、通学費の一部を補助することで、遠距離通学を行う高校生を持つ保護者の経済的負担を大幅に軽減した。 これにより、公共交通機関を利用した安心・安全な通学環境を維持し、高校生層の内陸線利用促進と定着を図った。

2-1-11	秋田内陸線乗車促進 事業貸切車両等補助 金		1,000	1,000	1,000	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,000 0	秋田内陸線が実施する車両貸切料金の半額補助 を行った。 【内訳】 貸切車両 30団体 利用人数 1,520人 補助金額 1,000千円	団体利用時における貸切料金の負担を軽減す ることで、グループや各種団体による内陸線の 積極的な利用を誘致した。 まとまった人数(1,520人)の利用創出を達 成し、効率的な乗車促進と鉄道収入の確保に貢 献した。
2-1-14	阿仁庁舎1階照明設 備LED化工事		15,877	15,796	1,596	国 県 債 一 基 他	0 0 14,200 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 15,796 0 0	庁舎内1階の照明設備について、環境に配慮し たLEDランプへ更新を図った。	照明環境を整えるとともに、電球の長寿命化 と電気料金の抑制につなげた。 (工期)7月3日～9月30日 【実績】電気使用量/料金 10月～3月 ・R4 73,879Kwh/2,712千円 ・R5 71,849Kwh/2,747千円 ・R6 74,031Kwh/2,514千円 ・R7 63,941Kwh/1,986千円
2-1-15	電算システム管理事 業		76,193	75,147	75,147	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 11,295 26,811 0 0 37,041	電算システムが常時稼働し、行政サービスに支 障が生じないように、保守点検やバックアップ等 を実施した。 【事業費内訳】 通信運搬費 11,295千円 ウェブ保守 16,486千円 その他委託 10,325千円 クラウド使用料 37,041千円 合計 75,147千円	行政事務に必要な主要システムのクラウド化 により、より災害に強い安定的な稼働が可能と なり、効率的で恒常的な住民サービスを提供す ることができた。

2-1-15	事務機器更新事業		45,868	44,778	44,778	国 県 債 一 基 他		0 0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 4,621 0 1,538 0 0 38,619	年次計画に基づき内部系パソコンとプリンタの更新を実施した。また業務に支障が生じないように機器の修繕や消耗品の補充を行った。 【事業費内訳】 パソコン更新 34,353千円 プリンター更新 2,794千円 セットアップ 1,537千円 OA機器消耗品 3,104千円 OA機器修繕 1,517千円 その他 1,472千円 合計 44,778千円	行政事務を行う職員が使用するパソコンや周辺機器等を計画的に更新することで、途切れることなく、適切に業務できる環境を構築することができた。
2-1-15	セキュリティ強化事業		34,165	31,362	31,362	国 県 債 一 基 他		0 0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 28,531 0 2,831 0	ウイルス対策ソフト等のセキュリティ保守やセキュリティクラウドを活用し、サイバー攻撃等の脅威や情報漏洩等への対策を行ったほか、生体認証システムを導入及び運用及びファイルサーバー更新によるセキュリティ対策強化を行った。 【事業費内訳】 情報セキュリティ保守 4,472千円 生体認証委託 1,678千円 ファイルサーバー更新 22,381千円 秋田県に対する負担金 2,831千円 合計 31,362千円	ファイヤウォールやウイルス対策ソフト、セキュリティクラウド等によりサイバー攻撃、コンピュータウイルス、迷惑メール等を防ぎセキュリティを確保したほか、生体認証やファイルサーバー更新により不正アクセス対策を強化できた。
2-1-15	社会保障・税番号制度システム整備事業		23,114	22,697	18,568	国 県 債 一 基 他		4,129 0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 15,404 0 7,293 0	マイナンバーを利用した事務が円滑に実施できるように、住基ネット及び中間サーバーの更新及び管理を行った。 【事業費内訳】 第三次システム対応業務 660千円 住基ネット更新等 14,744千円 番号制度中間サーバー負担金 7,230千円 サービス利用負担金 63千円 合計 22,697千円	住基ネット及びマイナンバー関係の事務が適切に実施できる環境を整えることができた。

2-1-15	庁舎ネットワーク機器更新事業		13,140	12,654	12,654	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 11,662 992 0 0	行政サービスに支障が生じないように庁内ネットワーク機器等の整備と、本庁及び第二庁舎会議室の内部系ネットワークの無線化を行った。 【事業費内訳】 ネットワーク更新 11,662千円 LAN配線工事 992千円 合計 12,654千円	通信環境の整備により、行政サービスの安定稼働が図られたほか、本庁及び第二庁舎会議室の内部系ネットワークの無線化により、より柔軟に業務ができる体制を整備できた。
2-1-15	標準化システム事業		146,885	146,161	245	国 県 債 一 基 他	145,916 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 145,278 0 0 883	標準準拠システムへの移行を行った。 【事業費内訳】 標準準拠システム移行 145,278千円 ガバメントクラウド使用料 883千円 合計 146,161千円	国の標準化システムの仕様に基づき、対象20業務の標準化システムへの移行を国が認めた一部経過措置の機能を除いて完了した。
2-1-15	行政手続きオンライン化事業		1,147	1,147	1,147	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 196 0 951 0	マイナポータル等の電子申請基盤を活用した行政手続きのオンライン化の拡充を図った。 【事業費内訳】 行政オンライン保守 196千円 電子申請システム負担金 951千円 合計 1,147千円	マイナポータルのほか、秋田県電子申請システムを利用した行政手続きオンライン化を行うことにより、住民が役所に行かなくても、自宅等でスマートフォン等を使用し、営業時間にかかわらず行政手続きが可能となったため、住民サービスの向上が図られた。

2-1-15	インターネット環境整備事業		4,339	4,221	4,221	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	画面切り替えをしなくてもインターネットの閲覧ができる環境を整備するため、仮想ブラウザを導入した。 【事業費内訳】 インターネット環境整備 4,221千円 合計 4,221千円	仮想ブラウザの導入により、画面切り替えせずにインターネットの閲覧が可能となり、住民からの問い合わせ等にも迅速に対応できる環境が整備された。
2-1-16	情報通信設備管理事業		33,704	33,361	15,722	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	平成21年度北秋田市情報通信基盤整備事業で整備した光ファイバ通信網設備の維持管理及び電柱移設等に伴う光ケーブルの移設工事を実施した。 【事業費内訳】 光ファイバ通信網保守 7,074千円 設備等使用料 11,591千円 光ケーブル移設等工事 14,696千円 合計 33,361千円	光ファイバー芯線等の保守管理を実施し、インターネット等の通信を安定して使用できる環境を維持することができた。
2-1-17	交通安全対策事業		4,597	4,246	4,246	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	2,245 144 536 28 12 0 1,243 38	交通指導員による交通指導や関係団体等による交通事故防止の啓発活動を行った。また、交通安全に関わる団体等に対し補助金を交付した。 【交通指導員数】 29人 【のべ出勤人数】 555人 【交付団体】 交通安全母の会 270千円 交通安全協会 900千円 計 1,170千円	交通指導員による交通安全指導や、交通安全協会による全国交通安全運動、交通安全母の会による交通事故防止活動など、各団体と連携を図り、交通安全に対する意識の高揚を図ることができた。 また、令和8年2月9日を以って、交通死亡事故ゼロ365日を達成することができた。

2-1-17	交通安全施設整備事業		7,551	7,036	7,036	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 43 0 0 6,373 0 620	事故のない安全なまちづくりを目指し、道路区画線及びカーブミラーの整備促進を図った。 【内訳】 道路区画線 5,951千円 (計11か所) 反射鏡工事 422千円 (計3か所)	交通安全施設の整備を図ることにより、安全なまちづくりの促進につながった。
2-1-18	防犯対策事業		2,021	1,712	1,712	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	1,160 69 77 0 0 0 406 0	防犯指導員及び防犯協会等の関係団体による防犯活動等を行った。また、防犯に関わる団体等に対し補助金を交付した。 【防犯指導員数】 29名 【のべ出動人数】 127名 【補助金交付団体】 市防犯協会 315千円 暴力追放推進委員会 18千円 計 333千円	防犯指導員及び防犯協会による防犯活動等の実施により、防犯意識の普及・高揚に努め、犯罪の未然防止につなげることができた。
2-1-18	防犯施設整備事業		6,952	6,394	5,294	国 県 債 一 基 他	0 1,100 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 5,217 0 0 0 1,175 2	地域内における犯罪発生の防止及び安心安全な生活環境の整備を図るため、LED街灯を新設した。 【防犯街灯設置場所】 計2か所(沢口地区9灯、鷹ノ巣駅裏1灯)	犯罪発生の抑止及び市民の安心安全な暮らしの実現を図ることができた。

2-1-19	空家等対策関連事業		4,314	203	203	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 1 21 0 148 0 0 33	特定空家として7件、管理不全空家として9件を認定した。また、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、1件について勧告を行った。	特定空家1件の解体がなされた(補助金の活用実績はなし)。また、特定空家や管理不全空家に認定した空家所有者から補助金に関する問い合わせもあり、PR効果も出てきている。
2-3-1	戸籍システム運用事業		6,890	6,890	2	国 県 債 一 基 他	6,888 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 1,810 3,036 0 0 2,044	国が示す標準化仕様に準拠した戸籍総合システム(広域交付、クラウド化、振り仮名対応)を安定的に稼働させた。 【内訳】 人件費 2,044千円 振り仮名通知郵券料 1,810千円 振り仮名通知委託 2,354千円 振り仮名職権記載対応改修委託 682千円 計 6,890千円	戸籍総合システムを安定的に運用し戸籍事務を正確かつ迅速に遂行し、市民へのサービス向上を図った。
2-3-1	コンビニ交付事業		6,808	6,680	6,680	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 501 198 0 2,219 3,762	コンビニ等に設置されているキオスク端末から戸籍等を交付するシステムの運用及び監視を実施した。 【内訳】 手数料 501千円 本籍地交付サービス保守委託 198千円 事務負担金 2,219千円 システム使用料 3,762千円 計 6,680千円	コンビニ交付の推進により「行かない窓口」を実現し、住民の利便性を高めた。 【コンビニ交付件数】 ()は令和6年度 戸籍 473件 (476件) 住民票 2,261件 (1,946件) 印鑑証明 1,546件 (1,276件) 税証明 237件 (207件) 計 4,517件 (3,905件)

2-3-1	マイナンバーカード 交付事業		8,057	8,031	363	国 県 債 一 基 他	7,668 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 51 154 292 213 0 0 7,321	マイナンバーカードの休日申請受付、個人宅や 高齢者施設等への出張申請受付、市内郵便局への 申請を実施した。 【内訳】 人件費 7,010千円 郵便局委託 213千円 郵券料その他 445千円 償還金(R6) 363千円 計 8,031千円	休日申請受付、個人宅や高齢者施設等への出 張申請受付、市内郵便局への申請支援委託によ りマイナンバーカードの普及を図った。 【内訳】 ()は累計 申請 2,858件 (29,822件) 交付 2,923件 (29,310件) 保有率 85.6%
3-1-1	避難行動要支援者支 援事業		2,617	1,808	1,808	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 125 429 0 0 1,254	災害対策基本法に基づき、災害発生時に避難行 動が困難な方々の安全を確保するため、災害時の 避難支援に活動することを目的に要支援者名簿を 作成した。 この名簿をもとに、個人の状況に応じた避難方 法や支援内容について個別避難計画を作成した。 【実績】 ・名簿登録要支援者数:2,710人 ・個別計画同意確認者:147人 ・個別計画作成:81人	避難行動要支援者名簿を消防署、警察署、社 会福祉協議会、自治会、民生委員・児童委員へ 提供し、関係機関との万が一に備えての情報共 有を行うことができた。
3-1-1	生活困窮者自立相談 支援事業		12,000	12,000	3,000	国 県 債 一 基 他	9,000 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 12,000 0 0 0	生活に困窮する方々が自立して生活ができるよ うに相談を受けた案件について、支援調整会議等 において面談者個々の状況に応じた支援計画を作 成・実行して支援した。 【委託事業者】 ・北秋田市社会福祉協議会 【実績】 ・相談支援件数:389人 ・支援計画作成者数:3人	対象者により家庭や個々の状況が異なるた め、対応が難しい場合もある。生活困窮者の生 活の安定と社会参加を目指し、様々な支援メ ニューを提供し、周囲の人たちの協力を得なが ら対象者の自立支援が図られた。

3-1-1	生活困窮者家計改善 支援事業		1,000	1,000	334	国 県 債 一 基 他	666 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	1,000 0 0 0 0	生活に困窮する世帯が家計の管理を見直し・改善することで、経済的な自立を促進し、安定的な生活を送ることができるように支援した。 【委託事業者】 ・北秋田市社会福祉協議会 【実績】 ・相談支援件数:70件	対象者により世帯の状況が異なるため、対応が難しい場合もある。根気強く家計の見直しや改善のための指導を行い、周囲の人たちの協力を得ながら家計改善を図ることができた。
3-1-1	民生委員児童委員協 議会補助金		12,260	12,260	2,700	国 県 債 一 基 他	0 9,560 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	12,260 0	地域福祉を担い、関係機関とのつなぎ役となるボランティア活動を行っている民生委員・児童委員の活動費として、市補助金及び県負担金を交付した。 【実績】 ・民生委員・児童委員数:114人 ・うち主任児童委員数:8人 ・相談件数:2,015件 ・訪問件数:12,965件	委員は地域住民からの様々な相談に応じ、必要な支援が受けられるよう、専門機関や関係機関へのつなぎ役となっている。また、市が実施する福祉事業等への協力や各種研修会への参加を通じ、委員の資質向上と関係機関等との連携が図られた。
3-1-1	心配ごと相談事業		475	475	475	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	475 0 0 0	身近な相談支援体制を整え、あらゆる相談に応じ、その問題解決のため、弁護士による無料法律相談会や支援調整会議、社協職員による出張相談会を実施した。 【実績】 ・弁護士相談会:年6回 ・相談件数:38件	市民ふれあいプラザを会場とした弁護士による無料法律相談会を開催し、気軽に相談に訪れて専門的な助言を受けることができた。

3-1-1	北秋田市社会福祉協議会補助事業		27,000	27,000	27,000	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 27,000 0	地域福祉の向上のため、様々な福祉事業や活動を行っている社会福祉協議会に補助した。 【実施内容】 ・地域福祉権利擁護事業 ・地域福祉活動支援事業 ・小地域ネットワーク活動 ・地域安全活動 ・ボランティア活動支援 ・その他地域福祉の増進に係る事業	社会福祉協議会をはじめ、関係団体等の協力を得ることにより、市の各種福祉事業における支援体制が確立されてきた。
3-1-1	物価高騰対策支援事業	○	13,858	12,677	0	国 県 債 一 基 他	12,677 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 34 115 312 0 0 12,216	政府の「新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置」に基づく物価高騰対策として、令和6年度住民税非課税世帯へ物価高騰対策給付金3万円、定額減税しきれなかった方へ不足額給付金を給付した。 【実績】 合計給付額 11,990千円 【内訳】 物価高騰対策給付金 120千円(4世帯) 不足額給付金11,870千円(393人)	給付対象世帯の経済的負担の軽減が図られた。
3-1-1	物価高騰対策支援事業		86,250	86,248	0	国 県 債 一 基 他	86,248 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 760 886 0 0 0 84,602	政府の「新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置」に基づく物価高騰対策として、定額減税しきれなかった方へ不足額給付金を給付した。 【実績】 合計給付額 84,120千円 給付者数 2,606人	給付対象世帯の経済的負担の軽減が図られた。

3-1-1	灯油購入費助成事業		166,567	166,578	14	国 県 債 一 基 他	155,817 10,747 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 2,043 3,694 312 0 0 160,529	総合経済対策に基づく物価高騰対策として、全世帯を対象に灯油購入費助成金14千円を給付した。 【実績】 合計給付額 159,908千円 給付世帯数 11,422世帯	給付対象世帯の経済的負担の軽減が図られた。
3-1-2	北秋田市福祉の雪事業		26,928	21,588	21,588	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 52 0 1,503 0 0 20,033	住民税非課税世帯で65歳以上の一人暮らし・高齢者のみの世帯・その他障がい者の世帯など、雪よせが困難な世帯に対し、住宅出入口及び屋根の雪下ろし等に係る除排雪経費の8割を扶助した。 令和7年度は豪雪であったことから、扶助限度額を4万円から6万円に引き上げ。 【内訳】 登録世帯数 728世帯 実利用世帯数 554世帯 延利用回数 9,597回 限度額世帯数 124世帯	令和7年度は豪雪であったことから扶助限度額を4万円から6万円に引き上げ。事業実施により高齢者等世帯の冬期間の生活の安全確保を図ることができた。
3-1-2	あんしん電話（緊急通報システム）の設置事業		1,330	1,325	1,325	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 52 1,033 0 0 240	概ね65歳以上の一人暮らし・高齢者のみの世帯、障がい者や健康に不安のある世帯に設置した。 【設置数102台（うち新規）】 鷹巣地区 53台（12台） 合川地区 29台（5台） 森吉地区 10台（0台） 阿仁地区 10台（0台）	あんしん電話の設置が在宅生活の不安解消につながり、安心して暮らせる環境づくりの一端を担っている。 緊急時においては、設置者の連絡先等の情報を消防署と共有することにより円滑な救助活動等に貢献することができた。

3-1-2	高齢者外出支援サービス事業		7,762	6,298	5,279	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 1,019	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 6,298 0 0 0 0	概ね65歳以上の高齢者等であって自力では歩行できないため公共交通機関の利用が困難な方に、病院への通院をはじめ買物、理美容院等への送迎を支援した。 【内訳】 実利用人数 71人 延利用回数 1,029回	車椅子やストレッチャーでなければ外出が困難な方に、通院等の手段を確保することで在宅生活の支援を行うことができた。 通院以外の用途にも活用することにより、利便性の向上を図り、社会参加を促すことができた。
3-1-2	食の自立支援事業(配食サービス)		20,563	15,795	6,363	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 9,432	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 15,795 0 0 0 0	概ね65歳以上の一人暮らし・高齢者のみの世帯、もしくはこれに準ずる世帯に属する高齢者並びに障がい者で心身の障がい・傷病等の理由により調理の困難な方に対し、1日1食を上限として配食サービスを提供した。 【内訳】 登録人数 242人 延利用回数 21,937回	高齢や疾病等により自力では調理が困難な方に対し、栄養バランスのとれた食事を提供し、食の自立支援を図るとともに、配達時の声かけにより安否確認の役割を果たすなど在宅福祉の充実を図ることができた。
3-1-2	家族介護慰労金交付事業		468	243	243	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 243	介護認定が要介護4・5、又は要介護3で重度の認知症(認知症高齢者の日常生活自立度がⅢa以上)の方を、介護保険サービスを利用することなく月の15日以上を在宅で介護している同居家族を対象に慰労金として月3千円を支給した。 【内訳】 支給人数 10人 延月数 81月	重度の要介護者を介護保険サービスを利用することなく在宅で介護している世帯を対象として家族介護慰労金を支給し、介護者の労をねぎらうとともに、経済的な負担を軽減することができた。

3-1-2	介護保険施設等物価高騰対策事業		26,374	26,343	1	国 県 債 一 基 他	13,694 12,648 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 26,343 0	物価高騰の影響を受けている介護サービス事業所等への支援を行った。 【内訳】 ①13,555,200円 (入所・通所・複合系の光熱水費等) ②11,242,200円 (入所・通所・複合系の食材料費) ③1,545,000円 (訪問・相談系の光熱水費等) 計26,342,400円	入所系34施設(うち指定管理5施設、通所系15施設(うち指定管理5施設)、複合系1施設、訪問・相談系15事業所へ、緊急かつ実効性のある支援を行ったことで廃止といった切迫した事態に至ることもなく、安定したサービス体制の確保と継続的な施設運営の維持につなげられた。
3-1-2	外国人介護人材定着奨励金交付事業		2,353	2,353	2,353	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 3 0 0 0 2,350 0	特定技能等の在留資格で市内の介護事業所に勤務する外国人介護職員を対象として、継続的な就労と地域に根ざした定住を後押しするため、奨励金を交付した。 【需用費(消耗品費)】 のし袋購入 2,956円 【奨励金交付内訳】 ①新規 27名 (1,350,000円) ②1年 8名 (400,000円) ③2年 6名 (600,000円) 計 41名 (2,350,000円)	経済的な支援を行うことで、仕送りや余暇の充実等に充てることができ、助かるといった声も聞かれ、継続的な就労を下支えする動機付けとして一定の効果を見出すことができた。また、事業者側は採用上のセールスポイントとなっているだけでなく、外国人材を受け入れることでこれまで以上に余裕をもった勤務体制を組める、さらには真摯に介助等に当たる外国人介護職員の姿勢や態度に触発されて他の従業員の士気が高まるといった職場環境の改善にもつなげられていた。
3-1-2	北秋田市えらべる敬老お祝い事業		1,976	1,975	1,975	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	1,295 0 539 141 0 0 0 0	本市に住民登録があり、当該年度中に満88歳(米寿)に達する者に「お祝い品リスト」を送付し、選んでいただいたお祝い品を贈呈した。 【内訳】 対象者 355人 申込者 355人 申込率 100.0%	88歳(米寿)を迎えられた方にお祝い品を贈呈することで、長年、社会に貢献された方の長寿をお祝いすることができた。また、カタログギフト形式を採用することで「個人や家族で選ぶ楽しみ」「みんなで選ぶことによる家族間、世代間のコミュニケーション」など高齢者の福祉の増進に寄与することができた。

3-1-2	北秋田市百歳お祝い事業		1,731	1,723	1,723	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	1,600 0 123 0 0 0 0 0	北秋田市内に10年以上在住し、100歳に達した方に対し、祝状及び祝金(5万円)を贈呈し、長寿のお祝いを行った。 【内訳】 男 3人 女 29人 計 32人	百歳を迎える高齢者に対して、長年にわたり社会に貢献されてきたことを感謝するとともに、広報紙で広く市民にも周知することで敬老思想の高揚、高齢福祉への理解・関心を深めることができた。
3-1-2	老人憩の家管理運営事業		1,961	1,961	1,961	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 1,961 0 0 0	ことぶき荘の効率的な運営を図るため、社会福祉法人に管理運営委託を行った。 【内訳】 ことぶき荘指定管理料 1,961千円	社会福祉法人に指定管理委託することにより、効率的な運用がなされ、高齢者の福祉増進を図ることができた。
3-1-2	北秋田市地域福祉センター管理運営事業		3,186	3,180	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 3,180 0 0 0	地域福祉センターの効率的な運用を図るため、社会福祉法人に管理運営委託を行った。 【内訳】 北秋田市地域福祉センター指定管理料 3,180千円	社会福祉法人に指定管理委託することにより、効率的な運用がなされ、高齢者の福祉増進を図ることができた。

3-1-2	北秋田市生活支援ハウス管理運営事業		48,481	48,481	47,312	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 1,169	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 48,481 0 0 0	高齢者生活支援ハウスの効率的な運用を図るため、社会福祉法人に管理運営委託を行った。 【内訳】 サポートハウスたかのす指定管理料 22,353千円 森吉生活支援ハウス指定管理料 26,128千円	社会福祉法人に指定管理委託することにより、効率的な運用がなされ、高齢者の福祉増進を図ることができた。
3-1-2	サテライトステーションつづれこ管理運営事業		5,671	5,619	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 5,619	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 5,619 0 0 0	サテライトステーションつづれこの効率的な運用を図るため、社会福祉法人に管理運営委託を行った。 【内訳】 サテライトステーションつづれこ指定管理料 5,619千円	社会福祉法人に指定管理委託することにより、効率的な運用がなされ、高齢者の福祉増進を図ることができた。
3-1-2	軽費老人ホーム大野台エコーハイツ管理運営事業		77,558	77,557	77,557	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 77,557 0 0 0	軽費老人ホームの効率的な運用を図るため、社会福祉法人に管理運営委託を行った。 【内訳】 軽費老人ホーム大野台エコーハイツ指定管理料 77,557千円	社会福祉法人に指定管理委託することにより、効率的な運用がなされ、高齢者の福祉増進を図ることができた。

3-1-2	合川高齢者生活支援 施設管理運営事業		8,458	8,306	8,306	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 8,306 0 0 0	高齢者生活支援施設の効率的な運用を図るため、社会福祉法人に管理運営委託を行った。 【内訳】 合川高齢者生活支援施設指定管理料 8,306千円	社会福祉法人に指定管理委託することにより、効率的な運用がなされ、高齢者の福祉増進を図ることができた。
3-1-2	養護老人ホームもろ び苑管理運営事業		106,373	101,954	71,727	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 30,227 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 101,954 0 0 0	もろび苑の効率的な運用を図るため、社会福祉法人に管理運営委託を行った。 【内訳】 もろび苑指定管理料 101,954千円 【入所状況】 市内からの入所者 44人 大館市からの入所者 3人 小坂町からの入所者 3人	社会福祉法人に指定管理委託することにより、効率的な運用がなされ、高齢者の福祉増進を図ることができた。
3-1-2	老人クラブ活動支援 事業		3,620	3,618	2,450	国 県 債 一 基 他	0 1,168 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,618 0	単位老人クラブ及び市老人クラブ連合会活動を支援するため補助金を交付した。 【内訳】 市老連補助金 1,080千円 単位クラブ補助金 2,218千円 友愛活動費補助金 214千円 新規活動費補助金 106千円	高齢者の生きがいと健康づくり、社会奉仕、地域交流活動を行っている老人クラブ(30人以上の団体40団体、29人以下の団体21団体)に活動支援を行うことにより、高齢者の社会参加への意欲を促すことができた。 また、友愛訪問活動を実施することで、一人暮らし高齢者の見守りにつながった。

3-1-2	老人福祉施設整備事業		19,839	19,792	19,792	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 2,839 0 0 16,953 0 0	施設利用者の安心・安全性を確保するため、老朽化した施設の改修等を行った。 【事業費内訳】 施設修繕費(6施設) 2,839千円 工事請負費(3施設) 16,953千円 計 19,792千円	すべての指定管理施設において老朽化が進んでいるため、計画的に改修することにより利用者が安全で快適に過ごすことができた。
3-1-2	老人保護措置費		7,244	4,618	3,604	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 1,014	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 4,598 20	老人保護措置費負担金 4,618千円 【入所状況】 能代市 松籟荘 1人 秋田市 松峰園 1人	65歳以上の方で、生活環境及び経済的理由により在宅において日常生活を営むことが困難な方を本人の希望により市外施設に入所させ養護することができた。 各施設において、社会福祉事業に精通する職員により、自立した日常生活を営み社会活動に参加するために必要な指導、訓練その他の援助が効果的に行われた。
3-1-2	成年後見制度利用促進体制整備推進事業		2,693	2,693	2,693	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 2,693 0 0 0	成年後見制度の利用促進に向け市が中核機関として設置する「北秋田市成年後見支援センター」の業務を社会福祉法人に委託した。 【主な業務実施状況】 相談受付件数 149件 申立手続き等支援件数 43件 後見人からの相談受付件数 12件	制度の普及啓発、制度利用に関する相談受付、関係団体とのネットワークの形成と連携、成年後見人に対する支援などの業務を行うことで、成年後見制度の利用促進を進めることができた。

3-1-2	高齢者等日常生活支援事業 (高齢者エアコン設置支援事業)		4,094	4,094	4,094	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 4,094 0	経済的な理由により自宅にエアコンがない高齢者世帯に対し、エアコンの購入及び設置に要する費用を助成した。 【内訳】 交付件数 82件 交付額 4,094千円	エアコン設置を推進することにより、夏季における高齢者等の熱中症による健康被害を予防し、高齢者の安全で安心な生活を支援することができた。
3-1-2	高齢者等日常生活支援事業 (高齢者補聴器購入支援事業)		1,550	1,300	1,300	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,300 0	聴力機能の低下により日常生活を営むことに支障がある高齢者に対し、補聴器購入にかかる費用を助成した。 【内訳】 交付件数 26件 交付額 1,300千円	聴力機能の低下へ対応することで、高齢者の積極的な社会参加及び地域交流を支援することができた。また認知症やフレイルの進行を緩やかにすることで生活の質を維持することに寄与することができた。
3-1-3	障害者支援施設等物価高騰対策事業		19,562	19,559	0	国 県 起 一 基 他	9,796 9,763 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 19,559 0	物価高騰に伴う緊急的な支援を目的として、障害者支援施設等に対して食材料費及び光熱水費を助成するための補助金を交付した。 【実績】 補助金額 食材料費 6,167,500円 光熱水費 13,392,000円 合計 19,559,500円	障害者支援施設等の経済的負担の軽減が図られた。

3-1-3	地域生活支援事業		54,325	46,194	22,243	国 県 債 一 基 他	12,403 11,548 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 9 4 4 39,129 0 200 6,848	障がい児・者が有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営む事ができるように、必要な生活支援事業を効率的かつ効果的に実施した。 【実績】 相談支援事業 412人 意思疎通支援事業 2人 日常生活用具給付事業 83人 移動支援事業 42人 成年後見制度利用支援事業 1人 訪問入浴サービス事業 4人 日中一時支援事業 30人 生活サポート事業 6人 合計 580人	障がいの程度等に応じた必要な生活支援事業を実施することで、障がい児・者が日常生活や社会生活を営む事ができるよう支援し、福祉の増進が図られた。また、基幹相談支援センターを設置・運営することで、障がいのある人やその家族が安心して相談できる体制の充実と関係機関との連携が適切に図られた。
3-1-3	障害児通園事業		7,837	7,837	7,837	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 7,837 0 0 0 0	もろびこども園において、言葉や身体の発育・発達に心配がある児童に対し、民間事業者の能力を活用し、日常生活に必要な指導及び訓練を行った。 【指定管理者】 (福) 県北報公会	保護者をはじめ、保健センター等の関係機関と連携しながら必要な児童の専門的支援を行い、集団での適応能力の向上、学校生活や家庭生活において必要な知識や能力の習得が図られた。
3-1-3	障害者相談支援事業		18,229	18,229	18,229	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 18,229 0 0 0 0	北秋田市障害者生活支援センター（ささえ）において、障がい者及びその家族等からの相談に応じて必要な情報提供を行うほか、日常生活上必要な訓練や指導などを行った。 【指定管理者】 (福) 県北報公会	障がい種別に応じた来所時・訪問時の対応を行い、日常生活に必要な支援につながった。 【実績】 利用者数（延べ） 25,405人

3-1-3	フードセンター運営事業		14,349	14,348	14,348	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	民間事業者の能力を活用し、就労することが困難な障がい者に対して就労継続支援B型事業所として、知識及び能力の向上のために必要な訓練等を提供した。 【指定管理者】 (財)たかのす福祉公社	お弁当や総菜作りを中心に販売等の作業に携わることで、障がい者の就労意欲の向上が図られ、利用者の自立と社会参加につながった。 【実績】 就労継続支援登録者数:19人 (定員20人) (R8.3.31時点)
3-1-3	障害者自立支援給付事業		1,168,440	1,063,856	204,635	国 県 債 一 基 他	591,911 267,310 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	障がい者が日常生活を送るために必要なサービス(介護等給付)や、自立した生活のために必要な知識や技術の習得を目指すサービス(訓練等給付)を提供した。 【実績】 受給者総数:1,203人	障がい者及びその家族に必要なサービスを提供することにより、障がい者の自立や社会参画の増進につながった。
3-1-3	障害児通所等給付事業		45,710	38,814	7,757	国 県 債 一 基 他	21,354 9,703 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	言葉や身体の発育・発達に不安の見られる児童に対し、「児童発達支援」「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」を通して、日常生活に必要な訓練や学びの提供を行った。 【実績】 利用人数:129人	訓練や学びの場の提供により、利用者の発育や発達の向上、社会活動への参加につながった。

3-1-3	在宅酸素療法者電気料金助成事業		263	166	166	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 166	常時在宅酸素を必要とする障害者に対し、酸素濃縮器の使用に係る推定電気料の一部助成を行った。(1/2相当額、所得制限あり) 【実績】 助成者数:18人	酸素濃縮器の使用に係る推定電気料金の一部を助成することにより、利用者の健康維持の一助となり、経済的負担軽減を図ることができた。
3-1-3	人工透析通院費助成事業		392	298	298	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 298	市内に住所を有する市民税非課税の人、週2回以上透析のため通院している人(他の交通費の公的助成を受けている人は対象外)を対象とした通院にかかる交通費の助成を行った。 【実績】 利用人数:16人	人工透析の治療を継続的に受けるため、通院費用の一部を助成したことで、利用者の経済的負担軽減を図ることができた。
3-1-3	障害者自立支援医療給付事業		28,452	21,858	3,960	国 県 債 一 基 他	12,433 5,465 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 21,858	更生医療・育成医療は、治療における効果が期待できるものに対し、障害を除去・軽減するための医療費に対する給付を行った。 療養介護医療は、医療的なケアが必要で常に介護必要とする障害者に対し医療費の給付を行った。 【実績】 更生医療 53人 (内人工透析 33人) 育成医療 1人 療養介護医療 6人	利用者の経済的負担軽減が図ることができた。

3-1-3	特別障害者手当給付事業		8,866	7,841	1,961	国 県 債 一 基 他	5,880 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 7,841	重度の障害があり、日常生活において常時特別な介護を必要とする特別障害者に対して手当を支給した。負担軽減を図った。 【実績】(受給者数/月額) 特別障害者手当: 15人/29,590円 障害児福祉手当: 8人/16,100円 経過福祉手当: 1人/16,100円 ※経過福祉手当は現在新規認定なし	対象者の経済的負担の軽減を図ることができた。
3-1-3	補装具給付事業		4,800	3,719	389	国 県 債 一 基 他	2,400 930 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 3,719	身体障害者手帳所持者を対象に、障害を補うために必要な装具の購入や修理費用の一部を補助した。 【実績】 交付・修理件数: 51件 内 義 手: 1件 内 義 足: 2件 内 装 具: 12件 内補聴器: 26件 内車いす: 10件	装具の購入や修理をすることで、対象者の日常生活や地域での活動の支援につながった。また、購入や修理費用の一部を補助することで、対象者の金銭的な負担を軽減することができた。
3-1-3	福祉タクシー事業		1,536	1,182	1,182	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 55 0 0 1,127 0 0 0	身体障害者手帳1～3級、療育手帳A、精神障害者手帳1級所持者を対象にタクシー利用券を交付し、障がい者の社会活動への参加及び移動手段として、北秋田市内のタクシー事業所の初乗り運賃640円を助成した。 【実績】 利用人数: 91名 利用枚数: 1,762枚 交付枚数: 1人あたり最大48枚(1年間)	タクシー利用券を交付することで、移動手段の無い障がい者の移動手段の確保、通院や外出機会の増加により、自立や社会参加の支援につながった。

3-1-4	福祉医療給付事業		264,196	220,124	121,434	国 県 債 一 基 他	0 96,597 0 0 0 2,093	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 323 3,787 0 0 0 216,014	【事業費内訳】 消耗品費 (県) 6千円 印刷製本費 (県) 120千円 印刷製本費 (市) 197千円 通信運搬費 (市) 213千円 審査支払手数料 (県) 2,022千円 審査支払手数料 (市) 1,552千円 扶助費 (県) 193,125千円 扶助費 (市) 22,889千円 計 220,124千円	乳幼児(就学前)及び小中学生、高校生世代、ひとり親家庭の児童、高齢身体障害者、重度心身障害者の心身の健康保持と経済的負担軽減を図ることができた。
3-1-5	国民健康保険特別会計繰出金事業		286,620	279,703	164,325	国 県 債 一 基 他	28,465 86,913 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 279,703	法定負担割合や実績額により、一般会計から国保特別会計へ繰出を行った。 【事業費内訳】 保険基盤安定(保険税軽減分) 96,907千円 保険基盤安定(保険者支援分) 56,397千円 人件費繰出金 43,593千円 事務費繰出金 28,590千円 財政安定化支援 51,669千円 未就学児均等割保険料 322千円 出産育児一時金 2,013千円 産前産後保険料 212千円 計 279,703千円	国保財政の安定化とともに適切な医療を確保することができた。
3-1-6	後期高齢者医療費等負担事業		605,043	602,227	485,211	国 県 債 一 基 他	0 117,016 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 444,721 157,506	【事業費内訳】 後期高齢者広域連合事務費負担金 22,041千円 後期高齢者医療療養給付費負担金 422,680千円 事務費繰出金 1,486千円 保険基盤安定繰出金 156,020千円 計 602,227千円	給付等に対する市の負担金等を支出することによって、後期高齢者医療保険事業を適切に実施することができた。

3-2-1	ハッピーアニバーサリー事業		4,715	3,991	3,991	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 1 3,990 0 0 0 0	出産を控えた妊婦の心身の慰労と誕生を祝い、子ども1人に上限55千円分の記念品（育児用品等）を贈呈した。 【記念品贈呈者数】 69人	出産と子育てのスタートに際し、経済的な支援に加え市が出産・子育てを祝うことで、地域に見守られる安心感や孤立感の軽減につながっている。また、令和7年度から事業の一部を委託化したことで、カタログの配布や記念品の配送等を柔軟かつ迅速に実施できる体制が整い、サービスの向上につながった。
3-2-1	子育てクーポン事業		11,901	11,189	10,500	国 県 債 一 基 他	0 689 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 396 393 0 0 0 10,400	未就学児を養育する保護者等に対し児童1人当たり15千円のクーポン券を交付したほか、未就学児を含む3人以上の子を養育する多子世帯に対しては、県事業を活用し1世帯当たり15千円分のクーポン券を別途交付した。 【内訳】 子育てクーポン(市) 助成者数： 605人 換金額： 8,884千円 換金率： 97.9% 子育てファミリークーポン(県) 助成者数： 102人 換金額： 1,516千円 換金率： 99.1%	出生から就学前までの最大6年間、切れ目なく経済支援を実施することにより子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与した。令和7年度は、市内事業者の協力のもと、市の子育てクーポン協力店が10店舗台から80店舗台に拡大された。これにより、クーポンの利便性向上が図られたほか、市内事業者と連携した子育て支援の取組の拡充にもつながった。
3-2-1	子育てサポートハウス運営事業		23,799	21,643	14,035	国 県 債 一 基 他	3,718 3,718 0 0 0 0 172	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 21,643 0 0 0	子育て情報の提供や交換、育児相談、一時預かり、病児保育などを年間無休体制で提供する子育てサポートハウス「わんぱあく」の管理運営を行い、下記の事業を実施した。 【延利用者数等】 (来館者) つどいの広場：5,423人 一時預かり： 191人 病児保育(病後児)： 0人 見学者： 957人 計： 6,571人 (相談業務) 78件	市の子育て支援拠点として、主に0歳～小学校低学年のこどもを養育する保護者等に対し、気軽に相談や交流ができる場を365日提供したほか、一時預かり等の保育サービスも実施することにより、子育てにかかわる市民を支える体制の充実が図られた。

3-2-1	妊婦のための支援給付事業		9,983	9,515	181	国 県 債 一 基 他	8,031 1,771 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 109 41 49 0 0 9,316	伴走型相談支援として保健師による面談やアンケートを実施したほか、経済的支援として、妊娠届出時と出産後に妊婦支援給付金及びあきた出産・子育て応援交付金を支給した。 【内訳】 ベビーギフト(旧) 8人 妊婦支援給付金1回目 70人 妊婦支援給付金2回目 73人 あきた出産・子育て応援交付金 81人 支給額合計 9,170千円	伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施したことにより、妊婦や子育て家庭の孤立感や不安感を取り除くことにつながったほか、妊娠・子育てに関する必要な情報の提供に寄与することができた。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-2-2	物価高対応子育て応援手当支給事業		51,660	51,658	1	国 県 債 一 基 他	51,660 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 136 402 0 0 0 51,120	物価高の影響を受けている子育て世帯（児童手当受給者等）に対し、0歳～高校生年代のこども1人当たり2万円の手当を支給することにより、子育て世帯の経済的負担を支援した。 【支給児童数】 2,544人 【支給額】 50,880千円	物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対する緊急対策として迅速に手当を支給することで、子育て世帯の家計負担の軽減と生活の安定に寄与した。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-2-2	保育園運営事業		743,031	740,021	223,097	国 県 債 一 基 他	347,953 167,940 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 740,021	安定した保育運営のため、私立保育所等へ運営費を支給した。 【入所児童数】(R8.3.31) 私立保育所・認定こども園:423人 広域入所:11人 【内訳】 しゃろ一む:190,408,982円 鷹巣中央:116,456,060円 鷹巣東:68,770,320円 南鷹巣:97,860,410円 綴子:95,138,550円 七日市:39,121,130円 あいかわ:125,688,456円 広域入所:6,577,150円 計 740,021,058円	運営費（施設型給付費等）を支給することにより、保育を必要とする児童の受入体制を確保し、安定した保育サービスの提供を図った。 なお、令和5年度から市独自に実施している保育料無償化により、私立保育所等に入所する児童の保育料相当額（令和7年度:23,423千円）を市が負担し、子育て世帯への経済的支援を行っている。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算

3-2-2	保育所等物価高騰対策事業補助金		4,050	3,791	1	国 県 債 一 基 他	3,790 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,791 0	物価高騰の影響を受けている私立保育所等に物価上昇相当分の食材材料費を補助した。 【内訳】 しゃろ一む: 1,014,000円 鷹巣中央: 711,000円 鷹巣東: 282,750円 南鷹巣: 585,750円 綴子: 481,500円 七日市: 123,750円 あいかわ: 591,750円 計: 3,790,500円 ※令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用	物価高騰下においても、私立保育所等における給食の質及び量の維持が図られ、安定した保育サービスの提供につながった。
3-2-2	特別保育事業（延長保育事業）		5,600	4,204	1,804	国 県 債 一 基 他	1,400 1,200 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 4,204 0	保育時間を延長し必要な保育を確保する延長保育に係る事業費について、その一部を補助した。 【内訳】 しゃろ一む: 800,000円 鷹巣中央: 800,000円 鷹巣東: 500,000円 南鷹巣: 800,000円 綴子: 674,000円 七日市: 630,000円 計: 4,204,000円 【延利用児童数】 3,672人	保育需要に応じた延長保育を実施することで、安心して子どもを預けられる環境を確保し、仕事と子育ての両立支援を図った。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-2-2	特別保育事業（一時預かり事業）		3,461	2,956	986	国 県 債 一 基 他	1,537 985 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 2,956 0	保護者が就労や病気等により家庭保育が困難になった場合に、一時的に子どもを保育園等で預かる事業を実施した施設に補助を行った。 【内訳】 (幼稚園型) しゃろ一む: 1,115,000円 あいかわ: 1,758,000円 計: 2,873,000円 (余裕活用型) しゃろ一む: 70,000円 あいかわ: 13,000円 計: 83,000円 【延利用児童数】 (幼稚園型) 5,764人 (余裕活用型) 32人	一時預かり事業を実施することで、多様な保育ニーズに対応し、子育て世帯への支援及び保護者の負担軽減を図った。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算

3-2-2	特別保育事業（病児保育事業（体調不良児対応型））		22,718	22,398	7,466	国 県 債 一 基 他	7,466 7,466 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 22,398 0	保育中の急な発熱など、体調不良時に保護者が仕事などの都合で速やかに迎えに来られない場合に、迎えまでの間、安静に預かる事業を実施した5施設に補助を行った。 【内訳】 しゃろ一む: 4,794,000円 鷹巣中央: 4,496,000円 鷹巣東: 4,496,000円 南鷹巣: 4,116,000円 あいかわ: 4,496,000円 計 22,398,000円 【延利用児童数】 665人	体調不良児に対応するための看護体制の確保を支援することで、保育中の体調不良児への適切な対応及び保護者の負担軽減を図った。
3-2-2	特別保育事業（継続支援事業）		200	200	68	国 県 起 一 基 他	66 66 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 200 0	光熱費等の高騰による運営負担の軽減を図るため、特別保育事業を実施する施設等に対し補助を行った。 【内訳】 しゃろ一む: 75,000円 鷹巣中央: 50,000円 鷹巣東: 25,000円 あいかわ: 50,000円 計 200,000円	光熱費等の上昇に伴う緊急対策として、運営負担の軽減を図ることで、特別保育事業の継続的な実施に寄与した。
3-2-2	地域子育て支援拠点事業		37,882	37,411	12,471	国 県 債 一 基 他	12,627 12,470 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 37,411 0 0	乳幼児や保護者が相互に交流出来る拠点を開設し、相談、情報提供、助言等の支援を行った。 【内訳】 しゃろ一む: 10,694,000円 あいあい: 10,694,000円 にこにこ: 10,694,000円 なかよし: 5,328,801円 計 37,410,801円 【延利用者数】 しゃろ一む: 1,334人 あいあい: 132人 にこにこ: 322人 なかよし: 231人 計 2,019人	地域における子育て支援拠点として、育児相談や交流の機会を提供することにより保護者の心身の負担軽減を図った。また、光熱費等の上昇に伴う緊急対策として、運営負担の軽減を図ることにより安定的な事業実施に寄与した。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算

3-2-2	障がい児保育事業		22,230	22,050	22,050	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 22,050 0	障がい児保育の実施に必要な費用の一部を補助した。 【内訳】 しゃろ一む: 8,280,000円 鷹 巢 東: 2,160,000円 南 鷹 巢: 1,080,000円 綴 子: 6,210,000円 七 日 市: 2,160,000円 あいかわ: 2,160,000円 計 22,050,000円 【対象児童数】 しゃろ一む: 6人 鷹 巢 東: 1人 南 鷹 巢: 1人 綴 子: 6人 七 日 市: 1人 あいかわ: 2人 計 17人	発達に支援が必要なこどもの育ちを支援するため、私立保育所・認定こども園に対し市独自に加配職員に係る人件費を支援することで、必要な保育環境の確保しこどもの集団生活への参加を促進したほか、保護者が子育てと仕事を両立できるよう体制整備を行った。令和7年度は補助金額を増額(A判定:月額100千円から180千円、B判定:月額50千円から90千円)し、受入体制の更なる充実を図った。
3-2-2	すこやか子育て支援事業		10,926	10,642	6,712	国 県 債 一 基 他	0 3,930 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 10,618 24	すこやか子育て支援事業により、副食費及び認可外保育所等保育料を全額助成した。 【内訳】 (私立保育所等副食費) しゃろ一む: 2,654,278円 あいかわ: 1,893,776円 鷹巢中央: 1,970,900円 鷹 巢 東: 668,790円 南 鷹 巢: 1,761,120円 七 日 市: 268,300円 綴 子: 1,341,600円 轟(広域): 58,800円 計 10,617,564円 (認可外保育所等保育料) 助成者1名 24,000円	私立保育所等を利用する子育て世帯、特に複数の児童が入所している世帯や低所得世帯の経済的負担の軽減に寄与している。 また、令和5年度からは補助額を市独自に拡大し、児童の副食費(令和7年度相当額:2,762千円)の無償化を図っている。
3-2-2	児童手当給付事業		329,158	326,798	34,044	国 県 起 一 基 他	261,978 32,570 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 62 186 0 0 0 326,550	高校生年代までの児童を養育している受給者に対し、児童1人あたり月額10～30千円の手当を年6回支給した。 【延児童数】 3歳未満(第1・2子): 1,579人 3歳未満(第3子以降): 367人 3歳以上高校生年代 (第1・2子): 20,096人 3歳以上高校生年代 (第3子以降): 2,989人 計 25,031人 【支給額】 325,325千円	児童の養育に係る経済的負担の軽減を図ることで、子育て世帯の生活の安定とこどもの健やかな成長に寄与した。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算

3-2-2	保育所等セーフティサポート事業		6,650	6,473	6,473	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 6,473 0	私立保育所等の安全環境整備（施設修繕、設備更新等）及び遊具点検に係る費用の一部を補助した。 【内訳】 しゃろ一む： 930,250円 鷹巣中央： 930,250円 鷹 巣 東： 930,250円 南 鷹 巣： 930,250円 綴 子： 930,250円 七 日 市： 891,250円 あいかわ： 930,250円 計 6,472,750円	遊具点検や施設整備への支援を行うことにより、事故防止及び保育環境の安全確保を図ることができた。
3-2-2	保育対策総合支援事業		7,458	6,814	1,748	国 県 債 一 基 他	6,032 803 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 6,757 57	保育士の業務負担軽減及び保育体制の充実を図るため、保育補助者や保育支援者等を配置する私立保育所等に対し、人件費の補助を行った。 【内訳】 しゃろ一む：1,477,000円 鷹巣中央：1,200,000円 鷹 巣 東：1,200,000円 綴 子：2,441,000円 あいかわ： 439,000円 計 6,757,000円	保育補助者及び保育支援者等の配置により、保育士の業務負担軽減と多様な人材の活用が図られ、安定した保育サービスの提供につながった。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-2-2	就学前教育・保育施設整備事業		20,625	20,577	6,859	国 県 債 一 基 他	13,750 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 20,577 0	施設の老朽化に対応するため、園舎の屋根の全面修繕を行った。 【内訳】 鷹巣中央：15,840,000円 あいかわ： 4,737,000円 計 20,577,000円	園舎の安全性及び施設機能の維持・向上が図られ、安心して教育・保育を受けられる環境の確保につながった。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算

3-2-2	児童扶養手当給付事業		90,592	86,378	57,535	国 県 債 一 基 他	27,953 0 0 0 0 889	報 旅 需 役 委 工 負 他	1 0 49 150 0 0 0 86,178	ひとり親の家庭への経済的支援のため手当を支給した。 【内訳】 対象者(家庭): 155人 支給額: 86,178,100円	経済的支援により、自立促進に寄与することができたほか、児童の福祉増進が図られた。
3-2-2	子育て短期支援事業		481	39	12	国 県 債 一 基 他	75 10 0 0 0 7	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 39 0 0 0	平日の夜間又は休日に保護者が不在となる家庭の児童を児童養護施設等において一定期間養育や保護を行った。 【内訳】 ショートステイ(短期入所生活援助)のべ利用日数 7日 実利用人数 1人 トワイライトステイ(夜間養護等)利用なし	児童及びその家庭の安心安全と福祉の向上を図ることができた。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-2-2	こども家庭センター事業(子育て相談係分)		11,119	10,326	4,201	国 県 債 一 基 他	4,840 1,285 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	270 162 114 0 72 0 15 9,693	家庭相談員(子ども家庭支援員)を配置し、電話、面談、訪問により相談対応を行ったほか、心理師からの助言を受け、困難事例への対応方法等、相談支援のスキルアップを図った。また、児童虐待防止及び相談窓口の周知を図った。※経費には、2款1項1目支出の共済費を含む 【児童相談受付状況】 養護相談 37件 障害相談 19件 育成相談 36件 その他 7件 計 99件 【心理師からの助言等】 22回	子育て家庭等の包括的な切れ目のない相談支援を行い、母子保健担当、保育園、学校、児童相談所等、関係機関との情報共有及び連携を図り、必要な支援・サービスにつなぐことができた。また、様々な年代の市民に対し幅広く児童虐待防止の重要性と児童虐待に関する相談・通告先の周知を図ることができた。

3-2-2	地域こどもの生活支援強化事業		2,020	1,691	564	国 県 債 一 基 他	1,346 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 1,691 0	こどもが安心・安全で気軽に立ち寄ることのできる居場所で、こども食堂や様々な体験・機会の提供、学習支援を実施する1団体に対して補助金を交付した。 【内訳】 こども食堂等の実施 766,000円 居場所等立上げ支援 925,000円	実施団体が活動を通して把握した支援が必要なこどもの情報をこども家庭センターと共有する連絡体制により、支援が必要なこどもの早期発見と、適切な支援につなげるための体制を整えることができた。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-2-3	ひとり親家庭入学祝金支給事業		2,200	2,100	2,100	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 2,100	小学校・中学校へ入学する児童のいるひとり親家庭に対し入学祝金として1人2万円、高等学校等へ入学する場合は5万円を支給した。 【内訳】 小学校入学 17人 中学校入学 13人 高等学校等入学 30人 計 60人 支給額合計 2,100千円	ひとり親家庭の経済的負担の軽減と希望を持って入学する児童生徒のスタートを支援できた。
3-2-3	ひとり親家庭援助費事業		4,567	4,491	3,478	国 県 債 一 基 他	1,013 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 3 4,488	母子・父子家庭の安定した生活維持のための母子父子自立支援員による相談業務のほか、教育訓練を受講する際の生活費を支給する事業を実施した。 【内訳】 相談件数:102件 高等職業訓練促進給付金 1,351千円(1人)	母子・父子家庭への経済的負担の軽減と自立支援が図られた。

3-2-4	児童福祉施設(公立保育所)運営事業		124,810	107,286	99,792	国 県 起 一 基 他	0 1,628 0 0 0 5,866	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 1,737 20,011 623 6,082 7,360 169 71,304	公立保育所において、保育を必要とする児童に対し、健全な心身の発達を図るため。 【入所児童数】(R8.3.31) 米内沢:37人 前 田:9人 阿仁合:11人 計 57人	保育を必要とする児童へ安全で安心な保育を安定的に提供することにより、保護者の子育てと仕事の両立を支援するとともに、児童の健全な心身の発達を図った。 なお、令和5年度から公立保育所に入所する児童の保育料等(令和7年度相当額:保育料2,465千円、副食費315千円)を市独自に無償化しており、子育て世帯への経済的支援を行っている。
3-2-5	児童館運営事業		31,111	25,820	25,820	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 279 0 24,408 258 703 172	児童の遊び場を提供し、健全な育成と子育て世帯への支援を図るため、児童館の管理・運営を委託した。 【延利用児童数】 鷹 巣:12,077人 綴 子: 977人 太 田: 2,923人 計 15,977人	児童に安全な遊びの場を提供することにより、健全な育成と子育て世帯への支援が図られた。
3-2-5	児童館解体事業		1,613	1,430	1,430	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,430 0 0 0	老朽化した児童館を年次解体することにより、景観や安全面などの周辺の環境改善を図ることを目的に、旧吉田児童館の解体工事設計委託を行った。 【内訳】 旧吉田児童館解体工事設計委託 : 1,430千円	老朽化した児童館の解体にむけ、年次の取組みを着実に行うことができた。

3-2-6	放課後児童健全育成事業		192,844	169,597	93,634	国 県 債 一 基 他	35,009 32,361 0 0 0 10,951	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 1,815 0 1,283 80,705 0 22 85,772	保護者が就労等で留守になり保育できない小学生を対象に、家庭にかわって安心できる生活と遊びの場を提供した。 【設置状況】 9施設15クラブ 【登録児童数】(R8.3.31) 鷹巣地区: 322人 合川地区: 100人 森吉地区: 76人 阿仁地区: 18人 計 516人	市内の小学生を対象に、放課後や土曜日、長期休業時に安全・安心に過ごせる居場所を提供することで、児童の健全育成及び保護者の子育てと仕事の両立支援を図った。令和7年度は、性被害防止用カメラを4施設(10クラブ)に配置し、児童の安全確保及び権利擁護に配慮した運営体制の充実に図った。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-3-1	被保護者就労支援事業		2,031	1,691	423	国 県 債 一 基 他	1,268 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,691	地域の求人情報を収集した上で、就労支援対象の被保護者に対し、就職活動支援及び就労に対する助言指導を行った。 【内容】 就労支援員報酬 1,324千円 就労支援員手当等 343千円 就労支援員旅費 24千円 計 1,691千円	ハローワーク等の関係機関と連携しながら就労支援を実施し、就労支援プログラムによる対象者23名のうち、4名が就労に結びついている。 今後も就労支援を継続し、扶助費削減に努めたい。 【令和7年度就労者数】 一般就労者数 18人 就労支援B型他 19人
3-3-1	医療扶助適正化事業		631	604	152	国 県 債 一 基 他	452 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 10 0 0 0 594	適正な医療扶助の実施に取り組むため、被保護者に係る診療報酬明細書及び請求内容について点検し、疑義が生じたものについて再審査請求を行った。 【内容】 レプト点検業務報酬 502千円 レプト点検職員手当等 17千円 電子データ提供手数料 10千円 レプト点検員共済費等 75千円 計 604千円	レセプト点検の実施により、診療報酬額の正しい決定が行われ、医療扶助の適正な実施が図られた。

3-3-1	レセプト管理クラウドサービス利用料		2,502	2,502	2,502	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 2,502	レセプト管理クラウドサービスの利用により、健康管理支援、健診データ分析、オンライン資格確認連携を行った。 【内容】 基本サービス 792千円 ID利用サービス 290千円 資格確認連携 330千円 健康管理支援 436千円 健診データ分析 654千円 計 2,502千円	【健康管理支援サービス】 被保護者の医療情報について基礎的な分析を行い、生活習慣病の重症化予防等の指導を行うことが可能となった。 【健診データ分析サービス】 健診データを取り込み、被保護者データと紐づけし、一元管理が可能となった。 【オンライン資格確認連携サービス】 資格情報データ等を医療保険者等中間サーバー等へ連携させることで、医療扶助の適正な実施が図られた。
3-3-1	生活保護システム更新事業		2,288	2,288	1,144	国 県 債 一 基 他	1,144 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 2,288 0 0 0	制度改正等に伴う生活保護システムの改修を行った。 【内容】 生活保護システム改修 660千円 (レイアウト改版対応) 生活保護システム改修 924千円 (生活扶助基準の見直し) 生活保護システム改修 704千円 (被保護者調査項目の変更) 計 2,288千円	生活保護システム「ふれあい」の改修により、生活保護費の適正な支給、被保護者調査の適正な実施等が可能となった。
3-3-2	生活保護扶助費		502,518	456,559	99,241	国 県 債 一 基 他	339,424 13,698 0 0 0 0 4,196	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 456,559	その困窮の程度に応じ必要な扶助費の給付を行い、最低限の生活を保障する。 【内訳】 生活 110,409千円 教育 376千円 住宅 40,579千円 医療 203,784千円 介護 8,879千円 葬祭 894千円 生業 480千円 施設事務費 91,108千円 就労支援金 50千円 計 456,559千円	最低限の生活を保障するとともに自立を促すことを目的に、各扶助（生活・住宅・医療等）の給付を行い、自立促進を図ることができた。 【R7平均】 【R6平均】 保護世帯数 280世帯 293世帯 保護人員 326人 350人 保護率 11.6‰ 12.5‰

3-4-1	災害弔慰金支給事業		5,000	5,000	1,250	国 県 債 一 基 他	2,500 1,250 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 5,000	昨冬の雪害事故により亡くなられた2名の遺族に対し、災害弔慰金を支給した。	雪害の不慮の事故により亡くなられた遺族に対し、弔慰金を支給することにより、遺族への慰謝と経済的な支援を行うことができた。
3-4-1	災害り災者自立支援金給付事業		12,000	11,620	11,620	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 11,620	大雨被害により半壊(床上浸水)5件、一部損壊(床下浸水)60件に対し、総額1,700千円の災害り災者自立支援金を給付した。 雪害により半壊3件、一部損壊483件(1件受取辞退)に対し、総額9,920千円の災害り災者自立支援金を給付した。 半壊…100千円(借家30千円) 一部損壊…20千円(借家10千円)	災害により日常生活に支障を来したり災者に対し、自立支援を促すため、災害り災者自立支援金を給付することで、復旧への一部を手助けすることができた。
4-1-1	北秋田市保健センター修繕		86,438	85,195	895	国 県 債 一 基 他	0 0 84,300 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 2,668 82,527 0 0	鷹巣保健センターの改修工事を計画に基づき実施した。 【事業費内訳】 外部改修工事 60,236千円 空調設備改修工事 14,759千円 照明器具LED改修工事 7,532千円 外部改修工事監理委託 2,383千円 外部改修工事設計監理委託 285千円 計 85,195千円	照明設備の更新により、室内照度が向上したことで職員や来所者の利便性が向上するとともに、電気使用量の削減を図ることができた。また、空調設備の更新は冬季間の灯油による床暖房からエアコン暖房を併用することにより灯油使用量を削減できた。 これらの更新により前年比で燃料・電気量とも減少した。設備が新しくなったことにより、臨時的な修繕が減少し修繕料の削減や事務作業が減少した。

4-1-2	心の健康づくり事業		829	746	338	国 県 債 一 基 他	0 408 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	309 79 270 88 0 0 0 0	第2期北秋田市いのち支える自殺対策計画に基づいた事業を実施。 【対面相談】 相談者実3人延10人、高齢者訪153人 【人材養成】 研修会3回延46人、ふれあい相談員新規認定者7人 【普及啓発】 講演会2回延107人、心の交流サロン10回87人 【若者層対策】 SOSの出し方講座全中学校1年生142人、子ども立ち寄り相談室2回利用12人相談1人	ふれあい相談員養成講座では、「傾聴」の実技を行い、身近な相談役となる人材育成を図った。心の交流サロンは、地域包括支援センターの介護予防教室と連携し、高齢者の交流機会の確保に努めた。若者の生きる支援講演会では不登校・ひきこもりへの理解促進を図ることができた。SOSの出し方講座は全中学校で実施し、相談窓口の周知や具体的な相談支援につながるケースがみられた。
4-1-2	高齢者の一体的な保健事業		10,210	10,192	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 10,192	報 旅 需 役 委 工 負 他	150 36 330 129 9,547 0 0 0	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき秋田県広域連合の委託を受け高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施。 【実績】 フレイル予防教室65回、延715人 のびのび運動教室68回、延2,117人 フレイル健診10会場延184人、実138人 健康状態不明者訪問11人 低栄養訪問者数2人、うち指導完了1人 健診ハイリスク受診勧奨者数49人 身体的フレイル予防 調査票返信数93人、保健指導実施数20人	ポピュレーションアプローチとして実施したフレイル予防教室は、地区サロン世話人からの要望を受けて出向く機会が増加。地区によっては市保健師による指導が定着しており、住民のフレイル予防に対する意識向上が図られた。ハイリスクアプローチにおいては、訪問や通知等による実態把握、個別指導、受診勧奨等を実施し、フレイル状態の悪化防止を図るとともに必要に応じて関係機関への情報提供を適切に行うことができた。
4-1-2	特定健診・特定保健指導・後期高齢者健診		35,483	35,121	2,692	国 県 債 一 基 他	73 120 0 0 0 0 32,236	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 54 2,252 2,252 27,572 0 7 2,984	後期高齢者の医療の確保に関する法律により特定健診、特定保健指導、後期高齢者健診を実施。20～30歳で職場で健診を受ける機会のない方にはさわやか健診を実施。 【特定健診】1,767人 【後期高齢者健診】1,467人 【さわやか健診】21人 【特定保健指導】積極的支援8人、動機づけ支援57人	健診未受診者対策として、特定健診は6月と9月に、後期高齢者健診では9月に個別通知による受診勧奨を実施。特に個別医療機関方式における受診者が増加し、受診率向上につながった。特定保健指導は、実施形式を集団形式に変更し、健診結果説明会と初回面接を併せて実施したことで、結果の理解を深めながら保健指導を実施でき、実施率も向上した。

4-1-2	健康増進事業		29,445	27,959	21,946	国 県 債 一 基 他	176 830 0 0 0 5,007	報 旅 需 役 委 工 負 他	90 23 1,220 760 25,131 544 0 191	健康増進法に基づく健康増進事業及びがん検診、保健事業等を実施。 【実績】 胃がん 1,068人 乳がん 367人 子宮頸がん 378人 肺がん 2,147人 大腸がん 2,400人 歯周疾患検診 140人 【がん補正具】 頭髮11件、乳房補正具3件 ※国庫 新たなステージR8返還金2千円	歯周疾患検診において、対象者への個別通知を実施した結果、受診者数が約10倍に増加し、歯科疾患の早期発見・治療につながった。がん検診は職域との連携が奏功し、乳がん・大腸がん検診の受診者数が増加した。一方で、全体的ながん検診受診率は依然として低い状況にあるため、国保以外の受診状況の把握に努め、実態に即した受診率向上の検討を進めていきたい。
4-1-3	感染症・予防接種事業		85,669	71,865	71,717	国 県 債 一 基 他	148 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 44 328 318 68,746 0 0 2,429	予防接種法に基づき定期接種・任意接種を実施。 【実績】 子ども定期（ロタ、小児肺炎、五混・四混・二混、ヒブ、B型肝炎、BCG、MR、水痘、日本脳炎、HPV）延2,101、風しん（5期含）13、高齢者インフル6,439、新型コロナ1,043、高齢者肺炎483、帯状疱疹延1,384、おたふく46、子ども・妊婦インフル延1,658 【健康被害】 1件 【システム整備】 1件 ※国庫 風しん返還金400千円、コロナ助成返還金1,738千円、コロナR5繰越分返還金41千円	乳児訪問や乳幼児健診、就学時健診や個別通知等での接種勧奨により、子どもの定期接種率はほぼ90%以上であり感染症予防や重症化防止につながっている。コロナワクチンについては、令和7年度より国の助成が終了し、市の助成額を増額したものの接種率は8.1%にとどまり昨年より減少した。帯状疱疹ワクチンは令和7年度より定期接種化され対象者に個人通知したところ、任意接種を含む接種者が増加した。
4-1-4	母子保健事業		4,036	3,824	3,667	国 県 債 一 基 他	157 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	795 51 444 64 1,783 0 52 635	母子保健法に基づき健康相談、乳幼児健診における発育等確認、保健指導を実施。 【実績】4か月児健診70人(98.5%)、10か月児健診70人(98.5%)1歳6か月児健診79人(98.7%)3歳児健診71人(98.6%)、5歳児健診90人(96.8%)。 ※5歳児健診R7国庫実績157千円	令和7年度より5歳児健診として実施し、就学前の発達について気づきの場となっている。健診後、必要時相談の場も案内しており児童や保護者の不安の解消につながっている。 各健診の受診率はいずれも95%以上で、1歳6か月健診、3歳児健診においては、昨年度よりも受診率が増加した。健診1か月前の通知や未受診者へ再度通知による受診勧奨を行い、受診率の維持・向上につなげることができた。

4-1-4	育児等健康支援事業		592	539	489	国 県 債 一 基 他	28 22 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	139 20 242 0 110 0 0 28	子育て支援事業の一環として各種母子保健事業を実施。 【実績】母子健康手帳交付68件、マタニティ教室延62名、乳児全戸訪問事業延150人、子育て世帯訪問支援事業利用者0人、食育キッズ16人、食育ジュニア53人、乳幼児育成事業スキップクラブ延88人、巡回園訪問延118人、ことばの教室延12人	母子健康手帳交付時にマタニティ教室の周知を行った。マタニティ教室では助産師を中心に妊娠期から出産後のイメージがつくよう実施し、切れ目のない支援につなげることができた。 スキップクラブは比内支援学校たかのす校特別教育アドバイザー、公認心理士、架け橋アドバイザーなど各分野の専門スタッフと連携することで保護者への育児支援につながった。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
4-1-4	母体健康増進支援事業		10,864	9,519	9,176	国 県 債 一 基 他	325 76 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 13 0 9,427 0 79 0	妊婦健診16回、産婦健診、母乳育児相談補助券3回、精密検査、子宮がん検診、歯科健診、新生児聴覚検査を医療機関に委託し実施。 妊婦歯科健診は県補助金1/2、R7より産婦健診国交付金1/2。 【実績】妊婦健診884件、産婦2週間健診31件、産婦1か月健診76件、母乳育児相談延60件、精密検査22件、子宮頸がん検診70件、新生児聴覚検査延77件、妊婦歯科健診38件	適切な時期に妊産婦健康診査を受けることで、母体と胎児の健康増進を図ることができた。 また、産婦健診でEPDSを確認し、産後うつ病のリスクがある方へ早期に支援につなげることができた。 県外に里帰りする妊婦のため県外での妊婦健診費用の助成を行い、経済的負担の軽減につながった。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
4-1-4	こども家庭センター事業(母子保健係分)		37,203	35,044	26,539	国 県 債 一 基 他	7,370 1,742 0 0 0 208	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 298 1 876 54 742 33,073	妊娠期から子育て期までの相談先が連携を取り、子どもや保護者含め家族全体を支援する。おいDAYでは妊産婦や乳幼児対象に様々な相談に対応する。 【実績】おいDAY33回利用延301人、助産師相談室来所延25件、母子モ登録324件、未熟児養育医療2人、不妊治療助成(特定5人、一般9人)産後ケア事業(短期延8人居宅延44人)	おいDAYでは、計測スペースで児の体重の増えを確認でき、保健師や助産師に気軽に育児相談できる場として育児不安の軽減につながっている。おいDAYで仲良くなった者同士で子育て支援センターに行くなど、母同士の交流の場としても活用されている。 不妊治療については随時相談対応しており、チラシを配布しながら事業の周知を行った。助成金により対象者の経済的負担の軽減につながった。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算

4-1-4	きたあきた出産まるっと応援事業		14,004	11,564	11,363	国 県 債 一 基 他	0 201 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 36 10 2,526 0 0 8,992	市内で分娩できなくなる妊産婦とその家族の身体的・経済的負担を軽減するため、令和7年1月よりきたあきた出産まるっと応援事業を開始。 きたあきた出産まるっと応援事業のソフト事業として、妊娠34週頃によりそい妊婦訪問を行うほか、プレママ＊パパ相談室を実施し、出産に向けて不安を少しでも軽減できるよう実施。 【実績】通院サポート交付者75人、あんしんタクシー利用者28人、マタニティ119登録者61人、よりそい妊婦訪問66件、プレママ＊パパ相談室2件	妊産婦通院サポート事業だけでなく、妊産婦あんしんタクシー事業により、妊産婦健診時の身体的・経済的負担の軽減になっている。 マタニティ119事業では利用者が1人おり、スムーズな搬送により、安全な出産につながられた。
4-1-5	訪問看護体制強化事業		2,500	2,302	2,302	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 2,302 0	在宅医療体制を確保するため、市内において訪問看護サービスを行っている訪問看護ステーションに対し、遠隔地サービス提供経費など、運営費の一部を補助した。 【補助金交付事業所】 (株)メディフェア 846千円 秋田県厚生連 456千円 北秋田市社協 1,000千円	訪問看護体制の充実が図られ、在宅医療利用者に対し安定した訪問看護サービスの提供を確保することができた。
4-1-5	在宅当番医制事業		2,984	2,283	2,283	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 2,283 0 0 0	年間を通して夜間の診療を市内医療機関と薬局が当番制で担当する委託事業として、医療機関11事業所と薬局6事業所に委託し、初期救急医療を実施した。 【指定医療機関等委託費】 指定医療機関 1,573千円 指定薬局 551千円 事務委託 159千円 計 2,283千円	夜間の初期医療体制を確保することで、市民の安全安心な暮らしの実現につなげることができた。 【年間利用者数】 令和5年度 525人 令和6年度 557人 令和7年度 712人 【診療時間】 18:30～21:00

4-1-5	地域医療確保促進事業		441	441	441	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 441 0	市の地域医療体制を強化し、市民福祉の向上を図るため、診療機器整備のリース費用の一部を補助した。 【補助金交付対象者】 あじみね内科医院 院長 安次嶺拓馬 441千円	市内の一次医療体制の充実が図られ、市民の健康福祉の向上につなげることができた。
4-1-5	北秋田市訪問看護師等奨励金交付事業		3,994	3,938	38	国 県 債 一 基 他	0 0 3,900 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,938 0	市内訪問看護ステーションに勤務する看護師等の処遇改善及び確保を促進し、在宅医療提供体制の推進を図るため、奨励金を交付した。 【奨励金交付対象者】 北秋田市社協 5名 2,165千円 (株)メディファエ 7名 1,773千円	奨励金の交付を通じて、訪問看護師の就業継続意欲の向上が図られるとともに、在宅医療を必要とする市民が安心して療養できる環境の維持を図ることができた。
4-2-1	北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合負担金		71,007	70,984	70,568	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 416	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 70,984 0	火葬場(清幸苑)及び長下処分場の運営、ごみ収集を行った。 【内訳】 ごみ収集 24,621千円 火葬場(清幸苑) 15,014千円 長下処分場 23,280千円 特別負担金 8,069千円 計 70,984千円 【実績】 ごみ収集量 1,066t 清幸苑火葬件数 424件(動物含む) 長下処分場搬入量 403t	良好なごみ収集と適正な粗大ごみ等の処理が図られ、生活環境の維持と埋立地の適切な管理を実施した。また、火葬需要への適切な対応と公衆衛生の向上に寄与し、利用者の利便性の向上を図ることができた。

4-2-1	畜犬登録事業		491	312	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 312	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 54 11 247 0 0 0	狂犬病予防法に基づき、取得犬の登録申請があった場合の原簿への登録と鑑札の交付及び狂犬病予防注射業務等を実施した。 【内訳】 犬の登録事務及び狂犬病予防注射済票交付事務委託 247千円 その他 65千円 計 312千円 【実績】 新規登録頭数 53頭 登録頭数累計 1,023頭 狂犬病予防注射頭数 827頭	取得犬の登録を円滑かつ適正に実施した。また、飼い主に狂犬病予防注射の巡回実施をハガキで通知し、狂犬病予防注射の推進と死亡犬の把握を行うことができた。
4-2-1	地球温暖化対策事業		1,293	1,279	279	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 1,000 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 11 209 0 0 0 0 1,000 59	地球温暖化対策推進のための各種施策を推進した。 【内訳】 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)印刷 207千円 住宅用木質ペレットストーブ等導入費補助金 1,000千円 その他 72千円 計 1,279千円 【実績】 住宅用木質ペレットストーブ等導入費補助金 5件	市・市民・事業者が一丸となって温暖化対策に取り組む地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定により、二酸化炭素の排出抑制に努めることができた。
4-2-2	不法投棄監視事業		1,069	1,064	1,064	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	805 12 86 0 161 0 0 0	不法投棄監視員からの報告を受け、随時、巡回監視、回収を行った。 【内訳】 不法投棄監視員報償費 805千円 不法投棄廃棄物処理委託 161千円 その他 98千円 計 1,064千円 【実績】 不法投棄発見報告件数 54件 不法投棄回収件数 54件	鷹巣阿仁福祉環境部(県)との連携及び監視員らの巡回により、不法投棄の未然防止と投棄物の発見、通報、回収が行われ、自然環境の保全や美観維持を図ることができた。

4-2-3	墓地管理事業		2,644	2,373	725	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 1,648	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 328 0 2,045 0 0 0	鷹巣石ノ巻岱、合川鳥屋岱・松ヶ丘、大阿仁の 各墓園の管理運営を行った。 【墓地設置区画数】 ・規制墓地746区画・自由墓地760区画 【使用許可区画数】 ・規制墓地510区画・自由墓地568区画 【販売区画数】 ・規制墓地 1区画・自由墓地 2区画 【返却区画数】 ・規制墓地 8区画・自由墓地 5区画	墓地の供給と適切な墓園管理を実施することができた。
4-2-4	斎場管理事業		17,914	16,692	14,804	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 1,888	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 8,283 66 8,313 0 0 30	鷹巣斎場の施設管理運営を行った。 【利用状況】 15歳以上 市内420名 市外20名 15歳未満 市内1名 市外0名 死胎 市内1名 市外0名 部分火葬 市内2名 市外0名 改葬等 市内2名 市外1名	施設の老朽化が進んでいるため、必要な修繕を行い、火葬需要への適切な対応と利用者の利便性の向上を図ることができた。
4-3-1	全市クリーンアップ事業		2,147	1,901	1,901	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,901 0 0 0	4月20日に春のクリーンアップを実施した。10月19日の秋のクリーンアップはクマの出没により中止した。 【内訳】 側溝堆積物等収集運搬 748千円 クリーンアップごみ収集運搬 1,153千円 計 1,901千円 【参加人数】 春のクリーンアップ 4,071人 秋のクリーンアップ 中止	全市一斉のクリーンアップ事業を実施することで、地域の良好な生活環境の維持を図ることができた。

4-3-2	埋立地管理事業		4,528	4,325	4,325	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 2,618 1,159 87 0 0 461	埋立地最終処分場の施設管理を行った。 【内訳】 重機修繕 2,461千円 水質検査業務 1,142千円 その他 722千円 計 4,325千円 【実績】 粗大ごみ搬入量 81t	適切な粗大ごみの処理が図られ、周辺環境に 配慮した施設管理を実施することができた。
4-3-2	ごみ集積所整備事業		1,690	1,674	1,674	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,674 0	自治会及び町内会が管理するごみ集積所の整備 に必要な経費の助成を行った。 【内訳】 補助金 1,674千円 【交付件数】 21箇所(15自治会)	ごみ集積所の整備等を支援を行い、公衆衛生 の保全を図ることができた。
4-3-2	ごみ収集運搬事業 (鷹巣・森吉・阿仁 地区)		109,954	109,954	109,817	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 137	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 109,954 0 0 0 0	鷹巣・森吉・阿仁地区の家庭系・公共ごみの収 集を行った。 【ごみ収集量】 鷹巣家庭系 3,072t 鷹巣公共 61t 森吉家庭系 917t 森吉公共 21t 阿仁家庭系 486t 阿仁公共 10t	適切なごみ収集業務により、良好な環境衛生 の維持を図ることができた。

4-3-2	クリーンリサイクルセンター長期包括運転管理事業		331,494	329,254	274,762	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 54,492	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 125 683 316,262 12,184 0 0	焼却施設と資源化施設については、長期包括運転管理を委託した。 【内訳】 長期包括的運転管理業務 309,028千円 粗大ごみ等受入管理業務 5,280千円 粗大ごみ等運搬業務 1,665千円 プラ製容器包装等結束機更新工事 8,712千円 ストックヤード柱補強工事 3,472千円 その他 1,097千円 計 329,254千円 【焼却炉運転日数】 1号炉 241日、2号炉 244日	長期的な運転管理により、安定的な運営が実施され、ごみの焼却やリサイクルを適正に行うことができた。
4-3-2	最終処分場事業		18,891	16,605	16,605	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 4,450 2,724 6,011 3,190 0 230	最終処分場の維持管理を行った。 【内訳】 重機修繕 432千円 最終処分場管理業務 5,868千円 各種測定分析業務 2,652千円 汚泥ポンプ等交換工事 3,190千円 その他 4,463千円 計 16,605千円 【実績】 飛灰処理量 595t 不燃物処理量 139t	クリーンリサイクルセンターから排出された焼却残渣を最終処分場で適切に処理することができた。
4-3-2	旧焼却施設解体事業		40,469	33,066	33,066	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 33,066 0 0 0	現在稼働しているごみ処理施設敷地の中央に位置する老朽化した旧クリーンリサイクルセンターを年次解体することにより、ごみ処理施設の安定運営と安全な環境を確保する。 【内訳】 旧クリーンリサイクルセンター解体工事調査設計等業務委託 33,066千円	老朽化した旧クリーンリサイクルセンターの解体に向け、年次の取組みを着実に行うことができた。

4-3-3	し尿処理施設長期包括運転管理事業		216,415	201,819	160,426	国 県 起 一 基 他	0 0 31,100 0 0 10,293	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 81,744 0 88,912 31,163 0 0	し尿処理施設については、長期包括運転管理を委託した。また、地下水の井戸新設及び施設への接続工事を実施した。 【内訳】 長期包括的運転管理業務 88,912千円 水道光熱費 81,744千円 し尿処理施設さく井工事 9,163千円 し尿処理施設井戸ポンプ等設置工事 22,000千円 計 201,819千円 【処理量】 14,564KL	長期的な運転管理により、安定的な運営が実施され、し尿や浄化槽汚泥等を適正に処理することができた。
4-3-3	浄化槽設置整備事業		8,133	8,133	3,713	国 県 債 一 基 他	2,210 2,210 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 8,133 0	個人設置の合併処理浄化槽について、国県の補助に市の嵩上げ分を追加して補助を行った。 【内訳】 5人槽 N=10基 5,200千円 宅内配管 N= 7件 2,100千円 便槽撤去 N= 7件 630千円 特別補助金 N= 1件 200千円 計 8,130千円 【秋田県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金】 負担金 3千円 合計 8,133千円	浄化槽の設置整備促進により、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図ることができた。 【実績】N=10基
5-1-1	北秋田職業訓練協会補助金		519	519	519	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 519 0	認定職業訓練（普通課程2年間）及び資格取得・技術向上訓練（短期課程）実施のため補助した。 【訓練生徒数】 木造建築科（普通課程） 1人 木造建築科（短期課程） 延べ40人	木造建築における技術者の育成及び建築施工管理技術などの資格取得や在来工法等の技術習得による技術者の定着を図ることができた。

5-1-1	資格取得支援事業		2,500	2,494	2,494	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 2,494 0	定住促進及び安定した就労支援のため、企業従業員や求職者の資格取得に対し補助した。 【実績】 市内事業者従業員 71種(60人) 1,872千円 求職者 16種(10人) 622千円 計 87種(70人) 2,494千円	企業へ資格取得支援することで事業拡大と雇用の確保が図られている。また、個人への資格取得支援による求職者の安定就労及び定住促進を図ることができた。
5-1-1	高齢者就業機会確保事業費補助金		12,600	12,600	12,600	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 12,600 0	高齢者へ雇用の安定と安全な就労機会を提供するため、北秋田地域シルバー人材センターへ補助した。 【活動内容】 会員数 286人 受注件数 1,581件 契約金額 146,384千円 就業延べ人数 25,069人日	北秋田地域シルバー人材センター活動を支援することで、高齢者の活躍の場を創出し社会参加、生きがい、健康づくりにつながる雇用の確保を図ることができた。
5-1-1	外国人就労者確保支援事業		6,858	6,785	2,685	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0 4,100	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 6,785 0	事業者の人手不足の解消のため、外国人材の受入に係る費用の一部や受入のための住環境整備に係る費用の一部を補助した。 【実績】 受入促進支援 6件(19人) 3,727千円 住環境整備事業 2件(新築1、改修1) 3,058千円	労働力不足が深刻な企業・事業所が行う外国人材の受入を支援し、必要な雇用を確保することで事業の継続を図れた。

5-1-2	セントラル合川管理 事業		720	575	538	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 37	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 392 0 183 0 0 0	地域コミュニティの維持と継続を図るため、施 設の維持管理を行った。 【施設利用実績】 利用団体数 延べ12団体 利用人数 延べ277人	企業、自治会など各種団体等の利用があり、 コミュニティ醸成の場として施設を提供するこ とができた。
5-1-2	大野台ハイランド体 育館解体事業		1,984	1,880	361	国 県 債 一 基 他	0 0 1,500 0 0 19	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 109 1,771 0 0 0	大野台ハイランド体育館の解体工事の設計を 行った。また、電気、水道を解約した。	老朽化した体育館の解体に向け、着実に行う ことができた。
6-1-1	機構集積支援事業		646	646	22	国 県 債 一 基 他	0 624 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 304 77 0 0 0 3 262	現地確認により農地の利用状況を調査するとと もに遊休農地等の利用意向調査を行った。また、 秋田県農業委員会大会をはじめとする各種研修会 に参加した。 【農業委員数】 36名	農地法に基づく事務の適正化と農地の集積、 遊休農地化の防止・解消を図ることができた。 また、農業委員の資質向上を図ることができ た。

6-1-3	農業次世代人材投資事業費補助金(経営開始型・経営開始資金)		2,700	2,700	0	国 県 債 一 基 他	0 2,700 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 2,700 0	経営の不安定な就農初期段階の青年に対し、農業次世代人材投資資金又は経営開始資金を交付。 【交付単価】1,500千円(最大)/年 【補助率】国10/10 【補助対象者】2名	就農初期農業者の経営安定に資することができた。
6-1-3	フロンティア農業者育成事業費補助金(秋田アグリフロンティア育成研修事業)		900	900	270	国 県 債 一 基 他	0 630 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 900 0	秋田県の次世代を担う農業者となることを志向する方に対して、県と市町村とが連携のうえ、農業経営に要する基礎的知識・技術を習得するための研修を実施し、地域農業の優れた担い手を育成することを目的とした制度で、研修期間中に県・市の研修奨励金を交付。 【交付単価】75千円/月 【補助率】県7/10 【補助対象者】1名	研修を終え、新規に就農することの一助となった。
6-1-3	経営所得安定対策等推進事業費補助金		14,645	13,464	0	国 県 債 一 基 他	0 13,464 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 13,464 0	経営所得安定対策事業等の実施に必要となる現場での推進活動や要件確認等に要する経費を補助。 【補助率】国10/10(定額) 【補助対象者】北秋田市農業再生協議会	経営所得安定対策事業等の交付申請書類の配布・受付、農業者情報のシステム入力・集計、産地交付金活用計画の策定、対象作物の作付面積現地確認、次年度の「生産の目安」策定等の業務推進の一助となった。

6-1-3	農産物生産・販売促進事業		2,300	1,918	1,918	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,918 0	市内で生産する農畜産物について、出荷・販売量の増大に資する取り組みにかかる費用の一部を補助。 【補助率】市1/2 【補助対象】JA 1,618千円 1法人 300千円	市内で生産された農畜産物の販売促進に資する催しへの参加や、出荷用パッケージ等を作成することへの支援により販路の確保・拡大の一助となった。
6-1-3	青果物振興対策事業費補助金		14,038	13,612	13,612	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 13,612 0	市指定の振興作物等の生産面積の維持・拡大や生産量の増大のため、資材等整備費及び種苗費等の一部を補助。 【補助率】市1/2～3/10 【補助対象】JA(139経営体) 11,248千円 3法人 2,364千円	種苗や資材の購入に対して支援することにより生産農家の負担軽減となり、重点振興作物等の生産振興の一助となった。
6-1-3	農業用廃プラスチック適正処理推進事業費補助金		3,020	3,020	3,020	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,020 0	農業生産に伴い多量に排出される農業用廃プラスチックの処理について、農家が負担する処理費用の一部を補助。 【補助率】市1/2 【補助対象】北秋田市農業用廃プラスチック適正処理推進協議会 【R7処理量】51,197kg 【利用経営体】313経営体	排出された農業用廃プラスチックについては、協議会により適正に収集・処理がなされ、農村環境の保全が図られた。

6-1-3	比内地鶏素雛購入支援事業費補助金		5,584	5,433	5,433	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 5,433 0	飼養農家の負担を軽減し、経営の継続及び安定化を図るため、素雛購入費の一部を補助。 【補助率】市2/10 【補助対象】市内の比内地鶏飼養農家(11経営体) 【導入羽数】75,530羽	地元比内地鶏の生産量の維持が図られた。
6-1-3	有機堆肥活用支援事業費補助金		3,172	3,158	3,158	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,158 0	耕種農家の有機堆肥施用にかかる費用の一部を補助。 【補助率】市1/2 【補助対象】JA秋田たかのす、有機堆肥を施用した農家(57経営体)	家畜排せつ物の処理リサイクルの停滞を防ぎ、農地還元による循環型農業の推進に資することができた。
6-1-3	カメムシ防除支援事業費補助金		1,228	1,228	1,228	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,228 0	カメムシ被害が米の等級低下の要因となっていることから、1等米比率向上のため、防除薬品代の一部を補助。 【補助率】市1/2 【補助対象】JA秋田たかのすの共同防除への薬剤助成 【散布面積】609.0ha	カメムシ被害の防止については、同共同防除申込面積に薬剤を散布し、1等米比率97%と高い水準となる成果があった。

6-1-3	小規模農家営農継続 支援事業費補助金		2,000	1,844	1,844	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 1,844 0	営農継続を支援し、農地の保全や遊休農地化の 防止、多様な担い手の確保を図るため、小規模農 家（認定農業者以外の販売農家）が購入する農業 用機械等の導入対し補助。 【補助率】市1/3 【補助対象】市内在住認定農業者以外の販売農家 (13農家) 草刈り機5台、田植機2台、散布機3台 苗箱洗浄機1台、管理機1台、トラクター1台	小規模農家の営農継続意欲の向上が図られ た。
6-1-3	土づくり強化事業		1,692	1,692	1,692	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 1,692 0	耕畜連携による堆肥を利用した土づくりの推進 のため、土壌改良材及び堆肥散布が可能なブロー ドキャスターの増設に対して補助。 【補助率】市1/2 【補助対象】JA秋田たかのす ブロードキャスター1台	受託農地の地力の向上と化学肥料の低減が図 られた。
6-1-3	夢ある園芸産地創造 事業		12,117	12,117	4,039	国 県 債 一 基 他	0 8,078 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 12,117 0	戦略作物等の産地化と収益性の高い農業経営の 確立を図るため、地域が主体となって定めた産地 計画の実現に必要な施設・機械等の導入を支援。 【補助率】県1/3、市1/6 【補助対象】2経営体 ・育苗ハウス1棟、ネギ育苗トリマー1台、土詰 播種一貫機1台、乗用管理機1台、3連カルチ1式、 キャノピー1式、農薬散布機1台、自走式ねぎ収穫 機1台、長ネギ根葉切皮剥き機1台、長ネギ選別機 1台、ネギ残渣処理システム1台 ほか ・管理機 灌水チューブキット1式	施設・機械の導入により農業経営の収益性が 高まるとともに戦略作物の産地化に寄与した。

6-1-3	未来へつなぐ元気な 農山村創造事業		7,291	7,391	983	国 県 債 一 基 他	0 6,408 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 7,391 0	農山村地域での新ビジネス創出・活性化を目的 とした事業プランの策定や事業に対して支援。 1. プラン策定事業 【補助率】 県1/2、市1/2 2. 新ビジネス創出事業 【補助率】 県1/2、市1/12 【補助対象】 奥阿仁地区（新ビジネス）、阿仁根 子地区（新ビジネス）	新ビジネス事業が2地区で事業展開され、地 域の活性化による元気な農山村づくりに資する ことができた。
6-1-3	来たれ次期社長候 補！就業環境整備事 業		1,223	1,223	244	国 県 起 一 基 他	0 979 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,223 0	集落型農業法人等の農業生産基盤の維持・強化 に資する取り組みとして、経営継承計画の策定や 人材確保に向けた雇用環境整備を支援。 【補助率】 県1/3、市1/12 【補助対象】 1法人 トイレ改修、エアコン・給湯器整備	人材確保や事業継承に向けた雇用環境が整備 された。
6-1-3	農地利用効率化等支 援交付金事業		6,918	5,803	0	国 県 債 一 基 他	0 5,803 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 5,803 0	地域において目指すべき将来の集約化に重点を 置いた農地利用の姿等を策定し、その実現に向け て経営改善に取り組む場合に必要の農業用機械・ 施設の導入等を支援。 【補助率】 国10/10 【補助対象】 1法人 トラクター1台、コンバイン1台	農業用機械の導入により、将来の集約化への 取り組みの一助となった。

6-1-5	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業		11,000	11,000	2,200	国 県債 一 基 他	0 8,800 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 11,000 0	複合型生産構造への転換を加速させるため、畜産経営体が行う規模拡大に必要な家畜の導入や機械・施設等の整備を支援。 【補助率】県1/3、市1/12 【補助対象】1法人 搾乳ロボット1式	機械の導入により、将来の規模拡大への取り組みの一助となった。
6-1-5	畜産経営者物価高騰対策支援事業費		12,197	10,902	452	国 県債 一 基 他	0 10,450 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 9 10 0 0 10,883 0	長引く畜産飼料価格の高騰により経営に打撃を受けている畜産経営者の飼料購入費の価格上昇分にかかる経費の一部を補助。 ・乳用牛:9,060円/頭 ・肉用牛:5,560円/頭 ・馬:6,760円/頭 ・豚:2,110円/頭 ・鶏:110円/羽 【補助対象】39経営体	飼料購入への補助を行うことによって負担軽減となり、畜産経営の継続に資することができた。
6-1-6	農地中間管理機構関連ほ場整備事業		5,400	2,380	△ 20	国 県債 一 基 他	0 0 2,400 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 2,380 0	県営ほ場整備事業へ負担金を支出 ・実施地区:今泉の1地区 【工事の負担割合(標準)】 国62.5%、県27.5%、市10.0%	農地や農業用排水の整備を行うことにより、農地の集積や生産性の向上により収益性を高めることで、農業経営の競争力強化を図ることができた。

6-1-6	農地中間管理機構関連ほ場整備事業	○	19,400	19,400	300	国 県 債 一 基 他	0 0 19,100 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 19,400 0	県営ほ場整備事業へ負担金を支出 ・実施地区:今泉の1地区 【工事の負担割合(標準)】 国62.5%、県27.5%、市10.0%	農地や農業用排水の整備を行うことにより、農地の集積や生産性の向上により収益性を高めることで、農業経営の競争力強化を図ることができた。
6-1-6	農村地域防災減災事業(ため池等整備事業)		3,900	200	0	国 県 債 一 基 他	0 0 200 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 200 0	ため池等整備事業へ負担金を支出 ・実施地区:堂ヶ岱大堤の1地区 【工事の負担割合(標準)】 国55.0%、県35.0%、市10.0%	本事業は、ため池の緊急放流施設や洪水吐の整備を行うことで、ため池周辺の背後地の安全確保と農業経営の安定性を図ることを目的としており、令和7年度は、洪水吐の一部整備を実施した。
6-1-6	農村地域防災減災事業(ため池等整備事業)	○	3,000	3,000	0	国 県 債 一 基 他	0 0 3,000 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 3,000 0	ため池等整備事業へ負担金を支出 ・実施地区:堂ヶ岱大堤の1地区 【工事の負担割合(標準)】 国55.0%、県35.0%、市10.0%	本事業は、ため池の緊急放流施設や洪水吐の整備を行うことで、ため池周辺の背後地の安全確保と農業経営の安定性を図ることを目的としており、令和7年度は、洪水吐の一部整備を実施した。

6-1-6	中山間地域等直接支払交付金(6期対策)		19,054	18,196	4,549	国 県 債 一 基 他	0 13,647 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 18,196 0	中山間地域等において、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、農業の生産条件に関する不利を補正するための交付金を交付。 【交付率】国1/2、県1/4、市1/4 【交付対象者】協定締結13集落 (農家数:113人) 【交付対象面積】841,431㎡	中山間地域の耕作放棄地の増加を防止し、農業生産活動及び多面的機能の維持、発揮に繋がった。
6-1-6	多面的機能支払交付金		168,438	168,438	42,110	国 県 債 一 基 他	0 126,328 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 168,438 0	農地や水路、農道等の資源の保管理や農村環境の保全を図る共同活動等に対して交付金を交付。 【交付率】 国1/2、県1/4、市1/4 【交付金】 農地維持活動 52組織105,362千円 資源向上(共同) 51組織 63,076千円 計 168,438千円	農業従事者の減少を受けて、地域活動で行う多面的機能を支える活動や地域資源の質的向上に資することができた。
6-2-2	有害鳥獣駆除事業		50,174	48,068	39,698	国 県 債 一 基 他	0 8,370 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	232 0 673 88 1,430 0 45,428 217	鳥獣による人身被害及び農林水産物被害の防止対策を行うとともに、地域住民の安全確保に努めた。 【内容】 緩衝帯整備委託 1,430千円 猟友会補助金 600千円 新規狩猟免許等取得補助金 314千円 果樹木伐採補助金 6,812千円 大子内射撃場改修補助金 7,248千円 鳥獣被害防止総合交付金 30,452千円	有害鳥獣の捕獲活動並びに被害の未然防止に努め被害の低減(目標5%)を達成した。 【実績】 緩衝帯整備 3.25ha 新規狩猟免許取得者 2名 銃等購入 4名 果樹木伐採 106件、526本 ツキノワグマ捕獲頭数 343頭 被害の軽減率(被害金額) 41%

6-2-2	松くい虫防除対策事業		2,198	2,198	569	国 県 債 一 基 他	0 1,629 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 2,198 0 0 0	マツ及びナラ枯れの防除を実施し、景観の保護や被害の拡大防止に努めた。 【内訳】 松くい虫防除委託 1,188千円 ナラ枯れ伐倒くん蒸委託 1,010千円 計 2,198千円	中央公園のマツへの樹幹注入を実施するとともに、ナラ枯れの伐倒くん蒸処理を行い被害の防止が図られた。 【実績】 マツ樹幹注入 42本 ナラ伐倒くん蒸 44本
6-2-2	マツ林・ナラ林等健全化事業		543	542	25	国 県 債 一 基 他	0 517 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 25 0 517 0 0 0	松くい虫等の被害により枯死し、景観の維持や安全確保の面で支障となる被害木について、巡回点検及び伐倒を実施し、事故防止に努めた。 【内容】 マツ枯死木伐採委託 517千円	日常的な巡回及び情報提供により枯死木の早期発見につながり、速やかな対応を実施したことで、景観の維持及び倒木等による事故の未然防止が図られた。 【実績】 枯死木マツ伐採 18本
6-2-2	森林経営管理事業		55,850	55,850	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 55,850	報 旅 需 役 委 工 負 他	2,892 98 300 0 52,560 0 0 0	森林経営管理制度に基づき意向調査及び集積計画の作成を行うとともに、経営管理権を取得した森林のうち団地化が困難な森林について整備を実施し、適切な管理の推進を図った。今後の適切な森林管理に資するため、森林資源等の解析を実施した。 【内訳】 意向調査委託 7,378千円 集積計画委託 12,389千円 森林整備間伐委託 464千円 資源解析等委託 31,240千円 林地台帳保守委託 1,089千円 計 52,560千円	経営管理がなされていない森林所有者を把握するとともに、経営管理の委託を希望する森林の集積を進めたことで、経営管理権の設定が促進され、適切な森林管理の推進が図られた。また、森林整備により、森林の維持・保全が図られ、二酸化炭素吸収をはじめとする森林の多面的機能の発揮された。 【実績】 経営管理権設定件数 28件 面積 63.67ha 森林整備間伐面積 2.81ha

6-2-2	都市と山村の友好の森事業		431	431	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 431	報 旅 需 役 委 工 負 他	27 0 65 0 339 0 0 0	国立市と市内小学生が共同で植林を実施し、森林や林業の役割及び木材利用に対する理解と関心の醸成を図るとともに、森林の育成を推進した。 【内訳】 植林地下刈委託 222千円 地拵え委託 117千円 計 339千円	国立市との交流による植林体験を通じて、森林に対する関心や理解の向上が図られるとともに、木育の推進及び次世代を担う人材の育成につながった。また、国立市と市内小学生との交流活動を通じて、森林や林業への興味・理解の醸成が図られた。 【実績】 下刈 0.40ha 地拵え 0.05ha 植樹 スギ苗100本
6-2-2	森林・木材活用地域連携事業		2,503	2,503	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 2,503	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 226 0 2,277 0 0 0	秋田北鷹高校及び林業・木材関係事業者等と連携し、木工品の製作を通じて木材利用の促進を図った。また、市有林を高校生による間伐実習のフィールドとして提供し、実習で発生した間伐材についても木工品の材料として有効活用した。さらに、産業祭において木工製作体験を実施し、木材利用の普及啓発に努めた。 【内訳】 実習地作業道作設委託 399千円 木製品製作委託 1,386千円 木工品製作体験委託 492千円 計 2,277千円	産学官の連携により、市内小学校新入生へ寄贈する木工品の製作や産業祭における木工体験を実施し、木育及び木材利用の促進につながった。また、間伐実習の実施により森林整備の推進が図られるとともに、将来の林業の担い手育成にも寄与した。
6-2-2	民有林造林事業		26,994	26,994	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 26,994	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 26,994 0	森林資源の整備を通じて木材生産機能及び森林の多面的機能の向上を図るため、県造林事業の対象となった民有林において、造林を実施する者に対し嵩上げ補助金の交付を行った。 【内訳】 自力施工 (2件) 273千円 嵩上げ補助 (8件) 26,721千円 計 (10件) 26,994千円	森林の適切な維持管理により、森林の多面的機能の発揮及び良質材生産の向上が見込まれるとともに、伐採後の植栽が実施されるなど、資源循環型の森林管理が行われた。 【実績】 施業面積 142.07ha うち植栽 50.85ha

6-2-2	林業就業者の育成・確保事業		1,000	1,000	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 1,000	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,000 0	林業の担い手の確保及び定着を目的として、林業大学校在学学生及び新たに林業へ就業する者に対して支援を行うとともに、新規就業者を雇用した事業者に対しても支援を実施した。	新規就業者及びその者を雇用した事業者に対し、最大3年間の支援を実施しているが、支援開始から2年目を迎える就業者が1名いることから、一定の定着が図られている。また、新たに1名が林業へ就業し、担い手の確保につながった。 【実績】 新規就業者 (2年目) 1名 (1年目) 1名 雇用事業者 1名
6-2-2	高能率生産団地路網整備事業		44,361	29,010	610	国 県 債 一 基 他	0 0 28,400 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 50 0 9,410 0 19,550 0	高能率生産団地路網整備事業に係る伐開業務及び県が実施する当該事業へ負担金を支出 【林業専用道】田子ヶ沢線田子ヶ沢支線・熊沢口線・長坂線の3路線	林業専用道3路線について、伐開業務を実施し、路線の開設に向けて進捗が図られた。
6-2-2	高能率生産団地路網整備事業	○	4,890	13,409	209	国 県 債 一 基 他	0 0 13,200 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 8,520 0 4,889 0	高能率生産団地路網整備事業に係る伐開業務及び県が実施する当該事業へ負担金を支出 【林業専用道】田子ヶ沢線田子ヶ沢支線・長坂線の2路線	林業専用道2路線について、伐開業務を実施し、路線の開設に向けて進捗が図られた。

6-2-2	林道維持管理事業		16,113	12,324	12,324	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 923 53 6,491 0 4,857 0	草刈業務や路面の更新、草刈業務を実施した。 ・草刈業務委託 4件 16路線 ・機械借り上げ 7件 8路線	林道の草刈りや路面補修を実施し、通行の安全性を確保した。
6-2-2	森林環境増進税事業(林道維持管理補助金)		3,441	3,441	3,441	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,441 0	林道の維持管理について、地域受益団体と協働して草刈りや路面整備等を実施するとともに、維持管理活動に対する補助金を交付し、地域主体による適切な林道管理を支援。 ・交付団体 48団体 68路線	地域受益団体による草刈りや軽微な補修等の維持管理活動が継続的に実施され、林道機能の維持及び利用者の利便性向上が図られた。
6-2-2	局所防災事業		6,600	6,600	0	国 県 債 一 基 他	0 0 6,600 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 6,600 0 0 0	山林法面の崩落等により、人家及び公共施設への被害が懸念される箇所について、県単局所防災事業による対策工の実施に向けた測量設計業務委託を実施 【対象地区】境田・阿仁打当の2地区	対策工の実施に必要な測量設計を行い、山地災害の未然防止及び人家・公共施設の保全に向けた防災対策事業の推進が図られた。

6-2-2	林道橋長寿命化事業		32,541	32,540	247	国 県 債 一 基 他	0 17,893 14,400 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 21,742 10,798 0 0	老朽化した林道橋梁の安全性及び機能の維持を図るため、橋梁補修設計及び橋梁補修工事を実施した。 【林道橋梁補修設計業務委託】 二ノ又線二ノ又橋、二ノ又線ゴザボ橋、小様線屏風岩橋の2路線3橋 【林道橋梁補修工事】 小摩当線4号橋	林道橋梁の補修設計及び補修工事を実施することで、橋梁の長寿命化及び安全性の向上が図られ、森林整備や林業生産活動に必要な通行機能の確保につながった。
6-2-2	林道点検診断・保全整備事業		1,733	1,733	1,733	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 1,733 0 0 0	林道橋の安全な通行機能を確保するため、定期点検診断を実施し、橋梁の健全度及び損傷状況の把握を行った。 【全橋梁数】65橋 【実施件数】2橋	林道橋の健全度及び損傷状況を把握し、適切な維持管理及び補修計画の検討につながった。
6-2-2	森林環境譲与税事業 (作業道等維持管理費補助金)		1,051	1,051	1,051	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,051 0	森林整備及び木材搬出に必要な作業道の機能維持を図るため、作業道の補修等を実施する団体に対し補助金を交付した。 【交付団体】3団体	作業道の機能回復が図られ、効率的な森林整備及び森林資源の循環利用の促進につながった。

6-2-3	市有林等造林事業		46,783	46,735	0	国 県 債 一 基 他	0 27,876 0 0 0 0 18,859	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 196 738 44,386 0 1,415 0	計画的な造林及び保育等の森林施業により、良質材の生産及び森林資源の質的向上が図られた。また、間伐材の丸太販売や立木売払いを実施したことで、森林資源の有効活用及び収益の確保につながった。 【内容】 植林委託 1件 下刈委託 2件 間伐委託 2件 調査測量委託 3件	計画的な植栽及び間伐等の実施により、良質材の生産及び森林資源の質的向上が図られるとともに、二酸化炭素の吸収促進を通じてカーボンニュートラルの実現に寄与した。 【実績】 植栽面積 4.90ha (スギ) 下刈面積 12.90ha 間伐面積 25.94ha (スギ) 販売材積 1,929m³ (スギ) 売払材積 4,272m³ (スギ) CO2吸収量 184.5t-CO2
7-1-1	地域おこし協力隊事業		4,712	3,721	3,721	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 494 130 0 0 0 21 3,076	5月から「移住コーディネーター」1名が活動しており、移住希望者に対する相談対応や移住体験アテンドのほか、フェイスブックなどSNSを活用し、隊員個々の活動や地域活動の中で感じている本市の魅力を発信した。	民間での経験や地域外目線を活かした地域おこし協力隊の活動を通して、地域の課題解決や魅力発信に尽力した。
7-1-2	北秋田市結婚生活応援事業		2,700	2,700	2,700	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	2,700 0 0 0 0 0 0 0	結婚後も引き続き北秋田市に居住する夫婦の新生活を応援し、本市への定住を促すことを目的に結婚生活応援金を交付した。 【内訳】 移住者 200千円×5組=1,000千円 市民 100千円×17組=1,700千円 計 22組=2,700千円	本市での新生活を応援することで、移住・定住の促進を図ることができた。

7-1-2	北秋田市で暮らす ど！フレッシューズ 応援事業		3,750	3,750	3,750	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	3,750 0 0 0 0 0 0 0	中高大学等を卒業し1年以内に本市に居住する 新規就労者に対し、市内就労者には15万円、市外 就労者には10万円の応援金を支給した。 【内訳】 市内への就職 150千円×19人=2,850千円 市外への就職 100千円×9人=900千円 計 28人=3,750千円	新社会人となる28名に対し応援金を交付する ことで、若者の定住促進と地域産業の人材確保 につなげることができた。
7-1-2	北秋田市移住定住促 進PR事業		3,000	2,626	2,626	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 727 347 540 796 0 0 216	本市のPR及び認知度の向上を図り移住定住事業 を促進するため、首都圏移住フェアへの出展及び 移住・関係人口創出イベントの開催、動画配信の 広告掲載や移住ポータルサイトの活用などSNS等 への情報発信を行った。 友好交流都市である国立市でのイベント開催や 一橋大学生が北秋田市を訪問してイベント協力を 行うなど相互交流を図った。	本市に移住を希望する人や興味・関心のある 197人に支援制度の紹介を行うなどきめ細やか な相談を心がけた。 ○首都圏移住フェア 6回参加 105名来場 ○国立市開催イベント 6月620名、10月22名 計642名 ○北秋田市開催イベント 8月(鷹ノ巣駅前) 2,000名
7-1-2	北秋田市移住体験事 業		3,127	2,247	2,247	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 602 180 549 0 531 385	移住体験事業のアテンド業務を委託するととも に、移住体験者に対して、1世帯あたり5万円を上 限に体験に係る経費の一部を助成した。 【内訳】 移住体験事業助成金 531千円	県外から延べ15世帯20名が移住体験を行い、 そのうち4世帯8名の移住につながった。

7-1-2	結婚支援事業		6,142	5,619	5,619	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 5,527 0 92 0	NP0法人出合いの杜プロジェクトに結婚支援事業を委託し、結婚希望者との個別相談やマッチングサポートを行った。また、全国結婚相談所つながり創出事業を利用する市内の入会者に対しては登録料を助成した。 【内訳】 全国結婚相談所つながり創出事業 登録者 8名 出合い創出イベント 11月実施(参加者:男5名女5名)	出合い創出イベントを企画し、結婚や出合いを希望する独身男女の相互交流を図ったほか、全国の結婚相談所のデーターを活用した出合いの機会を提供し、交際や結婚につなげるきっかけづくりを行った。
7-1-2	あきた結婚支援センター入会登録料負担事業		247	206	166	国 県 債 一 基 他	0 40 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 206 0	市内在住の独身男女の出合いと結婚を応援するため、あきた結婚支援センターへ入会する者に対して、入会登録料(10千円)を全額負担した。 【内訳】 構成団体負担金=146千円 6人×10千円=60千円	出合いと結婚を希望する入会登録者(新規及び更新)6人に対し助成を行うことで、出合いの機会創出と経済的な負担軽減につながった。
7-1-2	北秋田市奨学金等返還支援事業		3,300	2,762	2,762	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0 2,762 0	本市に居住し奨学金を返還している45歳未満の就労中の人に対して、返還額の一部を助成した。 【内訳】 国家資格に基づく就労 対象額×1/2×25人=1,973千円 上記以外の就労 対象額×1/3×18人= 789千円 計 43人 2,762千円	新規対象者は4名であり、奨学金返還額の一部を助成することで、市民の暮らし応援と移住定住の促進につながった。

7-1-2	北秋田市移住者住まい応援事業		6,350	4,942	4,942	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 4,942 0	県外から本市に移住してきた人に対して、移住初期の経済的な負担軽減を図るため、1世帯当たり200千円を上限に引越し費用等の一部を助成した。 ※18歳未満の子どもがいる場合、1人につき50千円加算 【内訳】 一般世帯24件 4,342千円 子育て世帯 2件 600千円 計 26件 4,942千円	引越し等に係る費用を助成することで、移住初期の経済的負担を軽減し、移住定住の促進を図ることができた。
7-1-2	北秋田市移住者住宅支援事業		3,280	2,724	2,724	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 2,724 0	住宅を新築・購入した市外からの移住者に対し、取得費用の一部を助成した。(一般世帯上限65万円、子育て世帯上限130万円) 【内訳】 一般世帯3件 1,244千円 子育て世帯2件 1,480千円 計 5件 2,724千円	移住に必要な不可欠である住宅(土地・建物)の取得費用の一部を助成することで、移住定住の促進と空き家の利活用につながった。
7-1-2	ハッピーウェディング住まい応援事業		2,036	2,036	679	国 県 債 一 基 他	1,357 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 2,036 0	年齢・所得要件等を満たした新婚世帯に対して、住宅取得費用、住宅のリフォーム費用、住宅賃借費用、引越費用の一部を助成した。 【内訳】 5組 2,036千円	結婚初期の経済的不安を軽減し、結婚への後押しや本市での新生活を応援することで若者夫婦の定住につながった。

7-1-2	移住支援金事業		5,200	4,600	1,150	国 県 債 一 基 他	0 3,450 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 4,600 0	首都圏からの移住者で関係人口などの要件を満たした単身又は世帯に対して、移住支援金を交付した。(単身者60万円、世帯100万円、18歳未満の子どもがいる場合、1人につき100万円を加算) 【内訳】 単身世帯 1件 600千円 夫婦世帯 1件 1,000千円 子育て世帯1件 3,000千円 計 3件 4,600千円	首都圏からの移住者を受け入れることで、地域格差の解消や移住促進及び地域産業の人材確保を図った。
7-1-2	宿泊施設パワーアップ事業		1,171	1,171	71	国 県 債 一 基 他	0 0 1,100 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,171 0	滞留型観光の推進に資する事業として市内で宿泊事業を営む者、開始しようとする者に対し宿泊環境の整備及び魅力・利便性向上を図る改築等に支援することができた。 【内訳】 宿泊パワーアップ事業補助金 ・(株)フッシュ : 210千円 ・(株)ハウスフォワード : 961千円	令和6年度 of 要綱改正から5事業者が本事業を活用、そのうち2事業者が事業転換や起業につながるなど新規開業が成果となった。
7-1-2	新商品等開発支援事業		2,407	892	892	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	13 1 333 0 0 0 545 0	市内農林水産物資源等を活用した新商品等(特産品)の開発及び改良を促進し、魅力ある製品の創出及び地域振興を支援するため、特産品推奨認定事業、新商品等開発支援事業を実施した。 【内訳】 特産品推奨認委員報酬 13千円 特産品推奨認定員旅費 1千円 新商品等開発支援補助金 545千円 ・秋田八丈はまなす工房 115千円 ・コミュニティ 430千円	本事業を活用し新たに開発された商品が産業祭をはじめ各物産展等で販売するなど、当市の固有資源の魅力を発信する商品となっている。 ○R7新商品開発認定事業者 2事業者 累計 認定件数40件 ○R7特産品推奨認定事業者 2事業者 累計 食品61件 工芸品等16件

7-1-2	販売促進事業		11,515	9,809	9,809	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 729 0 14 7,678 0 1,388 0	ECサイトを活用した自社商品等の販路開拓への支援、首都圏での販路拡大と商談を目的としたファーマーズマーケットへの参加など多くの事業者を支援することができた。 【内訳】 ・ECサイト ・農事組合法人秋田中央種鶏場 ・物産展 ・前田商業会ほか1社 ・ファーマーズマーケット 株式会社しらかみファーマーズほか12社	令和7年度からの新規事業として都市型ファーマーズマーケットへ7月と11月の2回で13社の農業法人等が参加した。事業者からはECサイトからの購入が増えた、商談につながったなど、当市の農産品等の販路拡大となった。
7-1-2	ワーケーション推進事業		5,442	5,242	5,242	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 5,192 0 50 0	関係人口の創出拡大とふるさと住民登録につなげることを目的に首都圏等の子育て家族が一週間又は二週間の期間で、家族で滞在する事業。 また、テレワークやリモートワークが可能な企業を招聘することで、滞在期間中の余暇活動や訪れた場所など本市の魅力を発信するなど図られた。 【内訳】 ・保育園留学 10組29人 ・リモートワーク実施奨励金 1社	保育園留学はクマの出没で3組のキャンセルがあったが徐々に増加するなど選んでもらえる地域となりつつある。また、企業等のワーケーションでは地域課題解決に向けた現地視察を含め、市内事業者との意見交換をするなど今後の関係構築にもつなげることができた。
7-1-2	事業承継支援事業		24,563	16,376	16,376	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 367 0 0 0 15,829 0 180 0	北秋田市継業バンクを活用した後継者募集を行い、これまで伝統工芸、食品加工販売、旅館業、一次産業といった幅広い分野で16事業者が登録し10事業者で承継実績があった。 【令和7年度実績】 ・R7新規募集登録 4事業者 ・承継成約 3事業者 ・連携団体との連絡会 2回 ・作業体験奨励金 5人	事業承継支援補助金の利用はなかったが、令和7年度はM&Aや第三者承継により3事業者の承継実績となった。また、掲載案件で一次産業分野への問合せが多いことから新たな取り組みとして地元農家、農林課、振興局と連携した農業体験イベントへ繋げることができた。

7-1-2	地域産業課題解決事業		1,000	797	797	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 797 0	企業等が有する先端的な技術により、当市の多様な分野における社会的課題解決及び豊かな市民生活の実現を図るため、本市内で行う実験・検証に対し支援を行うことができた。 【実績】 ・Kivana株式会社 ・日本アスペクトコア株式会社	市民サービスの維持向上と、観光客の周遊活性化などの地域課題に対し、デジタル技術や業務支援サービスを活用する検証を行った。 実証効果として、樹氷や内陸線情報など、自発的な情報収集ニーズを明確に可視化できたほか、特にインバウンドには多言語翻訳機能を活用して観光先の情報提供など高い価値を提供できることが実証された。
7-1-2	省力化・生産性向上投資応援事業	○	40,101	29,589	18,568	国 県 債 一 基 他	11,021 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 29,589 0	エネルギー価格や原材料等の高騰の影響を受けている市内中小企業及び農林水産業業者を対象に、労働負担の軽減、作業効率の向上、製品品質の安定化等により従業員の賃上げや処遇改善に取り組む基盤を整備する事業者を国交付金を活用し支援することができた。 【内訳】 商 業：5事業者 4,465千円 建設業：9事業者 3,405千円 農林業：25事業者 21,719千円	現状の人手不足やコスト高に対応できず事業継続が難しい事業者がある中で省力化・省人化の設備機械の導入を支援することで、生産性向上による収益改善、従業員の負担軽減による労働環境の改善が図られ、地域経済の活性化と産業・雇用の維持につなげることができた。
7-1-2	中小企業振興資金預託金		80,000	80,000	80,000	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 80,000	中小企業振興資金の融資の原資として市内金融機関へ資金を預託した。 【内訳】 秋田銀行 《22,000千円》 R7末融資通常枠残高 364,506千円 特別枠残高 15,000千円 北都銀行 《23,000千円》 R7末融資通常枠残高 318,525千円 特別枠残高 5,354千円 秋田県信用組合 《35,000千円》 R7末融資通常枠残高 499,554千円 特別枠残高 5,326千円	市内事業所及び個人事業主に対する資金融資が受けられることで、経営環境の改善及び設備更新が可能となり経営の安定化を図ることができた。

7-1-2	中小企業振興資金利子補給金		12,186	11,216	11,216	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 11,216 0	中小企業振興資金保証制度による事業者借入金の利子補給金として1%を金融機関に支払った。 【内訳】 前期 ・通常枠 317件 5,474千円 ・コロナ枠 15件 94千円 後期 ・通常枠 326件 5,564千円 ・コロナ枠 12件 83千円 計 670件 11,215千円	借入金利子に対する補給を行うことで、運転資金や設備投資への資金融通が可能となり、市内中小企業者の経営安定化に資することができた。
7-1-2	中小企業振興資金保証料補給金		11,477	10,302	10,302	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 10,302 0	中小企業振興資金保証制度による事業者借入金の残額に対する保証料補給として保証料の全額を秋田県保証協会に支払った。 【実績】10,301千円	保証料補給を行うことで、運転資金や設備投資への資金融通が可能となり、市内中小企業者の経営安定化に資することができた。
7-1-2	商工会経営改善普及事業費補助金		7,000	7,000	7,000	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 7,000 0	人口減少や労働力不足、働き方改革など中小規模事業者にとっての課題解決や市内商工業者の持続的発展のための商工会活動取組に対し補助した。 【実績】7,000千円	市内商工業者に対し、きめ細かい訪問相談・指導を行うことで事業継続又は、事業承継等に係る経営改善及び経営安定に資することができた。

7-1-2	地域産業振興育成事業補助金		900	900	900	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 900 0	地域産業の発展のため、北秋田市商工会で実施する事業に対し補助した。 【実施事業】 創業塾の開催 商工会マルシェの開催 【実績】 900千円	北秋田市内事業者等の経営に資する各種支援をすることで、地域産業の育成及び振興を促すことができた。
7-1-2	北秋田市産業祭補助金		2,250	2,250	2,250	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 2,250 0	地場産業の振興と地域経済の活性化を目的とした産業祭を開催するため、産業祭実行委員会へ補助した。 【概要】 開催日：令和7年10月18～19日 会 場：鷹巣体育館 出展・出店数：77件 来場者数：12,750人	「地元児童・生徒による研究発表」等のステージイベント、「カスタネットづくり」等の体験コーナー、企業による地場産業等の展示などを行い、市内外から幅広い世代の集客が図られ、市内産業を多くの方にPRすることができた。さらには、地場産業の振興のみならず、意欲の高揚による地域経済の活性化を図ることができた。
7-1-2	物流事業者支援事業補助金		1,578	1,307	407	国 県 債 一 基 他	900 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,307 0	エネルギー価格高騰等により厳しい経営状態が続く、市内貨物運送事業者に対し、運送料金への価格転嫁などの必要な対策を進めるにあたり、当面の掛かり増し燃料費の一部を支援した。 【内訳】 事業用普通貨物自動車 145台 1,305千円 事業用軽貨物自動車 1台 2千円 計 146台 1,307千円	安定した輸送力による地域経済活動の確保と事業の継続が図られた。

7-1-2	プレミアム付き応援チケット事業【第1弾】	○	208,365	207,013	11,303	国 県 起 一 基 他	57,035 0 0 0 0 138,675	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 207,013 0 0 0 0	市内加盟店で利用できるプレミアム率50%のプレミアム付応援チケットを、1セット5,000円で(市民1人につき1セットまで)販売した。また、余剰分については追加販売を実施して完売した。 【実績】 使用期間 令和7年4月18日～令和7年9月30日 販売総額 138,675千円 換金総額 207,270千円 (99.6%) 加盟店数 398店舗	エネルギー価格及び食料品等の価格高騰により落ち込んだ市内消費を刺激し、市内店舗の事業継続が図れたほか、市民の経済的負担の軽減も図れた。
7-1-2	市街地賑わい再生支援事業費補助金		4,001	3,772	3,772	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,772 0	空き店舗等を商店街団体等が行う店舗の利活用等又は、市街地の賑わい作りや活性化を図るために開催される事業に対し補助した。 【空き店舗等利活用事業】 ・家賃補助 9事業者1,454千円 ・リノベーション等補助 3事業所1,848千円 【まちの賑わいづくり推進事業】 北秋田きらきらフェスティバル470千円 計 3,772千円	新規創業者等へ空き店舗活用のための家賃補助に加え、リノベーション等費用の補助を行うことで空き店舗が減少し、市街地の活性化を図ることができた。 また、まちの賑わいづくり推進事業により公園のイルミネーションや親子の触れ合いを通じた賑わいの企画など地域の活性化にもつながった。
7-1-2	プレミアム付き応援チケット事業【第2弾】		436,218	427,190	148,716	国 県 債 一 基 他	4,204 0 0 0 0 274,270	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 427,190 0 0 0	市内加盟店で利用できるプレミアム率50%のプレミアム付応援チケットを、1セット5,000円で(市民1人につき2セットまで)販売した。また、余剰分については追加販売を実施して完売した。 【実績】 使用期間 令和7年10月1日～令和8年2月28日 販売総額 272,270千円 換金総額 409,774千円 (99.6%) 加盟店数 416店舗	エネルギー価格及び食料品等の価格高騰により落ち込んだ市内消費を刺激し、市内店舗の事業継続が図れたほか、市民の経済的負担の軽減も図れた。

7-1-2	プレミアム付き応援チケット事業【令和8年度実施分】		431,660	10,204	0	国 県 債 一 基 他	10,204 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	10,204 0 0 0 0 0 0	令和8年度4月18日より、市内加盟店で使用できるプレミアム率50%のプレミアム付応援チケットを、1セット5,000円で（市民1人につき2セットまで）販売するための準備を行った。 加盟店数 419店舗 準備セット数 54,400セット（408,000千円相当）	市内419店舗の加盟店確保及び、54,400セットの発行準備を行い、令和8年度プレミアム付応援チケット事業を円滑に開始できる体制を整備した。
7-1-3	消費者行政推進事業		3,735	3,557	3,463	国 県 債 一 基 他	0 94 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 184 171 0 0 0 14 3,188	消費生活相談員を配置し、消費生活に関する相談業務を行った。また、スーパーマーケット前におけるチラシ配布や、市内すべての小中学校等を訪問し、トラブル被害の防止啓発活動を実施した。	消費生活相談員の配置による相談体制の構築により、相談者に対する適切な助言・情報提供と、あつせん解決を図ることができた。 【実績】 相談件数 129件 救済額 1,955,030円
7-1-4	産業振興促進事業		81,335	51,335	14,535	国 県 債 一 基 他	0 0 36,800 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 51,335 0	市内に工場等を新設、増設又は移設する事業者に対し、奨励措置を講じた。 【内訳】 ・雇用奨励金 4社 3,300千円 ・固定資産取得経費助成金 3社 48,035千円	雇用に対する奨励措置を講じたことで11人の雇用が図られたほか、自動化等の設備導入や製造工程の集約化により生産工程の合理化と効率化を図る事業者の設備投資を支援したことで、域内での持続的な生産活動を維持することができた。

7-1-5	観光案内事業		9,340	9,340	9,340	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 9,340 0 0 0	市内観光資源や物産のPRのほか、企業受入型地域おこし協力隊による体験プログラムの開発を行い、誘客を促進した。 【実績】 窓口対応件数 4,192件 (前年4,216件) 電話対応件数 347件 (前年280件) 手荷物預件数 127件 (前年92件) 情報発信件数 285件 (前年369件)	SNSを通じた活発なPRによりInstagramのフォロワー数は1年間で1,000人以上増加、Xでは一部がネットニュースに取り上げられるなど、観光PRの促進となった。 新たな観光コンテンツとして、アクティビティプログラムの開催や市内ツアーガイドを行い、年間で386人の参加があった。
7-1-5	北秋田まちづくり観光事業補助金(前北秋田市観光物産協会補助金)		15,450	15,450	15,450	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 15,450 0	これまでのイベント主体からの転換を図るため、地域内の様々な観光資源を生かした体験型商品開発に取り組むとともに、ホームページやSNSを活用した観光情報の発信を強化し、誘客促進を図った。 【実績】 ホームページのリニューアル 体験型商品の造成 地域イベントへの協力	ホームページをリニューアルし、情報発信の強化を図った。また、地域おこし協力隊による体験型プログラムの開催や市内ツアーのガイド依頼により、自主財源の確保が図られた。
7-1-5	地域連携DMOを核とした観光振興事業		24,346	22,506	18,096	国 県 債 一 基 他	4,410 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 22,506 0	DMOを構成する北秋田市・大館市・小坂町・上小阿仁村の物産振興及びインバウンド観光PRに取り組む一般社団法人への負担金を交付した。	海外からインフルエンサーを招聘し、スキーや樹氷、マタギ文化等の国外へ向けたPRにより、インバウンド観光客の誘客促進が図られた。 また、阿仁学園と連携し、秋田内陸線「岩野目駅」の駅舎へ壁画アートを施し、地域の賑わい創出に寄与した。

7-1-5	おもてなし宿泊支援事業		71,225	39,920	13,233	国 県 債 一 基 他	26,687	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 545 0 29,673 0 9,702 0	夏季及び冬季の市内宿泊施設への宿泊者に対し、市内で使用できる地域限定クーポンを配布した。 また、次年度夏季実施に向け事前準備を実施し、換金費用を繰越した。 【実績】 期間：6月～8月 参加事業者：（宿泊） 15事業所 （小売店等） 380事業所 利用者数：7,479人 （前年実施なし） 期間：12月～3月 参加事業者：（宿泊） 15事業所 （小売店等） 378事業所 利用者数：3,928人 （前年：3,820人）	国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市内小売店等で利用可能な地域限定クーポン券を配布することにより、宿泊需要の喚起を図り、市内の宿泊事業者等の物価高騰に対する影響を緩和することができた。 また、観光需要が低迷する冬季においても、観光客の消費意欲を喚起し、誘客促進や経済波及効果の創出が図られた。
7-1-5	インバウンド誘客強化事業		4,861	4,408	4,408	国 県 債 一 基 他	0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 475 0 0 3,923 0 0 10	市単独で台湾トップセールスを実施し、旅行会社等の企業訪問を実施した。 また、秋田内陸線と連携し、台北で台湾現地旅行会社の商品造成担当者向けに観光セミナーを開催した。 さらに、台湾黒熊保育協会を訪問し、クマに関する相互連携の可能性について意見交換を行った。 【実績】 企業訪問 3社 セミナー出席者 19社20名	観光セミナーでは、阿仁スキー場や森吉山を中心にPRを行ったほか、秋田内陸線の貸し切り列車やお弁当についても紹介した。 セミナー開催によって、樹氷観賞を主とした森吉山阿仁スキー場への誘客や内陸線の利用促進が図られた。
7-1-5	秋田内陸線・奥羽北沿線連絡協議会負担金		1,200	1,200	1,200	国 県 債 一 基 他	0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,200 0	秋田内陸線沿線及び奥羽北線沿線の市町村による広域的な連携プロモーション活動を行った。 【実績】 秋田内陸線の旅発行 40,000部 秋田内陸線の旅繁体字版発行 30,000部 WEBランディングページ作成 訪日サイトWEB記事掲載	秋田内陸線沿線及び奥羽北線沿線の市町村が連携し、広域的な観光プロモーションを実施したことで、沿線地域の認知度向上及び誘客促進につながった。 台湾向け訪日観光サイト「Japaholic」への記事掲載を通じて、訪日旅行に関心の高い台湾市場へ効果的に情報発信を行った。その結果、掲載記事は143,000PVを獲得し、沿線地域の認知拡大に寄与した。

7-1-5	宿泊施設誘致調査事業		1,210	1,210	1,210	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,210 0 0 0	ホテル誘致に向けた準備として、各種データの分析や調査等を通じ、市内における宿泊環境に関する実態及び需要見込み等を分析し、ホテル経営事業者への誘致活動に活用するための資料を作成した。	市場調査及び競合調査等の分析結果から、現状では宿泊需要を取り切れておらず、今後の森吉山国定公園化による観光客増加も見込まれており、10室から15室程度のリゾートホテルの需要ポテンシャルがあると示された。 また、ビジネスホテルについても、現状では鷹巣市街地の宿泊施設が少ないことから、70室から90室ほどの需要ポテンシャルがあることも示された。
7-1-5	森吉山国立・国定公園化推進事業		769	460	460	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	46 235 0 0 179 0 0 0	環境省が令和5年度から2カ年にわたって実施した「森吉山を含む八幡平周辺地域における国立・国定公園の新規指定及び大規模拡張候補地に関する調査結果」について、報告を受けるとともに、森吉山の国立・国定公園化に向けた市民理解の促進及び機運醸成を目的として、環境省東北環境事務所職員を講師に報告会を開催した。 【開催日・開催場所】 10月10日・阿仁公民館 10月11日・北秋田市交流センター	2日間開催した報告会には、約100人の地域住民が参加し、環境省との質疑や意見交換を通じて、森吉山地域の国立・国定公園化に関する理解の促進を図ることができた。 環境省による2カ年調査の結果では、森吉山地域は「特筆すべき独自の景観資源が多数存在する」と評価され、「森吉山周辺は新たな国定公園として指定する資質がある」との結論が示された。
7-1-5	自然環境を核とした観光推進事業		7,920	7,920	7,920	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 7,920 0 0 0	アウトドアルートマップを活用したスタンプラリーイベント及び地元ガイドによるアウトドアイベントを実施するとともに、その成果を検証し、観光コンテンツの充実や担い手育成に向けた課題整理を行った。 【実施内容】 ジャパンエコトラックススタンプラリー サイクリングモニターツアー トレッキングモニターツアー	イベント運営を通じて地域住民や事業者の主体的な活動を促進し、継続的な人材育成プログラムを実施することで、地域の一体感を醸成することができた。観光客誘致や地域経済の活性化に貢献し、持続可能な地域づくりを推進することができた。

7-1-5	樹氷案内所事業		1,627	1,601	1,601	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,601 0 0 0	樹氷期間中に、「樹氷案内所」を開設するとともに、「樹氷観賞コース」を整備するなど、来訪者の満足度及び利便性の向上に向けた受入態勢の整備を行った。	本市の冬期誘客の核として、森吉山ガイドの関連団体で構成する協議会が中心となり、樹氷観賞に係る受入態勢の構築が図られた。 また、インバウンド来場者数は、前年と比較して大幅に増加した。 【実績】 樹氷観賞期間 1月7日～3月5日 樹氷観賞者数 11,922人 (前年9,828人) うちインバウンド 5,773人 (前年3,271人)
7-1-6	道の駅施設整備事業		145,141	11,810	2,110	国 県 債 一 基 他	0 0 9,700 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	20 736 0 1,334 9,720 0 0 0	道の駅たかのすの整備に向け、地質調査業務を実施したほか、取得を予定している用地所有者との用地交渉を行った。 また、基本設計業務において、農業法人や地元事業者に対するヒアリングを行うとともに、サウンディング型市場調査による事業者との対話を実施したほか、子育て関係者や子育て世帯に対しヒアリングやアンケート調査を実施した。 なお、基本設計・実施設計及び用地取得については、次年度に事業費を繰越し実施することとした。	設計の基礎資料となる地質情報が得られ、また基本設計業務に着手することができた。 そのほか、事業者や子育て世帯からの意見を基に、基本設計に反映させることができ、事業の推進が図られた。
7-1-6	大太鼓の館施設整備事業		35,594	429	429	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	165 264 0 0 0 0 0 0 0	大太鼓の館の改修に向け、基本設計業務の実施事業者をプロポーザル審査会にて選定した。 また、展示計画検討委員会を開催し、改修後の展示手法等について検討した。 なお、基本設計・実施設計については、次年度に事業費を繰越し実施することとした。	改修後の展示手法等について関係者や有識者の意見を基に展示の方針を定め、基本設計に反映させることができた。

7-1-6	森吉山荘管理事業		14,845	13,465	13,465	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 12,310 0 0 1,155	森吉山荘の再稼働に向けた検討を進めるため、民間事業者等を対象としたサウンディング調査を実施し、施設整備や運営方針に関する意見・提案の把握を行った。 また、今後の長期利用を見据え、新耐震基準に基づく安全性を確認するため、耐震診断を実施した。	宿泊施設の運営実績を有する事業者2社から参入意向が示され、森吉山荘に対する民間事業者の関心及び参入の可能性を確認することができた。 また、耐震診断の結果、要補強建物判定基準には該当せず、施設の耐震性能について一定の安全性が確認された。
7-1-7	森吉山スキー場開発対策事業		147,847	145,996	52,327	国 県 債 一 基 他	6,369 0 87,300 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 7,194 20 42,297 81,848 430 14,207	「森吉山阿仁スキー場」、「高津森クロスカントリースキーコース」及び「高津森ペンション団地」の管理運営事業を実施した。主に森吉山阿仁スキー場において、ゴンドラ及びリフトの修繕・更新工事やゴムクローラーショベルの更新を行った。また、樹氷シーズンにおけるオーバーツーリズム対策として、駐車場利用の分散及び路上駐車解消を目的に、パーク＆ライドの実証運行並びにライブカメラによる駐車場の混雑状況のリアルタイム配信を実施した。	ゴンドラ及びリフトの安全性及び安定運行が確保されたほか、パーク＆ライドの実証運行、誘導員の配置及びライブカメラによる混雑状況のリアルタイム配信を実施し、駐車場の混雑緩和と利用者の利便性向上が図られた。
8-2-1	道路台帳整備事業		21,093	20,107	20,107	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 20,107 0 0 0	市道62路線6,141.4m、橋梁6橋及び道路占用物新規166件・廃止18件の道路台帳補正を行った。システム移行を行い、道路台帳のクラウド化を行った。 【事業費内訳】 ・道路台帳管理システム保守委託 637千円 ・道路台帳補正委託 6,050千円 ・道路占用物データ追加作成委託 1,650千円 ・道路台帳システム移行委託 11,770千円	道路台帳の補正、道路占用物情報の追加等によりデータベースの更新を行った。また、クラウド化へ移行することで、道路管理業務を効率的に実施することができた。

8-2-2	道路維持事業		139,240	138,742	138,742	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 16 29,408 1,153 8,285 0 1 99,879	市道の維持管理を行った。 【路線総延長】 ・1級市道 191.73km ・2級市道 108.86km ・その他市道 553.36km 計 853.95km	快適で安全な道路環境を確保することができた。
8-2-2	道路維持車両更新事業		17,134	17,133	17,133	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 169 0 0 0 16,964	道路維持車両を購入整備した。 【購入内訳】 ・公用車(建設課) バン4WD 1台 3,655千円 ・道路作業車(合川) 2tトラックアーム式パラーゲート付 1台 6,482千円 ・バックホウ 0.1m級(鷹巣) 1台 6,996千円	効率的な道路維持作業の向上が図られ、より効果的な作業が実施された。
8-2-2	道路除雪事業		924,114	914,860	787,130	国 県 債 一 基 他	104,388 23,342 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 489 281,343 1,398 442,755 0 0 188,875	道路除雪事業を行った。 【除雪延長】 ・直営 車道 373.22km 歩道 31.24km 計 404.46km ・委託 車道 266.37km 歩道 24.66km 計 291.03km	快適で安全な道路環境を確保できた。

8-2-2	除雪車両更新事業①		27,714	27,713	313	国 県 債 一 基 他	0 0 27,400 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 103 0 0 0 27,610	道路除雪機械を購入整備した。 【内訳】 凍結防止剤散布車(新車) (合川) 1台 27,713千円	道路除雪作業の効率性向上が図られ、より効果的な作業が実施された。
8-2-2	道路等維持事業		50,100	50,014	50,014	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 50,014 0 0	経年劣化等により補修が必要となった舗装や側溝などの維持工事を実施した。 【事業内訳】 排水維持工事 6件 19,597千円 道路維持工事 3件 28,838千円 交通安全施設工事 2件 1,579千円	維持工事により、舗装や側溝などの機能回復が図られた。 【実績】 排水維持工事 駅前木戸石線ほか L=257.9m 道路維持工事 宮本2号線ほか L= 58.2m 交通安全施設工事 掛泥1号線ほか L= 8.0m
8-2-2	道路等維持事業	○	50,000	49,979	49,979	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 49,979 0 0	経年劣化等により補修が必要となった舗装や側溝などの維持工事を実施した。 【事業内訳】 排水維持工事 2件 14,736千円 舗装維持工事 3件 28,505千円 道路維持工事 1件 4,967千円 交通安全施設工事 1件 1,771千円	維持工事により、舗装や側溝などの機能回復が図られた。 【実績】 排水維持工事 福田中学校通線ほか L=137.4m 舗装維持工事 田中～佐戸岱線ほか L=703.0m 道路維持工事 田子ヶ沢～岩谷線 L=100.2m 交通安全施設工事 小又五味堀線 L= 12.0m

8-2-3	摩当鎌沢線道路改良事業		63,464	63,463	63	国 県 債 一 基 他	0 0 63,400 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 63,463 0 0	摩当鎌沢線の劣化したモルタル吹付法面の対策 工事を実施した。 【事業内訳】 道路改良工事 1件 63,463千円	法面对策工事により、法面の安定化が図られ、安全な通行が確保された。 【実績】 摩当鎌沢線 L=85.0m
8-2-3	小中岱～舟見町線道路改良事業		13,583	13,583	83	国 県 債 一 基 他	0 0 13,500 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 13,583 0 0	小中岱～舟見町線の狭隘箇所及び路面排水処理の改善を図るため測量設計業務を実施した。 【事業内訳】 測量設計業務委託 1件 13,583千円	測量設計業務の完了により、翌年度の道路改良工事に向けた準備が整った。 【実績】 測量設計成果品 N=1式
8-2-3	大野岱線舗装改良事業		26,632	26,632	32	国 県 債 一 基 他	0 0 26,600 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 26,632 0 0	経年劣化により補修が必要となった舗装の打換えを実施した。 【事業内訳】 舗装改良工事 1件 26,632千円	舗装改良工事により、路面の平坦性が向上し、快適な通行が確保された。 【実績】 大野岱線 L=700.0m

8-2-3	大沢～李岱線舗装改良事業		12,561	12,561	61	国 県 債 一 基 他	0 0 12,500 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 12,561 0 0	経年劣化により補修が必要となった舗装の補修を実施した。 【事業内訳】 舗装改良工事 1件 12,561千円	舗装改良工事により、路面の平坦性が向上し、快適な通行が確保された。 【実績】 大沢～李岱線 L=320.0m
8-2-4	除雪車両更新事業②		57,762	57,574	2,075	国 県 債 一 基 他	36,999 0 18,500 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 187 0 0 0 57,387	道路除雪機械を購入整備した。 【内訳】 除雪ドーザ(新車) 11t級(合川) 1台 23,837千円 11t級(森吉) 1台 33,737千円	道路除雪作業の効率性向上が図られ、より効果的な作業が実施された。
8-2-4	舗装補修事業		68,395	68,360	1,608	国 県 債 一 基 他	33,852 0 32,900 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 980 0 0 66,828 0 552	舗装長寿命化修繕計画に基づき、措置が必要な路線の舗装補修工事を実施した。 【事業内訳】 舗装補修工事 1件 66,828千円	舗装補修工事により、舗装機能が回復し、路面の平坦性の向上と快適な通行の確保が図られた。 【実績】 鷹巣～前山線 L=945.0m

8-2-4	橋梁補修事業		410,214	410,214	3,686	国 県 債 一 基 他	241,328 0 165,200 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 65,641 344,573 0 0	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、措置が必要な 橋梁の補修工事を実施した。 【事業内訳】 橋梁補修工事委託 1件 65,465千円 地質調査業務委託 1件 176千円 橋梁補修工事 7件 344,573千円	橋梁損傷箇所の補修により、劣化進行の抑制 及び橋梁機能を維持し、施設の長寿命化と安全 な通行の確保が図られた。 【実績】 鉄道交差橋 1橋 平田橋 1橋 五兵衛沢橋 1橋 糠沢橋 1橋 治五兵衛岱橋 1橋 横渕橋 1橋 岩谷2号橋 1橋 岩谷3号橋 1橋
8-2-4	橋梁補修事業	○	226,886	211,504	134	国 県 債 一 基 他	131,370 0 80,000 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 160,153 51,351 0 0	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、措置が必要な 橋梁の補修工事を実施した。 【事業内訳】 橋梁補修工事委託 2件 160,153千円 橋梁補修工事 1件 51,351千円	橋梁の損傷箇所の補修により、劣化進行の抑 制及び橋梁機能を維持し、施設の長寿命化と安全 な通行の確保が図られた。 【実績】 石坂跨線橋 1橋 鉄道交差橋 1橋 横渕橋 1橋
8-2-4	トンネル補修事業		7,192	7,192	516	国 県 起 一 基 他	776 0 5,900 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 495 6,697 0 0	トンネル長寿命化修繕計画に基づき、措置が必 要なトンネルの補修工事を実施した。 【事業内訳】 協議資料作成業務委託 1件 495千円 トンネル補修工事 1件 6,697千円	トンネルの損傷箇所の補修により、劣化進行 の抑制及びトンネル機能を維持し、施設の長寿 命化と安全な通行の確保が図られた。 【実績】 小様トンネル 1箇所

8-2-4	橋梁点検事業		18,083	18,083	6,896	国 県 債 一 基 他	11,187 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 18,083 0 0 0	市が管理する橋梁の定期点検(法定点検)を実施した。 【事業内訳】 橋梁点検業務委託 1件 18,083千円	定期点検により、橋梁の健全度や損傷状況を把握し、修繕計画へ反映するための基礎資料が得られた。 【実績】 橋梁点検 N=49橋
8-2-4	トンネル点検事業		12,539	12,539	1,992	国 県 債 一 基 他	3,170 0 0 0 0 7,377	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 12,539 0 0 0	市が管理するトンネルの定期点検(法定点検)を実施した。 【事業内訳】 トンネル点検業務委託 1件 12,539千円	定期点検により、トンネルの健全度や損傷状況を把握し、修繕計画へ反映するための基礎資料が得られた。 【実績】 榎森トンネル L=1,511m
8-2-4	小規模付属物点検事業		10,898	10,898	4,796	国 県 債 一 基 他	6,102 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 10,898 0 0 0	道路の小規模付属物(道路照明灯)の状態把握のため点検を実施した。 【事業内訳】 道路照明灯点検業務委託 1件 10,898千円	点検により、道路照明灯の損傷状況を把握し、適切な維持管理に必要な基礎資料が得られた。 【実績】 道路照明灯点検 N=160基

8-3-1	河川維持事業		5,800	5,773	5,773	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 5,773 0 0	河川管理施設の機能を維持するため護岸工事を 実施した。 【事業内訳】 河川維持工事 1件 5,773千円	河川の維持工事により、河川施設の機能が維 持され、治水機能の確保と安全性の向上が図ら れた。 【実績】 大堤川 L=18.0m
8-3-1	緊急浚渫推進事業		19,160	19,160	60	国 県 債 一 基 他	0 0 19,100 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 19,160 0 0	河川堆積土砂を除去し、河川の流下能力を確保 するため浚渫工事を実施した。 【事業内訳】 河川浚渫工事 4件 19,160千円	浚渫工事により、河川断面が確保され流下能 力の向上と洪水発生リスクの低減が図られた。 【実績】 摩当沢川 L=150.0m 田ノ沢川 L=205.0m 田沢川 L=145.0m 荒瀬川 L=100.0m
8-4-1	都市計画マスターブ ラン策定事業		17,434	17,075	14,347	国 県 債 一 基 他	2,728 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	189 22 13 0 16,851 0 0 0	第2次北秋田市都市計画マスタープランの策定 に着手した。 【内訳】 策定委員会 211千円 住民懇談会 13千円 策定委託 16,851千円	令和8年度の完成に向け、現況・課題の整理 及び分析、基本理念、分野別方針、まちづくり 方針を決定した。 【実績】 住民意向調査 1,300世帯 住民懇談会 4回 策定委員会 3回 庁内検討委員会 3回

8-4-2	都市公園等維持管理 事業		26,230	25,944	25,891	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 53	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 83 3,181 218 20,054 0 0 2,408	施設の諸修繕、樹木の剪定、草刈り、清掃等維持管理を行った。 【内訳】 諸修繕 1,882千円 中央公園管理委託 9,677千円 米代児童公園管理委託 1,936千円 ドリームワールド管理委託 1,150千円 水草等除去委託 1,589千円 ほか	市民の癒しと憩いの場として、安全で快適に利用できる環境を確保することにつながった。 【実績】 諸修繕 14件 公園管理委託 5公園 水草等除去委託 2公園 トイレ清掃委託 5公園 桜剪定委託 1公園 浄化槽維持管理委託 1公園 ほか
8-4-2	都市公園等施設整備 事業		1,439	1,430	1,430	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,430 0 0	中央公園遊具の更新工事を行った。 【内訳】 遊具更新工事 1,430千円	公園利用者が安全で快適に利用できる環境整備につながった。 【実績】 雲梯 1基 鉄棒 1基
8-5-1	第3次北秋田市住生活基本計画策定事業		7,895	7,895	4,343	国 県 債 一 基 他	3,552 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 7,895 0 0 0	本市の住宅施策に関するマスタープランを策定した。 【内訳】 策定委託 7,895千円	計画期間を令和8年度～令和17年度とする第3次北秋田市住生活基本計画を策定した。 【実績】 住民意向調査 ・市民 1,000人 ・市営住宅入居者 440世帯 策定委員会 3回

8-5-1	住宅リフォーム支援事業		28,039	28,039	28,039	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 28,039 0	住宅リフォームを行う市民に対し工事費の補助を行った。 【補助メニュー内訳】 一般型 159件 15,233千円 子育て応援型 33件 6,987千円 中古住宅購入型 12件 5,819千円 計 204件 28,039千円 【加算メニュー内訳】 (件数、金額は上記の内数) 移住者 13件 5,989千円 下水道接続 14件 700千円	本事業をきっかけの一つとして住宅リフォーム工事が実施され、市内経済の活性化や居住環境の質の向上、空家の利活用につながった。 本事業に係る工事費は417,811千円となった。
8-5-2	市営住宅維持管理事業		45,748	44,621	0	国 県 債 一 基 他	19,128 0 0 0 0 0 25,493	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 13,854 172 4,117 26,442 0 36	市営住宅内外の諸修繕、清掃・設備点検、屋根葺替え工事等の実施により、市営住宅の維持管理を行った。 【内訳】 諸修繕 11,450千円 屋根葺替え工事 21,432千円 屋根防水工事 1,276千円 給水ポンプ取替工事 1,078千円 ほか	入居者の良好な生活環境を確保することにつながった。 【実績】 諸修繕 129件 屋根葺替え工事 2棟2戸 ・松山町団地 1棟6戸 ・上野住宅 1棟6戸 屋根防水工事 1棟6戸 ・南鷹巣団地 1棟6戸 給水ポンプ取替工事 1棟 ほか
8-5-3	公営住宅整備事業		151,421	150,457	1,134	国 県 債 一 基 他	47,423 0 101,900 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 296 7,349 140,866 176 1,770	住宅の適切な確保と住生活の改善を図るため、北秋田市公営住宅等第2期長寿命化計画に基づき住宅整備を行った。 【内訳】 建設工事 101,779千円 外構工事 4,889千円 給排水管布設工事 3,641千円 解体工事 30,557千円	年次計画に沿った建替えにより、入居者の安全と適正な住環境が確保された。 【実績】 明田団地建設工事 ・木造平屋建 2棟4戸 ・建築面積 136.07㎡/棟 ・延べ床面積 99.20㎡/棟 明田団地 (S54年築) 解体工事 ・木造平屋建 5棟5戸 ・延べ床面積 57.91㎡/棟

9-1-1	救命士養成事業		3,981	3,981	3,981	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 338 24 46 636 0 2,116 821	救急業務高度化計画に基づき、新規救急救命士1名を養成した。また、救急救命士の再教育や各種研修での研鑽を図った。 【事業内訳】 救命士養成研修費 2,106千円 各種研修等 1,829千円 国家試験手数料 46千円 計 3,981千円	新規救急救命士1名が国家資格を取得し、各救急隊への救急救命士搭乗が図られている。 また、医療機関における再教育等により、スキルの向上を図ることができた。
9-1-1	無線連動型住宅用火災警報器設置促進事業		600	368	368	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 368 0	実施要綱に基づき、設置を希望する高齢者等の世帯に対し、機器購入費の50%（1個あたり5,000円、最大4個までを上限）の補助金を交付した。 【事業内訳】 補助金交付世帯数 30世帯 補助金交付額 368千円	未設置が多い高齢者等の経済的負担を軽減し、設置世帯数の増加が促進された。 また、機器の設置により自宅や隣家の火災を早期に認識することで、逃げ遅れを防止する対策が図られた。
9-1-1	本署、各分署移転事業		70,310	68,711	57,591	国 県 債 一 基 他	0 0 9,500 0 0 1,620	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 121 162 12,794 51,187 0 4,447	再編計画に基づき、阿仁分署の建設工事と外構工事を施工した。また、旧阿仁分署解体に向けた実施設計を委託した。 【事業内訳】 阿仁分署建築外構工事51,187千円 工事監理業務 2,254千円 完成検査手数料 162千円 無線指令システム移設 8,164千円 旧阿仁分署解体設計 2,376千円 需用費・その他 4568千円 計 68,711千円	阿仁分署建設について、計画通りに完了し、運用開始することができた。

9-1-1	消防無線指令システム更新事業		62,142	62,139	15,539	国 県 債 一 基 他	0 0 46,600 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 62,139 0 0 0 0	高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムの運用から10年が経過した各システム機器について、事業計画に基づき、指令システム車両系（緊急車両と指令センターをつなぐFOMA回線終了に伴い、指令情報や位置情報などのデータを送受信する車両端末装置等）の更新を図った。	災害発生時に、最適な車両配置やルート案内が可能となり、水利情報や道路障害などの共有により、消防活動の効率化と迅速化を実現している。
9-1-2	消防団積載車更新事業		8,704	8,140	140	国 県 債 一 基 他	0 0 8,000 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 8,140	消防団第1分団（摩当）の小型動力ポンプ付軽四輪駆動（平成15年度配置）を整備計画に基づき更新した。	配置から22年を経過した車両を更新し、車体及びポンプ性能の向上が図られた。 これにより災害への初動体制と火災防ぎょ能力が向上し、地域の防災力強化を図ることができた。
9-1-2	小型動力ポンプ更新事業		2,604	2,159	59	国 県 債 一 基 他	0 0 2,100 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 2,159	消防団第3分団（向黒沢）の小型動力ポンプ（平成3年配置）を整備計画に基づき更新した。	配置から34年を経過した小型動力ポンプを更新し、ポンプ性能の向上が図られた。 これにより災害への初動体制と火災防ぎょ能力が向上し、地域の防災力強化を図ることができた。

9-1-3	消防水利更新事業		31,856	31,803	11	国 県 債 一 基 他	7,992 0 23,800 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 31,803 0 0	消防水利の整備計画に基づき、充足が低い地区へ防火水槽新設工事を施工した。 【事業内訳】 掛泥地区 15,963千円 藤株地区 15,840千円 計 31,803千円	火災発生時に水利不足が懸念されている地区の充足を図ることができ、火災時の早期消火活動が可能となった。
9-1-5	災害時必要物資備蓄事業		1,600	1,403	586	国 県 債 一 基 他	0 817 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 742 0 0 0 0 661	災害時のための備蓄品や備品を整備した。 【事業費内訳】 非常食・保存水一式 715千円 粉ミルク・液体ミルク 27千円 赤外線暖房機 353千円 トイレ手すり 308千円 【事業内訳】 主食アルファ米 1,000食 主食アルファ米(粥) 450食 ビスケット 540食 粉ミルク 3,780g 液体ミルク 5,760ml 保存水 1,200本 赤外線暖房機 1台 トイレ手すり 7基	避難所において避難者へ配付する備蓄品のほか、災害用トイレに付設する手すり及び赤外線ヒーターを整備することで、避難生活環境を向上させることができた。
9-1-5	自主防災組織活動支援事業		970	874	874	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 874 0	申請のあった自主防災組織5団体に対し、自主防災組織活動支援補助金を支給した。 【事業費内訳】 活動事業 86千円 資機材整備事業 788千円 (うち、2回目以降1件)	自主防災組織の活動に際し、避難訓練等での活動事業に対する補助金及び資機材を整備するための補助金を交付することで、自主防災活動の活性化へつなげることができた。

9-1-5	防災ラジオ整備事業		16,875	15,511	15,511	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 1,578 0 10,859 3,074 0 0	防災ラジオの適切な維持管理等を行った。 森吉送信局への落雷による故障を修繕した。 【事業費内訳】 発信局発電機燃料 63千円 発信局電気料 1,515千円 システム保守委託 10,859千円 森吉送信局修理 3,074千円 【普及率】 9,504台/10,100世帯 94.1%	市民への大切な情報発信ツールの1つとして、停電時には発電機の燃料を補充しながら、発信可能状態の維持に努めた。 災害時の緊急情報や熊目撃情報など市民にいち早く伝えたい情報を発信することができた。
9-1-5	防災士養成事業助成金		50	47	47	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 47 0	県が実施する防災士養成講座を受講するための費用を助成した。 【事業費内訳】 森吉地区 1人 23千円 阿仁地区 1人 24千円 【助成金の対象】 受講料 2人 24千円 旅費相当 2人 23千円	防災士を要請するため、県が実施する防災士養成講座を受講するための受講料及び旅費を助成した。 今年度は2名が受講し、いずれも防災士の資格を取得した。同講座を利用して取得した防災士は6人。 訓練などにも積極的に参加いただいております、防災の啓発に取り組んでいただいている。
9-1-5	防災登録制メール配信事業		1,188	1,030	1,030	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 1,030 0 0 0	防災登録制メール配信システムの保守管理を行った。	防災登録制メールにより、災害発生時の避難所開設の情報や土砂災害警戒情報の発表による避難指示、熊目撃情報など市民へいち早く情報発信する重要なツールの1つとなった。 登録者数 2,152人 (R8.3月末)

9-1-5	防災行政無線廃止撤去事業		12,100	10,010	10,010	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	防災行政無線の子局について撤去工事を行った。 【事業内容】 森吉地区防災行政無線子局撤去工事(10箇所)	森吉地区における防災行政無線子局の撤去工事を行った。 森吉地区10箇所 本城×3、御嶽、大町、新町、松山町、七曲、中道岱、大淵 森吉地区はR9までを予定。 阿仁地区はR10以降実施。
9-1-5	LINEを活用した行政情報配信事業		462	462	462	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	市公式LINEで防災メールや防災ラジオと同様にいち早く市民へ伝えたい情報の発信を行うための保守管理を行った。	防災ラジオ、登録制防災メール、yahoo!エリアメールに加え、LINEで情報を発信することにより、多角的な情報発信ツールの1つとなっている。
9-1-5	全国瞬時警報システム新型受信機整備事業		3,342	3,342	42	国 県 債 一 基 他	0 0 3,300 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	【事業費内訳】 Jアラート新型受信機への更新 3,342千円 【事業内容】 現用受信機が稼働開始から7年以上経過し老朽化していたほか、消防庁による当該機種管理ソフトウェアサポートが令和8年度内で終了することが決定し、全国の防災関係機関に対し機種更新が要請されたことから対応を行ったもの。	新型受信機への更新により、令和8年度から運用開始された新しい防災気象情報体系に基づく警報等の情報を市民等へ配信することが可能となったほか、24時間常時稼働を要する防災機器の安定的な運用が確保され、住民に対する緊急防災情報伝達体制の保持と強化が図られた。
9-1-5	道の駅等災害対応力強化支援事業		15,731	15,320	4,070	国 県 債 一 基 他	7,500 3,750 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 92 0 0 0 0	【事業費内訳】 消耗品(キッチンシステム使用にかかる消耗品) 92千円 キッチンシステム×2 15,228千円	新しい地方経済・生活環境創生交付金により、避難生活の質の向上を図ることを目的として、道の駅たかのす、コンベンションホール四季美館へ100人規模の食事の提供を可能とするキッチンシステムを整備した。 これにより、車中泊避難及び近隣の在宅避難者へ温かい食事を提供することができる。
9-1-5	県総合防災情報システム整備事業		12,050	10,394	94	国 県 債 一 基 他	0 0 10,300 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0	【事業費内訳】 負担金 10,394千円	現行システムはH27年度から運用されたシステムのため、老朽化という問題に加え、デジタル技術等を活用したシステムの充実・高度化を図る目的で更新するものである。 秋田県が発注し、県内25市町村は負担金を納付する方法により事業を実施。R7、R8の2カ年で整備し、R9から運用開始予定。

10-1-2	外国青年招致事業		31,306	30,664	30,664	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 210 0 0 0 0 725 29,729	小・中学校及び義務教育学校の外国語・外国語活動の授業の充実を図るため、ALT（外国語指導助手）及びALTコーディネーターを配置した。なお、ALTは授業の補助を行い、ALTコーディネーターは、教員やALTへの指導助言を行う等、外国語に関わる活動が円滑に進むよう支援に取り組んだ。	小学校・義務教育学校前期課程の外国語・外国語活動の全ての授業にALTを配置することにより、学級担任が安心して授業を計画し、実践することができた。 外国人であるALTと英会話でのコミュニケーションをとる経験が児童生徒にとって大きな自信となり、外国語の学習に対する意欲を高め、外国語を学ぶ楽しさへとつながった。 【配置人数】 ALT 6人 ALTコーディネーター 1人
10-1-3	教育センター事業		2,171	1,637	1,637	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	166 192 466 26 787 0 0 0	第2次北秋田市学校教育ビジョンの基本理念のもと、「ふるさとを愛し、未来社会を切り拓く子ども」の育成を目指し、教職員の資質向上に向けて調査、研修を行った。 今年度は13の研究授業と一つの研修会を実施した。また、所員発表会では3名が実践発表を行った。実技研修会には18名が参加し、図画工作・美術の指導法を学んだ。 【委託内訳】 学力検査委託 566千円 知能検査委託 221千円 計 787千円	学力調査等の実施により、児童生徒の実態を把握し、授業改善や回復指導につなげることができた。 各部会の研修会では、教職員のニーズに応える内容を充実させ、実践や情報の共有を図ることができた。 アンケートでは、授業研究会や研修会の実施について「満足・やや満足」という回答がほぼ100%だった。
10-1-3	不登校児童生徒対策事業		3,032	2,917	2,440	国 県 債 一 基 他	0 477 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 74 35 36 0 0 0 2,772	不登校児童生徒や体調不良等により長期欠席している児童生徒、及びその保護者に対し、学校や関係機関と連携しながら登校に向けた指導・支援を行った。 校内教育支援センター支援員を森吉中学校に1名配置し、校内教育支援センターにおいて、生徒の支援を行った。 【内訳】 適応指導教室指導員人件費 1,759千円 校内教育支援センター支援員人件費 1,086千円 計 2,845千円	(さわやか教室) 4月当初は3名の在籍だったが、途中で1名が退級（学校復帰）、5名が新たに入級した。児童生徒の在籍校や関係機関と連携しながら、その保護者などへの総合的な支援も行い、学校復帰や高校進学に成果を上げることができた。 (校内教育支援センター) 教員と連携した学習支援や生活支援を行い、支援対象の3名が高校へ進学した。 【さわやか教室入級者】8名 【校内教育支援センター支援生徒】3名

10-1-5	学校生活サポート員 配置事業		84,090	84,006	84,006	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 2,466 0 0 0 0 0 0 81,540	特別な教育支援を必要とする児童生徒（209人）が在籍している学校（10校）に対し、学校生活サポート員33名を配置して学校生活全般にわたって対象児童生徒の支援を行った。 【内訳】 人件費 83,992千円 研修会旅費 14千円 計 84,006千円	学校生活サポート員を配置することにより、対象児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができた。また、それによって周囲の児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができ、担任の負担が軽減され、充実した学級経営や授業づくりにつながった。そのことで、学校教育活動全体における教育効果を高めることができた。
10-1-5	総合学習補助金事業		770	710	710	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 710 0	各学校が特色ある教育活動として行う社会体験や体験活動に対し、補助を行った。 市内小中学校及び義務教育学校全10校に対し、各校一律ではなく、活動内容に応じた金額を補助した。	従来の学習活動の見直しや、新たな活動の開始によって、活動に充実が図られ、地域の良さの発見、愛着心の醸成、ふるさとに生きる意欲の喚起につながった。
10-1-5	児童生徒大会派遣費 補助事業		6,235	5,237	5,237	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 5,237 0	市内小・中学校及び義務教育学校の児童生徒が出場した全県大会以上の大会について、出場した全県大会以上の大会について、出場に要した児童生徒及び引率教員の交通費、宿泊費、大会参加費等の一部を補助した。	上位大会出場を目標とした活動に支援をすることで、児童生徒のやる気を促すとともに、大会へ出場した児童生徒の保護者等の負担軽減を図ることができた。 【交付件数】 全県大会 53件 東北大会 10件 全国大会 5件

10-1-5	部活動指導員配置事業		1,718	1,417	555	国 県 債 一 基 他	0 862 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 140 0 0 0 0 0 1,277	市内中学校3校の運動部活動に対して、当該競技に精通した部活動指導員を5名配置して大会への引率や部活動の指導を行った。 【配置人数】 鷹巣中学校 2名 (剣道部、女子卓球部) 森吉中学校 1名 (女子バスケットボール部) 合川中学校 2名 (剣道部、陸上競技部)	教職員の競技経験や指導経験、異動にとらわれず、専門的で安定した指導を行うことができた。また、部活動に携わる教職員の長時間勤務の要因の解消や当該競技の指導経験がない教職員の負担軽減が図られた。
10-1-5	中学校部活動地域移行事業		4,105	2,481	1,443	国 県 債 一 基 他	0 1,038 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	1,544 27 43 30 0 0 0 837	中学校部活動及び新たな地域クラブ検討委員会を開催するとともに、スポーツ競技団体や文化芸術団体と協議を重ね、部活動の地域展開の在り方やスケジュールについて検討した。	計3回の検討委員会と計30回の各スポーツ競技団体との個別の協議を通して、部活動地域展開完全実施時期を、事前計画の「令和14年度」から「令和11年度」へと上方修正するロードマップ案を作成することができた。
10-1-5	I C T支援員配置事業		3,496	3,190	3,190	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 211 0 0 0 0 0 0 2,979	GIGAスクール構想により児童生徒に対し1人1台の端末配置を行っており、これらの端末を効果的に活用するため、ICT分野に知見を有する支援員1名を雇用している。 支援員は、各学校を巡回しながら児童生徒への端末使用に関する支援のほか、教職員が使うICT機器の使用に関しても支援を行った。 <巡回対象>市立学校10校のうち、鷹巣小学校及び鷹巣中学校を除く5小学校、2中学校、1義務教育学校	児童生徒による操作及び教職員によるICT機器を活用した授業など、操作方法及び機器メンテナンスなど、学校ICT業務全般において学校を支援できている。 支援を通じて、教職員のICTを活用した指導力の向上及び児童生徒によるICT機器活用能力の育成が図られた。

10-1-5	幼保小連携事業		3,661	3,395	1,704	国 県 起 一 基 他	1,691 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 115 41 0 0 0 0 3,239	架け橋期コーディネーターを1名配置し、幼児教育推進体制の充実及び架け橋期の教育・保育の質の向上を図るための学校区における指導・助言、研修会等の企画・運営を行った。	年長児公開保育研究会を実施し、研修体制の構築や教育及び保育の改善に向けて教職員の理解促進が図られた。また、市共通版の架け橋期のカリキュラムを策定し、全学校区でカリキュラムが実践された。モデル学校区においては、幼児教育から学校教育への円滑な接続に向けて、園と学校の関係者が連携して取り組み、モデル学校区の架け橋期のカリキュラムを策定した。
10-1-7	あきたリフレッシュ学園事業		15,233	13,607	12,874	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 733	報 旅 需 役 委 工 負 他	155 970 2,822 331 565 0 0 8,764	本事業では通園により不登校児童生徒の個に応じた学習活動と特色ある体験活動を提供し、心身のリフレッシュ及びエネルギーの回復を図ることにより、社会活動復帰への足掛かりを目指すとともに、対象に最長4週間の宿泊を行う「北秋田みらい応援留学」等を実施した。また、交流人口の拡大を図るため県外児童生徒を対象に、短期チャレンジ留学事業を実施した。	リフレッシュ学園の利用数は、登録者2名の実績が8割以上を占めている。利用者の社会との関わりを絶やさない目的は達成できたが、潜在的需要を満たすため、更なる周知が必要である。 また、短期チャレンジ留学事業においては、市内児童生徒と自然や学校活動の中で交流を深めたことで、将来の交流人口拡大に繋がると考えている。 【リフレッシュ学園利用人数】 登録人数12人 延べ人数286人 【みらい応援・短期チャレンジ利用人数】 みらい3人 短期22人
10-1-8	スクールバス運行事業		125,741	109,889	109,889	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 30 0 109,859 0 0 0	公共交通機関を利用することができない遠距離通学者に対し、安全・安心な通学手段を確保するため、スクールバス及びスクールタクシー運行事業を実施した。 【実績】 市有スクールバス 12路線 借上スクールバス 3路線 スクールタクシー 6路線 【対象】 児童200人 生徒125人	遠距離通学者の登下校における交通手段としてスクールバス等を運行することで、通学に係る保護者負担軽減を図ることができた。 また、併せて児童生徒の通学時の安全・安心を確保することにもつなげることができた。

10-1-9	ICT学習環境整備事業		62,330	62,329	44,069	国 県 債 一 基 他	18,260 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 62,329	GIGAスクール構想に基づきICTを活用した学習環境を整備している。令和7年度は市内小学校のうち電子黒板未整備であった5小学校に対し、合計44台の電子黒板を整備した。 【実績】 鷹巣小 17台 鷹巣東小 3台 綴子小 11台 清鷹小 4台 合川小 9台	令和7年度における電子黒板整備事業により、市内全ての小学校において電子黒板を整備することができた。 これにより、教職員が授業の際に機器を活用することで、児童が視覚的に理解しやすい環境となった。
10-2-1	小学校施設維持・改善事業（単独事業）		11,233	10,549	10,549	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 10,549	小学校施設・設備の改修等を実施した。 【工事内訳】 エアコン移設工事（鷹巣小学校） 2,772千円 地下タンク内面FRPライニング工事（清鷹小学校） 4,605千円 その他工事 3,172千円 計 10,549千円	小学校施設・設備等を改修等実施したことにより、学校施設の維持管理に努めることができた。
10-2-1	小学校施設維持・改善事業（補助事業）		47,817	47,817	12,128	国 県 債 一 基 他	10,589 0 25,100 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,707 44,110 0 0 0	小学校特別教室等への空調設備設置工事を実施した。 【事業内訳】 空調設備工事（清鷹小学校） 28,710千円 空調設備工事（米内沢小学校） 15,400千円 空調設備工事設計業務委託 2件 3,707千円 計 47,817千円	小学校特別教室へ空調設備を設置することで、より快適に学校活動を行えるようになった。

10-2-2 10-3-2 10-4-2	校務支援システム整備事業		7,133	7,133	7,133	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 7,133	市内小・中学校及び義務教育学校において、ICTを活用した校務支援システムを運用し、児童生徒の基本情報、出欠及び成績、教育課程、指導要録・通知表作成並びに保健・健康に係る情報について一元的に管理し、効率的な学校事務処理に取り組んでいる。 【実績】 小学校 3,903千円 中学校 1,935千円 義務教育学校 1,295千円 計 7,133千円	教職員の事務作業の効率化及び負担軽減につながった。それにより教職員が児童生徒と向き合う時間を確保することができ、学習指導等の教育活動の充実を図ることができた。 また、児童生徒に関するデータをシステムで共有することができるため、教職員全体でのきめ細かい指導や見守りにつなげることができた。
10-2-3 10-3-3 10-4-3	学校備品整備事業		4,992	4,737	4,075	国 県 起 一 基 他	0 662 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 4,737	児童生徒の学習意欲と教科や学級活動の充実を図るため、授業等で使用する教材備品及び図書の整備を行った。 【内訳】 教材備品 3,043千円 学校図書 1,694千円 計 4,737千円	各教科等で使用する教材備品及び図書を購入することにより、児童生徒の学習意欲と教科や学級活動の充実を図ることができた。
10-2-3 10-3-3 10-4-3	要保護児童生徒援助費及び特別支援教育就学奨励費		267	262	130	国 県 債 一 基 他	132 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 262	義務教育の円滑な実施に資するため、教育の機会均等の趣旨に基づき、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒に対し、学用品費、通学用品費、修学旅行費、医療費、通学費等、区分に応じた援助を行った。	(要保護) 生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に修学旅行費等を援助し、就学を支援することができた。 (特別支援) 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に学用品費を援助し、就学を支援することができた。 【認定者】 要保護 小学校4人 中学校2人 特 支 小学校17人 中学校8人 義務教育学校2人

10-2-3 10-3-3 10-4-3	準要保護児童生徒援助費		8,174	7,910	7,910	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 7,910	義務教育の円滑な実施に資するため、教育の機会均等の趣旨に基づき、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒に対し、学用品費、通学用品費、修学旅行費、医療費等の援助を行った。	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等を援助することにより、当該児童生徒の就学を支援することができた。 【認定者】 準要保護 小学校98人 中学校60人 義務教育学校16人
10-3-1	中学校施設維持・改善事業(単独事業)		3,421	2,626	2,626	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 2,626 0 0	中学校施設・設備の改修を実施した。 【工事内訳】 LEDランプ交換工事(合川中学校) 1,221千円 その他工事 1,405千円 計 2,626千円	合川中学校ランチルームの照明をLED化することで、エネルギーの効率化を図るとともに、ハロゲンランプ生産中止による供給問題を解決できた。 そのほか改修等実施したことにより、学校施設の維持管理に努めることができた。
10-3-1	鷹巣中学校第一体育館改築事業		33,633	33,633	33	国 県 債 一 基 他	0 0 33,600 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 33,633 0 0 0	鷹巣中学校体育館建築工事の実施設計及び地質調査等を実施した。 【事業内訳】 鷹巣中体育館改築工事設計業務委託 24,200千円 地質調査業務委託(鷹巣中学校) 8,690千円 その他委託 743千円 計 33,633千円	R8から3箇年で実施する鷹巣中学校体育館の実施設計等を完了した。

10-4-1	義務教育学校施設維持・改善事業(単独事業)		2,923	2,901	2,901	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 2,901 0 0 0	阿仁学園が受けた大雨被害の清掃・除菌作業等を実施した。 【事業内訳】 床下カビ除去等業務委託1,848千円 その他委託1,053千円 計2,901千円	大雨で床下に入り込んだ泥水を除去及び湿気対策を行い、校内湿度の改善をすることができた。
10-4-1	義務教育学校施設維持・改善事業(単独事業)	○	245,082	243,942	12,342	国 県 債 一 基 他	0 0 231,600 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 4,158 239,784 0 0	阿仁学園敷地内における駐車場等整備及び旧阿仁中学校舎の解体を実施した。 【事業内訳】 阿仁学園駐車場等改修工事73,171千円 旧阿仁中学校舎解体工事166,613千円 その他4,158千円 計243,942千円	阿仁学園敷地内の駐車場を整備し、校舎前が速やかに排水され安全に登下校できるようになった。 また、旧阿仁中学校舎を解体し駐車場を整備することにより、旧体育館を地域の運動施設として活用する為の環境を整備することができた。
10-5-1	文化財保護事業		11,134	10,481	10,481	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 6 422 17 4,127 4,956 469 484	指定文化財の適正な保存管理を行ったほか、新たな説明板の設置や現状確認を順次実施した。 また、市文化財保護審議会を年2回開催した。	指定文化財について、新たな説明板の設置や現状確認を順次実施したことで、適切な保存管理につながった。 また、市文化財保護審議会において、事業実施内容等について審議を行い、専門的見地からの助言により、文化財の適正な保存管理を推進することができた。

10-5-1	新成人事業		992	849	849	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	443 0 131 85 190 0 0 0	市内在住者及び市内中学校と大館国際情報学院 中学校の卒業者を対象に、8月15日文化会館にお いて「二十歳の集い」を開催した。会場参加でき ない対象者や家族のために、対象者限定のオンラ イン配信・アーカイブ配信を行った。 【実績】対象者 243人 会場参加者数 168人 オンライン配信 5回 アーカイブ配信 76回	二十歳の集い該当者で組織する実行委員会を 設けて、対象者が主体的な運営を図ることがで きた。 記念講演では、「内陸線がつくる地域の未 来」と題し、秋田内陸縦貫鉄道株式会社前代表 取締役社長の吉田裕幸氏の講話により、二十歳 を迎えた方々にエールを送り門出を祝福するこ とができた。
10-5-1	日本語教室開催事業		640	423	423	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	351 63 9 0 0 0 0 0	主に外国人配偶者や仕事のために北秋田市内に 住んでいる技能実習生、市内小中学校ALT等を対 象に、日本語の読み書きや日常会話習得、検定合 格等を目標に教室を開催した。 【実施概要】 北秋田市日本語教室 講師:1人 指導員:2人 年間42回実施(延べ184人受講)	市内に定住している外国人が日常生活を送る ために必要な日本語の習得のほか、資格取得の ための学習にも活用されている。 受講生が、講師や仲間と交流することで、地 域におけるコミュニケーションのきっかけを創 出することができた。
10-5-1	高齢者教育事業		696	523	523	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	361 34 35 93 0 0 0 0 0	市内4地区(鷹巣、合川、森吉、阿仁)におい て、高齢者大学の入学・開講式、全体講座や移動 講座等を開催し、受講生309人が学び交流した。 【受講者数】 高鷹大学(鷹巣) 144人 合川ことぶき大学 63人 森吉大学 64人 阿仁生き活き大学 38人 計 309人	各地区の課題に沿った全体講座や移動講座、 クラブ活動などを実施し、心身共に健康で豊か な教養を育んだほか、仲間との交流により新た な生きがいを創出することができた。また、運 営委員会とクラブ活動を開催し、受講生個々の 主体性を引き出し運営を行ったほか、市内4高 齢者大学が一堂に集まり、合同講座を開催する ことができた。

10-5-1	青少年育成事業		557	546	546	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	10 8 0 0 0 0 220 308	市内小中高等学校でのあいさつ運動(5月～9月:計10回)、街頭啓発活動、青少年問題協議会研修会(6月23日講師:高橋秀一氏)、子どもたちの伝承芸能合同発表会(11月15日)などの活動を実施した。	青少年がその誇りと責任についての自覚を高めるための活動、非行・事故防止と社会環境の浄化を図るための活動、青少年の健全育成を図るための地域組織活動の推進などにつなげることができた。
10-5-1	国立市文化交流事業		1,545	1,332	707	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 625	報 旅 需 役 委 工 負 他	284 72 334 11 187 0 0 444	「マタギの地恵体験学習会」を7月25日から7月27日で実施した。 【参加者】 北秋田市児童 12人 国立市児童 15人 計 27人	国立市と北秋田市の児童が、植林体験(農林課事業)やテント泊・きりたんぼ作り(にわとり解体)・釣り体験などを通して、自然やマタギ文化に触れながら交流を深めることができた。
10-5-2	世界文化遺産保存活用管理事業		1,248	918	918	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 165 0 0 0 507 0 246 0	4道県14市町と連携した「縄文遺跡群世界遺産協議会」を開催し、ユネスコへの経過観察年次報告等の保存管理を行った。 【事業内容】 本部会議の開催 1回(書面決議) 協議会の開催 2回(オンライン) 専門家委員会の開催 2回	包括的保存管理計画の適切な運用や来訪者動向調査などを実施し、関係道県が一体となって世界遺産の保存・活用に向けた取り組みを着実に推進することができた。 また、世界遺産の保存・活用に向けた取り組みを着実に推進し、遺産価値の継承と来訪者受入環境の充実が図られた。

10-5-2	伊勢堂岱遺跡管理事業		24,072	21,938	19,989	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 1,949	報 旅 需 役 委 工 負 他	1,480 646 3,863 352 4,841 448 70 10,238	伊勢堂岱遺跡の価値を保存し、安全な公開環境を提供した。 また、教育普及・情報発信の拠点となる伊勢堂岱縄文館の適切な維持管理を行った。 【実績】 入館者数 10,517人	ボランティアガイド（ワーキンググループ及びジュニアボランティアガイド）と連携し、史跡の価値や魅力を広く発信することができた。 また、各種イベントや普及啓発事業など多様な取り組みを実施し、来訪者の理解促進と地域への関心向上を図ることができた。
10-5-2	伊勢堂岱遺跡第Ⅱ期整備事業		41,923	41,492	20,809	国 県 債 一 基 他	20,194 0 0 0 0 489	報 旅 需 役 委 工 負 他	532 1,078 31 0 7,544 32,307 0 0	世界遺産登録後に史跡を取り巻く環境に変化があり、新たな課題に対応するため、史跡整備を実施した。 【事業内容】 整備検討委員会の開催 2回 環状列石保存調査 園路舗装工事(2年目)	史跡内の園路整備及び未公開地区の立木伐採を行うとともに、関係機関や大学の協力を得ながら環状列石の保存処理を実施したことで、来訪者に快適な見学環境を提供するとともに、継続的な保存管理に向けた基盤を整えることができた。
10-5-2	縄文まつり開催事業		2,000	1,750	750	国 県 債 一 基 他	0 1,000 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 1,750 0	実行委員会に助成し、伊勢堂岱遺跡や縄文文化を広く情報発信するために第23回縄文まつりを開催した。 【実績】 来場者数 1,412人	市の助成と秋田県の補助事業を活用し、秋田内陸縦貫鉄道や市内外の団体と連携して新規の体験プログラムを実施するなど、実行委員会による工夫を凝らした取り組みにより、雨天にもかかわらず多くの来場者を迎え、縄文文化と伊勢堂岱遺跡の魅力を伝えることができた。

10-5-2	文化芸術活動等補助金		2,475	2,340	2,340	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 2,340 0	北秋田市の文化芸術振興に資する各団体に対し、補助金を交付し活動支援を行った。 【内訳】 ・北秋田市芸術文化協会 405千円 ・もりよし文化交流会 実行委員会 90千円 ・合川芸文祭実行委員会 90千円 ・阿仁文化交流の集い 実行委員会 90千円 ・北秋田市文化祭実行委員会 1,665千円	市内各地区の団体に補助金を交付することで、作品展示・発表・鑑賞の機会を設けることができ、地域の文化芸術の振興と活性化につなげることができた。 【実績】 ・もりよし文化交流会（森吉公民館11/16～28） ・合川芸文祭（合川公民館7/13） ・阿仁文化交流のつどい（阿仁公民館 11/8～9） ・北秋田市文化祭 （コムコム 文化会館 10/25～27）
10-5-2	浜辺の歌音楽館管理事業		10,870	10,040	9,758	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 282	報 旅 需 役 委 工 負 他	162 87 3,272 221 1,917 0 7 4,374	浜辺の歌音楽館の適切な運営及び維持管理を行った。 また、各種コンサートや特別展の開催、オリジナルグッズの制作を行った。 【内訳】 ・メディアプレイヤー等修繕 ・各種コンサートの開催 ・音楽館特別展の開催 ・グッズ制作	成田為三の顕彰施設として、音楽・歴史資料の特別展示を開催したほか、各種コンサート等を実施し来館者の増加につなげた。また、必要な修繕及び適切な施設運営を行い、来館者の利便性向上に努めた。 【実績】 ・館内修繕 1,009千円 ・通常来館者数 850人 ・イベント来館者数 936人
10-5-3	公民館管理事業		37,673	36,796	36,237	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 559	報 旅 需 役 委 工 負 他	11,267 449 2,519 588 11,307 151 91 10,424	坊沢・栄・前田公民館において、市民が定期講座や自主サークル活動で、快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。 【年間利用者数】（前年比） 坊沢 5,577人（98.2%） 栄 3,941人（106.6%） 前田 4,464人（120.8%）	坊沢・栄・前田公民館について、適切な維持管理を行ったことで市民が安心して利用することができた。

10-5-3	農林業振興センター 管理事業		29,965	29,668	28,981	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 687	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 4,077 808 16,208 8,428 0 147	七座・綴子・沢口・七日市公民館において、市民が定期講座や自主サークル活動で、快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。 【年間利用者数】(前年比) 七座 947人 (132.1%) 綴子 8,335人 (123.7%) 沢口 4,274人 (97.9%) 七日市 5,602人 (102.6%)	七座・綴子・沢口・七日市公民館の適切な維持管理を行ったことで市民が安心して利用することができた。
10-5-3	合川公民館管理事業		12,071	11,770	11,004	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 766	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 5,272 440 5,416 0 0 642	地域の拠点として、サークル活動や会議、イベント等の貸館利用者のほか、キッズコーナーや図書室利用の自由来館者が快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。 【年間利用者数】(前年比) 貸館 18,696人 (100.7%) 自由来館 27,384人 計 46,080人	適切な維持管理を行ったことで、利用者が安心して利用することができ、利用促進につながった。
10-5-3	コミュニティセンター 管理事業		16,043	15,314	14,621	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 693	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 7,159 273 5,895 1,529 0 458	コミュニティセンターを市民が安心・安全に利用できるよう、施設の維持管理を行った。また、不具合のあった1・2階女子トイレをウォシュレット付便器への取替工事、常時閉鎖扉、非常階段ドアノブ交換工事を実施した。 【年間利用者数】(前年比) 13,592人 (105.2%)	施設の適切な維持管理を行ったことにより、市民の安心・安全な利用と利便性、快適性の向上が図られた。

10-5-3	ふるさと文化センター管理事業		12,572	12,316	12,122	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 194	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 5,531 276 4,949 0 0 1,560	市民が安心安全に利用できるよう、ふるさと文化センターと図書室の維持管理を行った。 【実績】(前年比) 年間利用者数 6,555人 (88.08%) 【修繕】 阿仁ふるさと文化センター壁掛型非常用放送設備改修 1,540千円 【その他】 照明設備LED化事業(5か年) 1,076千円	施設の適切な維持管理を行ったことにより、市民が安心して利用することができた。
10-5-3	公民館講座開設事業		3,019	2,269	2,269	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	1,604 288 295 82 0 0 0 0 0	各公民館及び北秋田市民ふれあいプラザにおいて、生涯学習の推進のため各種講座を開催した。 【講座数・受講者数】 R7 前年 鷹巣 33件(1,930人) 24件(1,929人) 合川 25件(954人) 34件(971人) 森吉 13件(628人) 9件(638人) 阿仁 8件(394人) 11件(417人) 計 79件(3,906人) 78件(3,955人)	新たな趣味や生きがいづくりのきっかけを提供し、集団学習をすることで仲間づくりにつながっている。 また、その成果を文化祭(展示)や生涯学習フェスタ等で発表することで、生涯学習に対する意識の向上につながった。
10-5-3	花いっぱい運動推進事業		324	176	176	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 176 0	「めざせ!花と笑顔いっぱいの北秋田市」をスローガンに、市の花あじさいの普及、北秋田市花いっぱい運動推進協議会主催の花だんコンクールを開催し表彰式を行った。 【市花だんコンクール表彰】 13団体4個人 【県花だんコンクール表彰】 4団体1個人	市花だんコンクールの開催や花育活動を通して、美しいまちづくりと地域づくりへの啓蒙活動を推進と、市の花あじさい植栽普及などの環境美化運動を推進することができた。

10-5-3	図書館事業		23,065	22,394	22,387	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 7	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 244 1,802 234 1,787 0 66 18,261	図書館を市民が快適に利用できるよう維持管理し、読書推進イベントを実施した。 【来館者数/貸出点数】 鷹巣図書館: 27,748人/32,630点 森吉図書館: 2,117人/ 4,415点 【園児の図書館体験デー】 年長児参加人数 89人 【市コンクール応募点数】 読書感想文 45点 読書感想画 314点	図書オンライン予約の開始を含めた図書館サービス提供及び維持管理に勤め、市民に学びの場を提供することができた。 また、読書推進イベント「図書館体験デー」、「きたあきた読書まつり」、「感想文画コンクール」、「本の交換会」により学びの機会と発表の場を提供することができた。
10-5-3	森吉コミュニティセンター改築事業		15,426	14,179	14,179	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 14 7 9 13,753 0 0 396	森吉コミュニティセンター改築に係る検討委員会を開催した。 【開催回数/委員数】 4回/19名 基本設計委託業務を実施した。	森吉コミュニティセンターは、鉄筋コンクリート造2階建（建築基準法）、延床面積1,698㎡、昭和56年7月建築の44年が経過した建物である。このことから森吉コミュニティセンターの改築事業に着手すると共に、検討委員会を設置し地域住民の意見や要望等の集約を行い、公民館施設の機能の充実と地域住民の利利用の促進を図る。
10-5-4	文化会館管理事業 (改修事業含)		198,770	194,592	44,674	国 県 債 一 基 他	0 0 148,200 0 0 1,718	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 97 15,355 266 25,696 146,867 38 6,273	文化会館の適切な運営及び修繕、施設改修工事を実施した。 【内訳】 ・外壁改修工事 135,740千円 ・LED照明取替工事 9,955千円 ・エアハンドリングユニット 自動制御器交換工事 880千円 ・EV用コンセント設置工事292千円 ・施設運営に係る委託 25,696千円	文化会館の機能維持及び環境改善を行うことで、市民の安全性・利便性を確保するとともに、文化芸術の振興を図ることができた。 【実績】 音楽芸能等 10,099人 会議講演等 4,760人 その他 2,283人 計 17,142人

10-5-4	文化会館自主事業		7,000	6,629	3,552	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 3,077	報 旅 需 役 委 工 負 他	120 0 936 8 5,564 0 0 1	文化芸術の振興を図るために自主事業を実施した。 【内訳】 ・昭和歌謡コンサート(共催) ・野村萬斎「狂言の会」 ・ファルコン民謡祭 ・海上自衛隊大湊音楽隊演奏会 ・トップダンサーズドリームライブ	文化会館において、様々な公演を開催し、市民に身近な文化芸術鑑賞の機会を提供するとともに、地域の文化振興を図ることができた。 【実績】 ・昭和歌謡コンサート(共催) 400人 ・野村萬斎「狂言の会」 585人 ・ファルコン民謡祭 484人 ・海上自衛隊大湊音楽隊演奏会(昼夜2回公演) 1,201人 ・トップダンサーズドリームライブ 187人
10-5-4	交流センター管理事業		17,912	16,810	15,037	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 1,773	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 4,285 368 11,563 460 0 134	交流センターの適切な運営及び修繕、工事を実施した。 【内訳】 ・高圧コンデンサ更新 460千円 ・屋内消火栓更新 116千円 ・小破修繕等 227千円	施設を安心安全に利用できる環境整備を行い、地域団体・企業などの学び・交流の場を提供することができた。また、災害時の避難所となっていることから、緊急時にも対応できるように努めた。 【実績】 音楽芸能等 378人 会議講演等 9,317人 その他 17,381人 計 27,076人
10-5-5	北秋田市民ふれあいプラザ管理事業		52,890	49,928	46,242	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 3,686	報 旅 需 役 委 工 負 他	97 348 21,391 480 14,548 0 0 13,064	定期講座開設や自主サークル活動のほか、イベント利用者や自由来館者が快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。 【年間利用者数】(前年比) 78,570人 (110.4%) ねまーる広場 【自由来館】(前年比) 3,229人 (95%) 【一時預かり】(前年比) 12人 (42%)	施設の適切な維持管理に努め、市民が快適に利用できる環境を提供することができた。 平成28年のオープンから本年度末までの来館者累計が2,521,020人となり、地域の拠点施設としての役割を果たすことができた。 ねまーる広場は、保護者の情報交換や子育て世代の相談の場として利用促進が図られた。

10-5-6	文化財収蔵庫管理事業		1,219	1,080	1,080	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 372 8 700 0 0 0	文化財収蔵庫において、収蔵する民具等の整理作業を計画的に進めるとともに、収蔵環境の点検を実施した。	市文化財保護団体連絡協議会と連携・協力しながら、収蔵する民具等の整理作業を計画的に進めたことで、収蔵品の適切な保存管理につながった。 また、一部の民具について、イベントの開催に合わせて展示を行い、市民に広く公開する機会を設けたことで、地域の貴重な民俗文化に対する理解促進を推進することができた。
10-5-6	伝承館管理事業		5,291	5,019	5,019	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 1,385 157 3,410 0 7 60	阿仁郷土文化保存伝承館及び旧阿仁鉱山外国人官舎（異人館）の適正な維持管理と安全で快適な見学環境のため、施設の保守点検、収蔵資料の保存・管理、運営等を計画的に実施した。 【実績】 来場者数 3,161人	施設の計画的な維持管理により、施設及び収蔵資料の適正な保存管理により、来館者へ安全・快適に利用できる環境を提供できた。 また、学校教育との連携を図ることで、郷土の歴史・文化への理解促進に寄与し、地域文化の継承と教育普及活動の拠点としての役割を着実に果たすことができた。
10-5-6	陶芸ハウス管理事業		4,077	3,723	3,648	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 75	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 150 0 450 766 0 2,357	陶芸ハウスを市民が安心して利用できるよう施設の維持管理を行った。 保育園児の陶芸体験に取り組んだ。 【年間利用者数】(前年比) 講座 0人 (0%) 自主 235人 (83.6%) 計 235人 (68.3%)	施設の適切な維持管理を行ったことにより、市民が安心して利用できる環境を提供することができた。

10-5-6	あいターミナル管理 事業		1,362	1,215	1,002	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 213	報 旅 需 役 委 工 負 他	47 1 453 101 613 0 0 0	あいターミナルを市民が安心して利用できるよ う、施設の維持管理を行ったほか、パソコンの定 期講座を実施した。 【年間利用者数】(前年比) 講座 161人 (128.8%) 貸館 0人 (0%) 計 161人 (76.7%)	施設の適切な維持管理を行ったことにより、 市民が安心して利用できる環境を提供すること ができた。
10-5-7	子ども会育成支援事 業		1,350	1,350	1,350	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 1,350 0	北秋田市子ども会育成連合会へ補助金を交付し た。 子ども会団体数 34団体 会員数(18歳未満) 562人	子ども会活動を継続し行うことで学年、学校 を超えた交流が生まれ、子どもたちの心身の健 全育成につながった。 地域行事に参加し世代間交流ができたほか、 様々な体験からふるさとの良さを知る活動につ ながることができた。 また、子どもたち同士の交流や親子参加型の 事業実施につながった。
10-5-7	放課後子ども教室事 業		1,533	1,430	562	国 県 起 一 基 他	428 428 0 0 0 12	報 旅 需 役 委 工 負 他	1,246 3 147 34 0 0 0 0 0	地域の大人の参画により、市内5地区で放課後 子ども教室を開催し、放課後などの体験交流活動 と地域交流などを行った。 【回数／参加児童数】(前年比) 48回／1,668人(84%)	学校では体験できない自然体験、工作や実験 など多様な体験活動を実施したことで創造性と 協調性を学ぶ機会につながった。 また、地域住民との交流活動を行い、地域全 体で子どもたちの成長を支える機会を提供する ことができた。

10-5-7	地域学校協働活動推進事業		529	391	132	国 県 債 一 基 他	129 130 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	127 41 88 135 0 0 0 0	市内全校に学校運営協議会が導入され、地域学校協働活動推進員が委嘱されている。地域学校協働活動推進員のネットワーク会議を開催し、推進員の好事例活動を報告し情報共有を図った。東京都健康長寿医療センター研究所と連携しSOSの出し方授業を市内5校で実施した。(鷹巣中、鷹巣小、鷹巣東小、綴子小、米内沢小)	各校の地域学校協働活動推進員が、地域と学校が一体となって子どもの成長を支えていくためのパイプ役として活動することができた。研修会では、他地域の事例から協働活動の意義や地域と学校それぞれに期待される役割などについて学ぶことができた。
10-5-7	家庭教育支援推進事業		623	568	251	国 県 債 一 基 他	158 159 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	410 103 48 7 0 0 0 0	教員、保育士、助産師、保健師、民生児童委員等を経験した地域の多様な人材で構成する「家庭教育支援チーム」が、子育て世代を対象とした講座や親子ふれあいサロンを実施し、必要に応じて相談対応を行った。 また、子育て世代と学校関係者等が家庭教育への理解を深めるため、保育園で親子学習会や家庭教育に関する講座を開催した。	親子の交流の機会を提供し、相談対応を行うことで、子育て関係者の悩みに寄り添い、家庭教育における必要な情報を提供することができた。 また、人権擁護教室で講師として朗読劇を行い、子どもと一緒に人権について話し合うなど子どもたちの心の発達支援と育成を図ることができた。
10-6-1	北秋田市スキー大会等補助事業		1,324	1,282	1,282	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 1,282 0	競技力向上及び冬季スポーツの普及に寄与するスキー大会の実施する団体へ補助を行った。 【補助金額】 北秋田市スキー大会 989千円 県民歩くスキーのつどい 293千円	スキー大会を通して冬季スポーツの普及、競技力向上及び市民の健康増進を図ることができた。 また、県民歩くスキーのつどいには市外からも多数の申込みがあり、交流人口の増加につながった。

10-6-1	100キロチャレンジ マラソン大会補助事 業		3,000	3,000	3,000	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,000 0	マラソンを通し、秋田内陸縦貫鉄道沿線地域の 活性化に寄与する大会を実施する団体へ補助を 行った。 【大会参加者】 100キロの部 665人 50キロの部 276人 大会ボランティア 2,000人	補助金により安定的かつ円滑な大会運営が行 われ、地域の活性化や交流人口の増加につな がった。
10-6-1	北秋田市スポーツ大 会出場費補助事業		4,097	3,181	3,181	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 3,181 0	全県大会規模以上の大会に出場する児童・生徒 へ、大会に係る交通費、宿泊費、参加費の一部に 対する補助を行った。 【補助の件数及び金額】 全県規模 14件 609千円 東北規模 8件 672千円 全国規模 16件 1,750千円 海外規模 3件 150千円	スポーツ大会に参加するための負担を軽減す ることで、積極的な大会参加につながった。
10-6-1	北秋田市スポーツ文 化合宿等誘致促進事 業		900	726	726	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 726 0	スポーツ及び文化活動に係る合宿を実施した団 体へ宿泊費の一部に対する補助を行った。 【補助の件数及び金額】 3団体 726千円 合宿参加者 113人 (剣道60人、7日間) (フェンシング25人、5日間) (スキー・スノーボード28人、4日間) 延べ宿泊人数 357人	県外からの合宿を誘致することで、地域経済 の活性化と交流人口の増加につながった。 また、合宿にあわせて県内中高生との合同練 習等も企画されるなど、地域の競技力向上にも つながった。

10-6-2	体育館維持補修事業	○	68,585	68,585	3,485	国 県 債 一 基 他	0 0 65,100 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 1,595 66,990 0 0	適切なスポーツ施設の維持管理と安全に利用していただくため、施設の解体等を行った。 【内容】(繰越) 阿仁体育館解体工事 66,990千円 阿仁体育館解体工事設計監理委託 242千円 阿仁体育館解体工事工事監理業務委託 1,353千円	旧阿仁体育館の解体工事を行ったことにより、適切なスポーツ施設の維持管理と利用者の安全安心な施設利用につながった。 体育館の使用人数 74,512人
10-6-3	陸上競技場維持管理事業		34,847	31,667	3,910	国 県 債 一 基 他	0 0 18,200 0 0 9,557	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 392 0 0 27,782 0 3,493	適切なスポーツ施設の維持管理と陸上競技の振興を図るために、第3種公認陸上競技場の更新工事等を行った。 【内容】 陸上競技場3種公認更新工事 27,782千円 第3種公認必要備品 3,493千円 第3種公認必要消耗品 392千円	鷹巣陸上競技場の整備を行い、第3種公認を得たことで、県大会やブロック大会など広域規模の公式陸上競技大会の開催が可能になった。 また、全天候型舗装により天候に左右されずに質の高い練習及び記録計測につながった。
10-6-4	学校給食センター設備・機材更新事業		0	11,363	11,363	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 11,363	老朽化した設備を更新した。 食器食缶洗浄機10,780千円、吊下げ型殺菌(3台)更新253千円、牛乳保冷库(鷹巣小学校)330千円。	設備の更新を行ったことで故障や事故を防止し、安全性や衛生水準が向上した。また、設備故障に伴う提供停止リスクが減少し、安定的な給食提供が図られた。

10-6-4	学校給食費無償化事業		0	91,561	91,561	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 91,110 0 0 0 451 0	市内に住所を有する市内小中学校及び義務教育学校の児童生徒の給食費を無償化したほか、市外に通学する児童生徒及びアレルギー等による長期非喫食者に対しては、市の基準により補助金を交付した。 【対象児童】873人、54,225,445円 【対象生徒】527人、36,884,540円 【合計】1,400人、91,109,985円 【給食費補助金】7人、450,453円	保護者の給食費負担がなくなることで、保護者の経済的負担の軽減と市の子育て環境の充実が図られた。
10-6-4	学校給食費物価高騰支援事業	○	0	9,692	6,918	国 県 債 一 基 他	2,774 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 9,692 0	国の物価高騰重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和6年度の学校給食費納入額に対し、1食当たり児童40円、生徒45円を保護者に交付した。 【対象児童・生徒】1,245人 【交付件数】1,243人分、9,691,750円	食材価格が上昇するなか、給食費の一部を補助することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
11-1-1	農業用施設災害復旧費（補助）		1,443,689	273,829	182,090	国 県 債 一 基 他	0 79,011 0 0 0 12,728	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 653 0 268,061 5,115 0 0	令和7年5月、8月、9月豪雨災害により被災した農地及び農業用施設の機能回復を図るため、査定設計、実施設計及び復旧工事を実施した。 【補助率】※5月災害 ・国 施設97.7%、農地87.4% ・受益者(農地)5%、(施設)2% 【補助率】（激甚）※8月、9月災害 ・国 施設96.9%、農地99.4% ・受益者(農地)2.5%、(施設)1% 【災害件数】 ・農地 54件 ・農業用施設 61件（うち1件が5月災害） 計115件 【工事完了】 全115件のうち1件 ※残り令和8年度へ繰越	被災した農地及び農業用施設の機能回復を図ることで、農業生産基盤の保全及び安定した営農環境の確保につながった。

11-1-1	農業用施設災害復旧費(補助)	○	437,910	232,802	△ 763	国 県 債 一 基 他	0 231,948 1,200 0 0 417	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 232,802 0 0	令和6年7月豪雨災害により被災した農地及び農業用施設の機能回復を図るため、繰越事業として復旧工事を実施した。 【補助率】(激甚) ・国 施設96.9%、農地99.4% ・受益者(農地)2.5%、(施設)1% 【災害件数】 ・農地 18件 ・農業用施設 21件 計37件 【工事完了】 全37件のうち35件 ※残り令和8年度へ繰越	被災した農地及び農業用施設の機能回復を図ることで、農業生産基盤の保全及び安定した営農環境の確保につながった。
11-1-1	農業用施設災害復旧費(単独)		9,275	7,944	7,013	国 県 起 一 基 他	0 0 0 0 0 931	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 402 6,611 931 0	豪雨災害により被災した農地及び農業用施設の機能回復を図るため、補助対象外施設の復旧を実施するとともに、県営災害復旧事業に係る市負担金の支払い及び災害復旧業務に必要なシステム保守委託を実施した。	農地及び農業用施設の機能回復並びに災害復旧事業の円滑な推進が図られた。
11-1-2	林業施設災害復旧費(補助)		326,589	53,174	40,315	国 県 債 一 基 他	0 12,859 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 53,174 0 0 0	令和7年8月、9月豪雨災害により被災した林道施設の機能回復を図るため、査定設計及び復旧工事の発注を実施した。 【補助率】(激甚) ・国 奥地99.0%、その他93.9% 【災害箇所】3路線9箇所 ※全箇所、令和8年度へ繰越	復旧に必要な設計及び工事発注を行い、被災した林道施設の早期復旧に向けた事業の推進が図られた。

11-1-2	林業施設災害復旧費 (補助)	○	312,266	93,390	297	国 県 債 一 基 他	0 91,093 2,000 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 42,099 51,291 0 0	令和6年7月豪雨災害により被災した林道施設の機能回復を図るため、繰越事業として復旧工事の発注を実施した。 【補助率】(激甚) ・国 奥地99.3%、その他93.9% 【災害箇所】7路線21箇所 【工事完了】5路線5箇所 ※残り令和8年度へ繰越	被災した林道施設の復旧により、林道機能の回復及び森林整備に必要な通行機能の確保が図られた。
11-1-2	林業施設災害復旧費 (補助) 【事故】	○	11,300	16,059	307	国 県 債 一 基 他	0 15,452 300 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 16,059 0 0	令和5年7月豪雨災害により被災した林道施設の機能回復を図るため、繰越事業として復旧工事の発注を実施した 【補助率】 ・国 奥地96.3%、その他90.6% 【災害箇所】3箇所3路線 【工事完了】3箇所3路線	被災した林道施設の復旧により、林道機能の回復及び森林整備に必要な通行機能の確保が図られた。
11-1-2	林業施設災害復旧費 (単独)		36,093	35,981	29,681	国 県 債 一 基 他	0 0 6,300 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 4,213 0 31,768	補助対象外となる被災林道施設の機能回復を図るため、機械借上げ、原材料支給及び単独工事による復旧を実施した。	補助対象外被災箇所の早期復旧により、林道の通行機能の確保及び適切な森林管理の推進につながった。

11-2-1	公共土木施設災害復旧【現年度分】		110,140	110,140	89,140	国 県 債 一 基 他	21,000 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 821 0 109,319 0 0 0	令和7年8月及び9月の豪雨により被災した河川及び道路の災害査定対応のため測量設計業務委託を実施した。 【事業内訳】 測量設計委託 8件 109,319千円	河川災害4件、道路災害16件は繰越、道路災害3件は過年災として復旧工事を進めている。
11-2-1	公共土木施設災害復旧【過年度分】		113,437	113,383	13,185	国 県 債 一 基 他	74,498 0 25,700 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 113,383 0 0	令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した河川及び道路の災害復旧工事を実施した。 【事業内訳】 河川災害復旧工事 1件 35,904千円 道路災害復旧工事 5件 77,479千円	河川災害1件、道路災害5件の復旧工事が完成し、施設の機能回復が図られた。
11-2-1	公共土木施設災害復旧【単独分】		151,324	151,324	12,236	国 県 起 一 基 他	0 35,820 103,268 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 3,411 0 0 146,535 0 1,378	令和7年8月及び9月の豪雨により被災した河川及び道路のうち補助採択基準に満たない分を単独費にて復旧工事を実施した。 【事業内訳】 河川災害復旧工事 11件 24,692千円 道路災害復旧工事 57件 50,204千円 局所がけ対策工事 1件 71,639千円	河川災害16件のうち11件、道路災害65件のうち57件が完成し、施設の機能回復が図られた。残箇所の河川5件及び道路8件は、繰越にて復旧工事を進めている。

11-2-1	公共土木施設災害復旧【現年度分】	○	482,790	358,161	151	国 県 債 一 基 他	258,110 0 99,900 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 358,161 0 0	令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した河川及び道路施設の復旧工事を実施した。 【事業内訳】 河川災害復旧工事 2件 28,911千円 道路災害復旧工事 10件 329,250千円	河川災害2件、道路災害10件の復旧工事が完成し、施設の機能回復が図られた。
11-2-1	公共土木施設災害復旧【単独分】	○	70,563	63,383	6,774	国 県 債 一 基 他	0 4,709 51,900 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 9,418 53,965 0 0	令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した河川及び道路のうち補助採択基準に満たない分を単独費にて復旧工事を実施した。 【事業内訳】 河川災害復旧工事 2件 22,662千円 道路災害復旧工事 5件 31,303千円 調査設計委託 1件 9,418千円	河川災害2件、道路災害5件の復旧工事が完成し、施設の機能回復が図られた。
11-2-1	公共土木施設災害復旧【過年度分事故繰越】	○	37,235	32,246	1,139	国 県 債 一 基 他	21,507 0 9,600 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 32,246 0 0	令和4年8月の豪雨により被災した道路の災害復旧工事を実施した。 【事業内訳】 道路災害復旧工事 1件(3箇所) 32,246千円	道路災害1件(3箇所)の復旧工事が完成し、施設の機能回復が図られた。

11-2-1	公共土木施設災害復旧【単独分事故繰越】	○	8,246	8,202	8,202	国 県 債 一 基 他	0 0 0 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 8,202 0 0	令和4年8月の豪雨により被災した道路の復旧工事に際し必要な進入路工事を実施した。 【事業内訳】 進入路設置工事 1件 8,202千円	進入路工事の完成により、道路災害復旧工事の着手が可能となった。
11-2-2	都市計画施設災害復旧事業		3,300	3,234	34	国 県 債 一 基 他	0 0 3,200 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 3,234 0 0	令和7年8月の豪雨により被災した公園の復旧工事を行った。 【内訳】 災害復旧工事 3,234千円	復旧工事により公園の機能回復が図られた。 【実績】 北緯40° カントリーパーク 米代川河川緑地
11-4-1	一般廃棄物最終処分場災害復旧事業		16,595	16,595	1,495	国 県 債 一 基 他	0 0 15,100 0 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 304 0 16,291 0 0	令和7年8月豪雨災害の災害復旧工事を実施した。 【内訳】 一般廃棄物最終処分場道路復旧工事 2件 鷹巣埋立地最終処分場道路復旧工事 1件 一般廃棄物最終処分場復旧工事 1件	道路復旧工事の完成により、道路の機能回復が図られた。また、最終処分場復旧工事により、崩落法面の保護や処分場内の雨水排水機能の回復が図られた。

11-5-2	伊勢堂岱遺跡災害復旧事業		107,761	2,359	9	国 県 債 一 基 他	1,650 0 700 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 2,359 0 0	9月に発生した伊勢堂岱遺跡の堀面崩落箇所について、国庫補助を活用し、崩落土の除去工事を行い、実施設計に着手した。 【実績】 史跡伊勢堂岱遺跡東側崩落 1ヶ所	崩落土の除去工事を行い、実施設計を進め、計画的な予算の執行により、再度の災害の防止と、史跡への影響を最小限にとどめる成果を得られた。
11-6-1	その他公共施設公用施設災害復旧事業		69,521	67,142	6,842	国 県 債 一 基 他	0 0 60,300 0 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 11,774 51,919 0 3,449	大雨により被害を受けた法定外水路等の復旧に伴う工事、委託業務を実施した。 【工事】 水路復旧(綴子字作坂) 5,511千円 道路復旧(坊沢字炭焼沢口) 9,372千円 その他復旧工事13件 37,036千円 計 51,919千円 【委託】 道路測量設計(七日市字岩脇)11,774千円	大雨により被害を受けた法定外水路等の復旧工事等を実施することで、周辺の安全が確保された。

特 別 会 計

(表記上の補足) 「繰」及び「特定財源」並びに「事業内訳」の略語について

款一項目	事業名	繰	予算額	決算額	一般財源	特定財源	事業内訳	執行の状況	事業の成果
		○				国 県 債 一 基 他	0 報 旅 需 役 委 工 負 他	0 0 0 0 0 0 0 0	

繰越明許事業の略
該当する場合は
「○」で表示

国：国の補助金等
 県：県の補助金等
 債：起債
 一：一般会計繰入金
 基：基金繰入金
 他：その他

報：報償費
旅：旅費
需：需用費
役：役務費
委：委託費
工：工事請負費
負：負担金補助及び交付金
他：その他

款一項目	事業名	繰	予算額	決算額	一般財源	特定財源	事業内訳	執行の状況	事業の成果	
1款	総務費		81,278	76,459	872	国 県 債 一 基 他	0 2,580 0 72,182 0 825 0 4,794 53,354	0 215 3,317 3,989 10,790 0 4,794 53,354	レセプト点検及び国保関連システムの保守、更新を行った。国保運営協議会を開催した。 【内訳】 総務管理費 68,380千円 徴税費 7,682千円 運営協議会費 397千円 計 76,459千円	国保事務を適切に実施し、レセプト点検等により、医療費の適正化を図ることができた。また、国保運営協議会を開催し、運営体制の強化に取り組むことができた。
2款	保険給付費		2,399,684	2,085,610	4,816	国 県 債 一 基 他	0 2,078,424 0 2,013 0 357 0 2,078,843 0	0 0 0 6,767 0 0 0 2,078,843 0	医療費等の保険者負担金について国保連合会や被保険者からの請求に基づき適正な支出をした。 【内訳】 療養諸費 1,797,608千円 高額療養費 282,632千円 出産育児諸費 3,020千円 葬祭諸費 2,350千円 計 2,085,610千円	治療や出産等に係る費用の一部を給付することにより、被保険者の経済的負担の軽減と健康な生活を守ることができた。
3款	事業費納付金		605,091	605,090	343,457	国 県 債 一 基 他	0 56,127 0 205,506 0 0 0 605,090 0	0 0 0 0 0 0 0 605,090 0	県が示す納付金について負担した。 【内訳】 医療給付費分 391,532千円 後期高齢者支援金分 165,901千円 介護納付金分 47,657千円 計 605,090千円	交付金等で市の国民健康保険事業に要する費用に充てられ、被保険者の健康保持と適切な医療を確保することができた。
4款	保健事業費		33,002	31,728	16,218	国 県 債 一 基 他	0 15,510 0 0 0 0 0 7,172 18,049	0 0 370 575 5,562 0 0 7,172 18,049	被保険者の健康づくりや疾病予防に向けた施策を実施した。 【内訳】 特定健康診査等事業費 18,049千円 保健事業費 13,679千円 計 31,728千円	被保険者の健康増進に努めることができた。 【助成件数、金額】 市民プール利用助成 874件、2,392,660円 インフルエンザ予防接種助成 428件、642,000円 各種検診受益者負担（3方式計） 3,564件、4,137,600円 計 4,866件、7,172,260円

〔介護保険特別会計〕

(単位:千円)

款一項目	事業名	繰	予算額	決算額	一般財源	特定財源	事業内訳	執行の状況	事業の成果	
1-1-1	介護職員初任者研修事業		802	802	0	国 県 債 一 基 他	0 0 0 802 0 0	0 0 0 802 0 0 0	介護職員初任者研修事業委託費 801,800円	市内介護事業所等における人材確保と市内居住の高校生の地元就職を後押しするため、秋田北鷹高校ともタイアップしながら募集・周知を行った。時代のニーズやライフスタイルの変化等に合わせ、研修の一部をウェブ方式で行うといった手法を取り入れた結果、9名の申込を受け、内7名の修了となった。介護事業所には1名の就職であったものの、医療や介護・福祉系の大学に進むなど将来を見据えたキャリア形成支援につなげることができた。
2款	保険給付費		5,080,057	4,657,973	867,962	国 県 債 一 基 他	1,360,748 691,375 0 635,004 40,228 1,335,634	0 0 0 4,647 0 0 4,653,326 0	【内訳】 介護サービス等諸費4,306,045千円 介護予防サービス等諸費42,730千円 審査支払手数料4,647千円 高額介護サービス等費102,637千円 特定入所者介護(予防)サービス等諸費192,071千円 高額医療合算介護サービス費9,843千円 計4,657,973千円	介護給付の適正化(医療情報との突合・縦覧点検・ケアプラン点検・運営指導等)を図ることにより、利用者に対する適切な支出を行うことができた。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-1-1 3-1-2	日常生活支援・介護 予防事業		96,673	85,290	19,617	国 県 債 一 基 他	30,027 10,105 0 12,083 0 18,959	0 255 597 407 2,762 0 77,009 4,260	【内訳】 日常生活支援総合事業費77,368千円 介護予防事業費7,922千円 計85,290千円	要支援者等の多様な生活支援ニーズに応えるため、自立支援を目的とした訪問型サービスや通所型サービスを提供することができた。介護予防普及啓発事業として、地域に出向いた各種教室を含めた運動機能・口腔機能・栄養機能・認知症について、介護予防の普及・推進に取り組むことができた。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算
3-1-3	包括的支援・任意事業		91,314	83,564	16,315	国 県 債 一 基 他	29,110 12,991 0 27,784 0 0	586 79 862 269 67,877 0 670 13,221	【内訳】 包括的支援事業費82,605千円 任意事業費959千円 計83,564千円	より身近で高齢者全般に係る総合相談業務や安心して地域での生活が継続できるよう、包括支援センター業務の委託により、適切な医療・保健、福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行うことができた。 ※決算額と財源の差額は翌年度精算

[後期高齢者医療特別会計]

(単位:千円)

款一項目	事業名	繰	予算額	決算額	一般財源	特定財源	事業内訳	執行の状況	事業の成果	
1款	総務費		8,283	6,698	0	国 県 債 一 基 他	0 2,465 0 1,486 0 2,747	報 旅 需 役 委 工 負 他 0 0 908 1,700 2,495 0 1,595 0	長寿健康増進対策として北秋田市民 プールを利用した後期高齢者健康診査受 診者に対し、助成を行った。 【内訳】 総務管理費 4,917千円 徴収費 1,781千円 計 6,698千円	市民プールの利用助成により、被保険 者の健康増進を図ることができた。 【助成件数、金額】 R7年度 650件 1,594,855円 R6年度 595件 1,288,700円 R5年度 515件 1,124,025円 後期高齢債権管理マニュアルにより 組織的に収納対策に取組み収納率向上を 図った。
2款	後期高齢者医療広域 連合納付金		564,445	561,167	405,147	国 県 債 一 基 他	0 0 0 156,020 0 0	報 旅 需 役 委 工 負 他 0 0 0 0 0 0 561,167 0	広域連合に対し、保険料等納付金及び 基盤安定制度分の負担金を支出した。 【内訳】 広域連合納付金（保険料分） 405,147千円 広域連合納付金（基盤安定分） 156,020千円 計 561,167千円	広域連合への納付金支出により、後期 高齢者の健康増進と保険料の負担軽減が 図られた。 《被保険者数7,724人のうち、軽減対象 者5,993人》